

第66回月例社会保障研究会

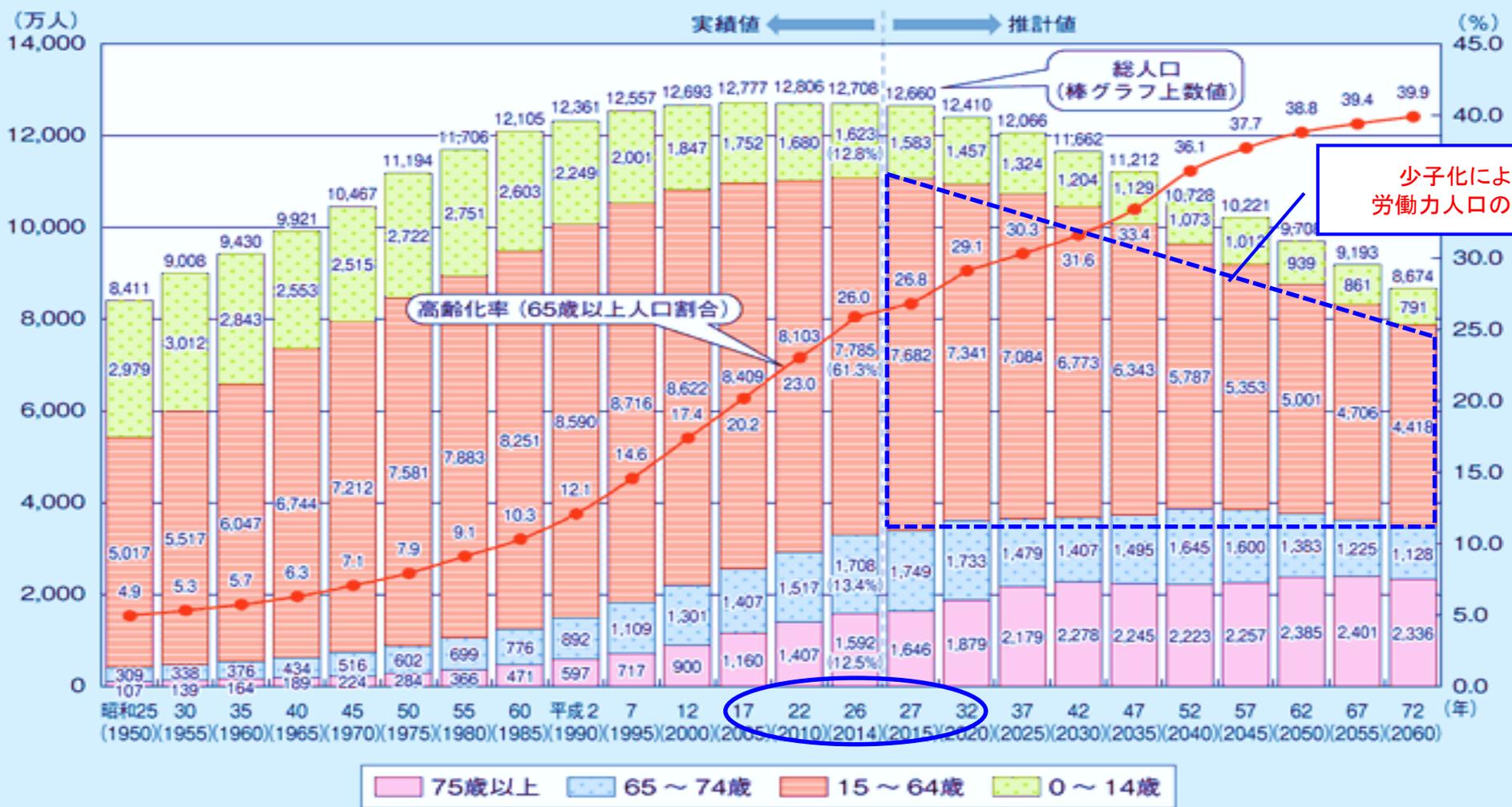
地域包括ケアに対する日本医師会での取り組みと 当グループにおける実践

2019.04.17

医療法人博仁会 志村大宮病院
理事長 鈴木邦彦

1. 人口動態の大変動と医療提供体制のパラダイムシフト

図1-1-2 高齢化の推移と将来推計



資料：2010年までは総務省「国勢調査」、2014年は総務省「人口推計」（平成26年10月1日現在）、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の出生中位・死亡中位假定による推計結果
 (注) 1950年～2010年の総数は年齢不詳を含む。高齢化率の算出には分母から年齢不詳を除いている。
 (平成27年版高齢社会白書)

2025年「団塊世代」が全て75歳以上になる年

効率的で効果的な 医療提供体制

- 疾病・事業ごとの医療連携体制
- 在宅医療の連携体制
- 医療計画と介護保険事業計画との整合の強化
- 「地域医療構想」

医療と介護の
総合的な確保

地域包括 ケアシステム

高齢者になるべく住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援のサービスを包括的に確保

生涯現役社会の 構築

健康寿命の延伸

- 生涯保健
- 生活習慣病対策
- 関連技術開発
- ICT
- 健康経営、健康優良法人

支援・推進策

- 診療報酬・介護報酬同時改定（2018'、2024'）
- 地域医療介護総合確保基金
- 在宅医療介護連携推進事業
- 地域医療連携推進法人
- 医療・介護連携の担い手の養成

政官民挙げての 推進

- 日本健康会議
- 次世代ヘルスケア産業協議会

2019年版地域包括ケアシステムの概念

日常生活圏域を単位として、活動と参加について何らかの支援を必要としている人々、例えば児童や幼児、虚弱ないし要介護の高齢者や認知症の人、障がい者、その家族、その他の理由で疎外されている人などが、望むなら住み慣れた圏域のすみかにおいて、必要ならさまざまな支援（一時的な入院や入所を含む）を得つつ、できる限り自立し、安心して最期の時まで暮らし続けられる多世代共生の仕組み

地域共生社会の定義

少子高齢化・人口減少、地域社会の脆弱化等、社会構成の変化の中で、人々が様々な生活課題を抱えながらも住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域住民等が支え合い、一人ひとりの暮らしと生きがいを、地域をともに創っていくことができる社会

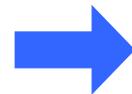
地域共生社会との関係

地域共生社会



今後日本社会全体が実現
していこうとする「目標」

地域包括ケアシステム



地域共生社会を実現
するための「手段」

地域包括ケアシステムの必要性は不変

地域包括ケアシステム



全世代・全対象型地域包括ケアシステム



まちづくり



都市部



地域コミュニティの再生

地方



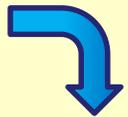
地方創生

今後の日本に必要な医療

高度急性期医療



高齢化・人口減でニーズ



地域に密着した医療



超高齢社会でニーズ



日本モデル

新かかりつけ医(日医かかりつけ医機能研修制度)により施設も在宅も活用



超高齢社会に対応

中小病院
有床診療所
日本型診療所
中負担

既存資源の活用

超高齢社会に適した日本型医療システム

① 中小病院
有床診療所 } が多い

身近な所でいつでも入院もできる
高齢者の在宅支援システムの
構築が可能

② 診療所の質が高く
充実している

高齢者に便利なワンストップサービス
が可能
【検査・診断・治療・(投薬)・健診】

超高齢社会における医療と介護の役割の変化

公的医療保険による国民皆保険(1961~)



医療と介護



と



公的介護保険(2000~)

高齢者医療・介護



地域包括ケア



かかりつけ医



日医かかりつけ医機能研修制度

かかりつけ医機能を持つ

中小病院
有床診療所
診療所

それ以外の医療



高度急性期医療



総合診療専門医 専門医
それ以外

日本専門医機構

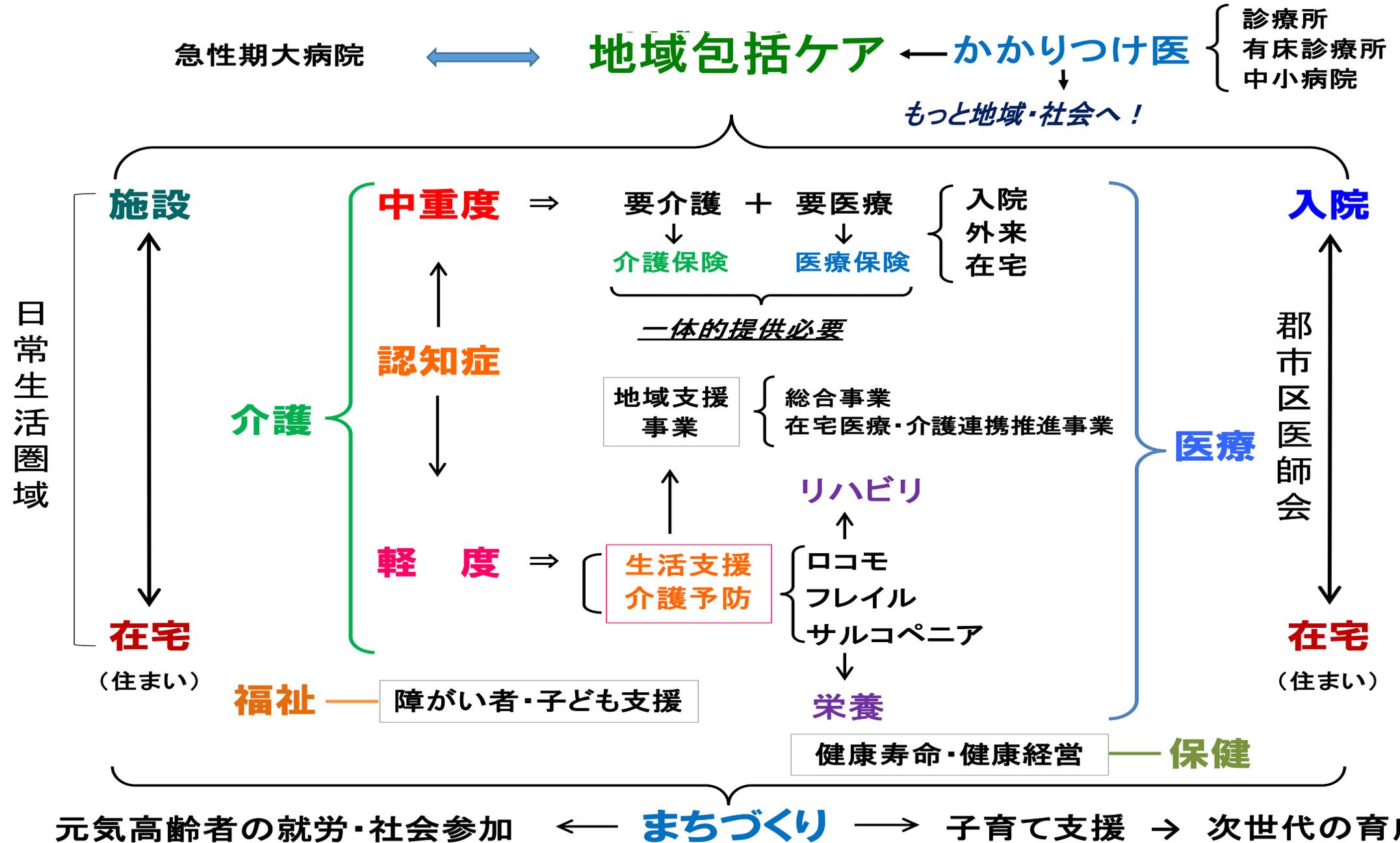
高度急性期病院
単科専門病院

担い手 :

育成・養成 :

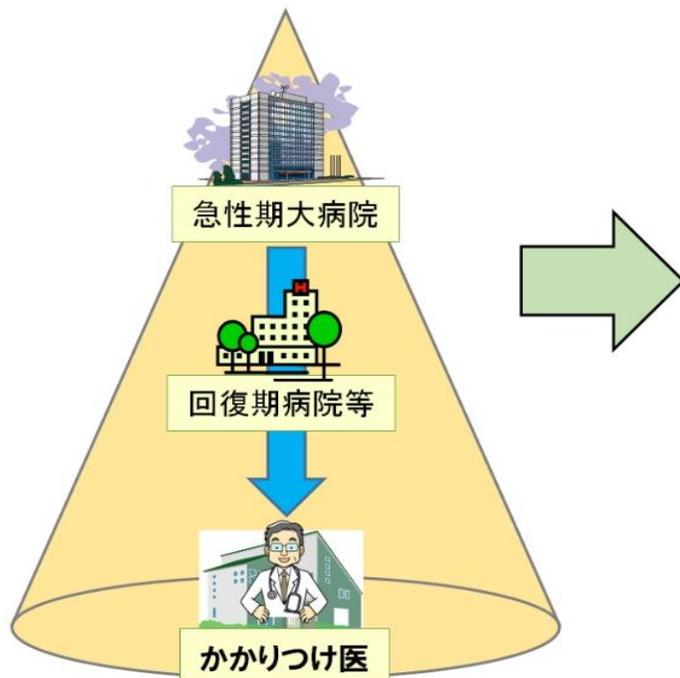
医療機関 :

高齢者医療と介護の一体化とかかりつけ医の役割の拡大

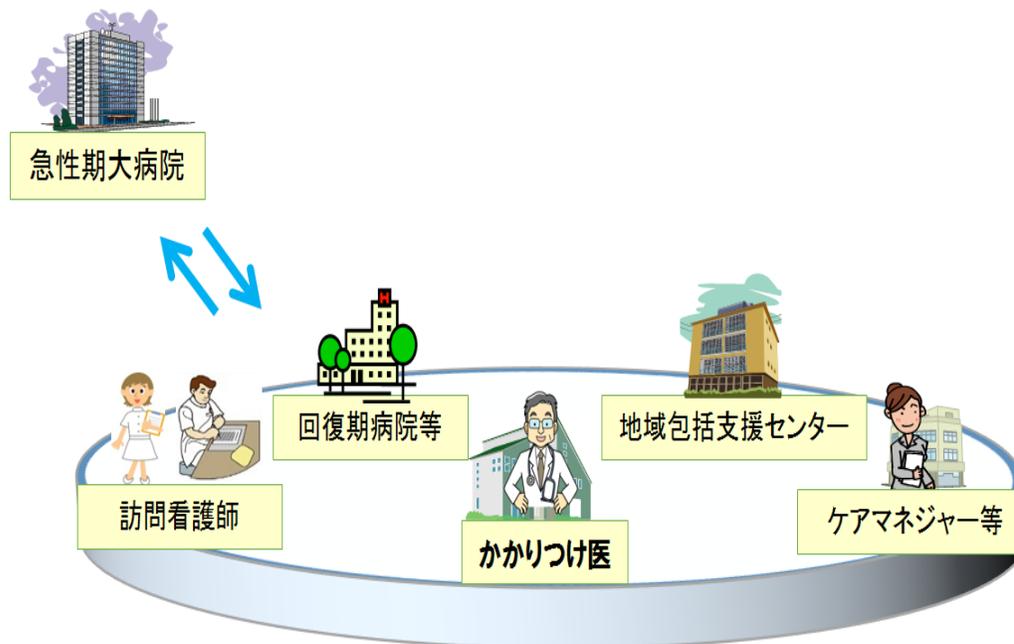


垂直連携中心から水平連携中心へ

【垂直の連携】



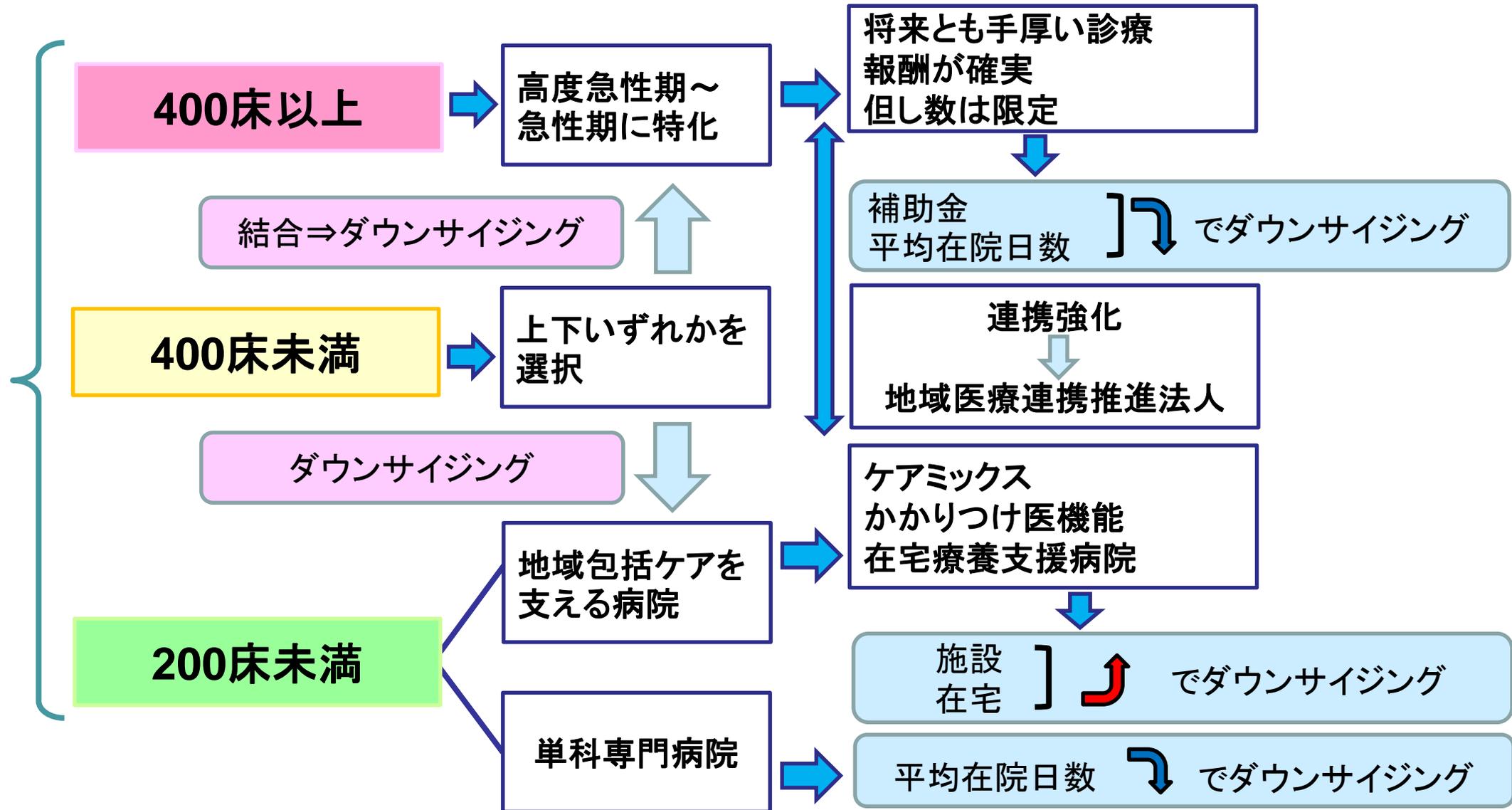
【水平の連携】



地域包括ケアシステム

地域ケア
統合ケア

病床規模別に見た病院の方向性



日医・四病協合同提言 (平成25年8月8日)

① かかりつけ医機能の充実・強化

→ 平成28年4月 日医かかりつけ医機能
研修制度創設

② 地域包括ケアを支援する

中小病院・有床診療所の必要性

→ 平成30年度診療報酬改定で実現

医療提供体制のあり方

日本医師会・四病院団体協議会合同提言

(平成25年8月8日)

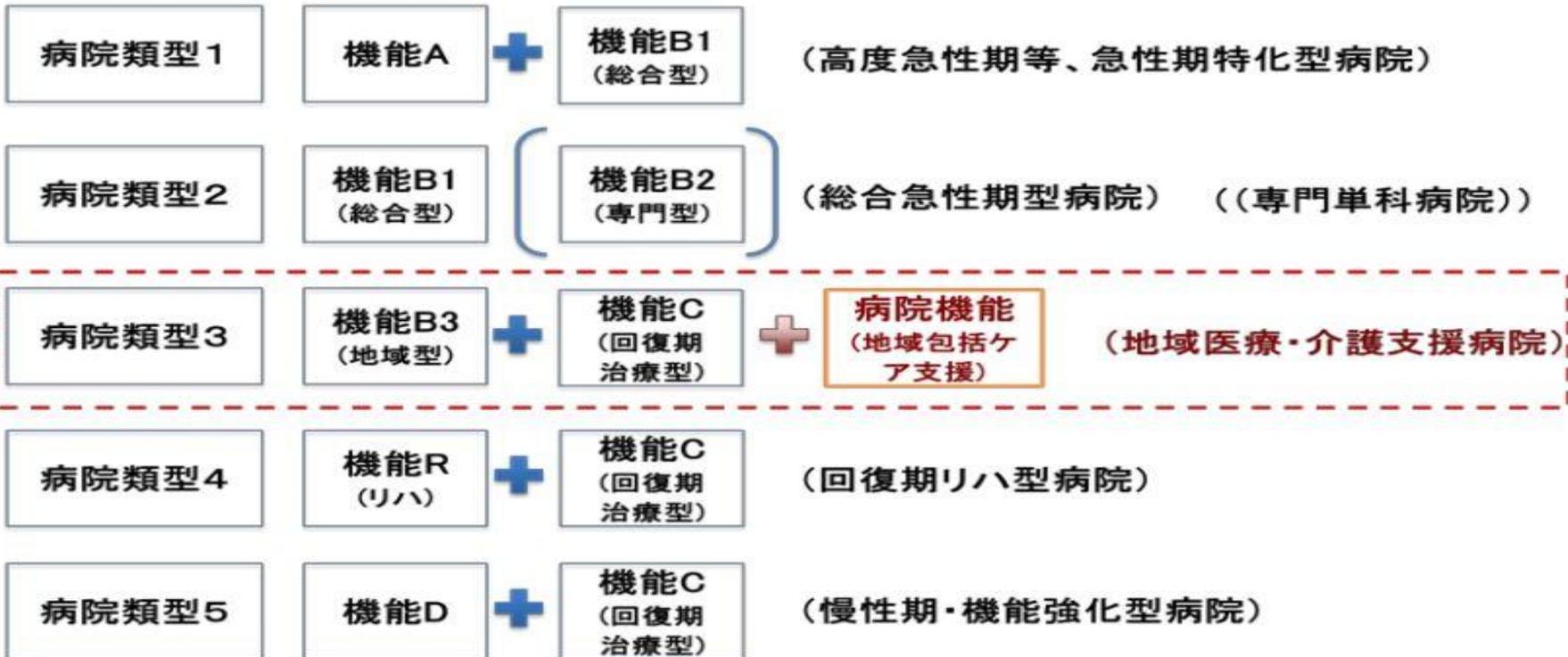


医療提供体制のあり方～地域包括ケアシステム構築に向けて～

四病院団体協議会追加提言(平成25年11月18日)

機能分化と病院類型 (例)

高度急性期機能(ICU等)=A、急性期医療機能(病棟)=B、回復期医療機能(病棟)=C
リハビリテーション機能(病棟)=R、慢性期医療機能(病棟)=D としている。(病床の医療機能である)



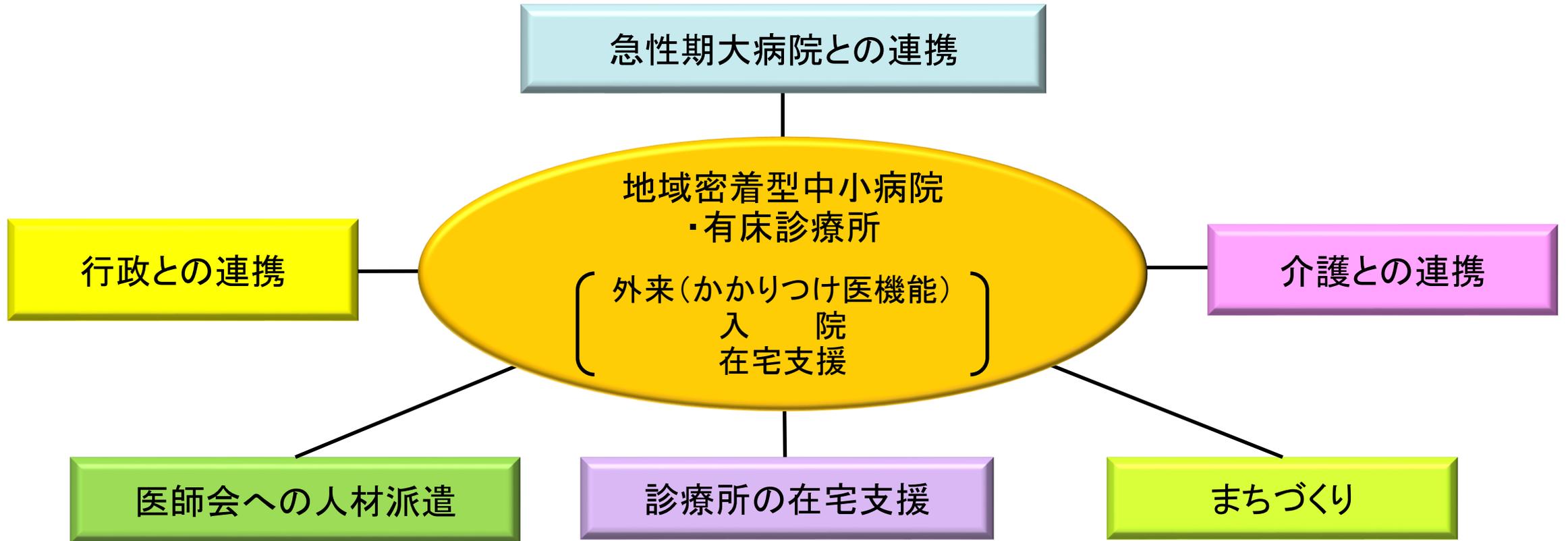
2015年10月28日 日本医師会・四病院団体協議会からの提言

病院機能に着目した診療報酬上の評価のあり方

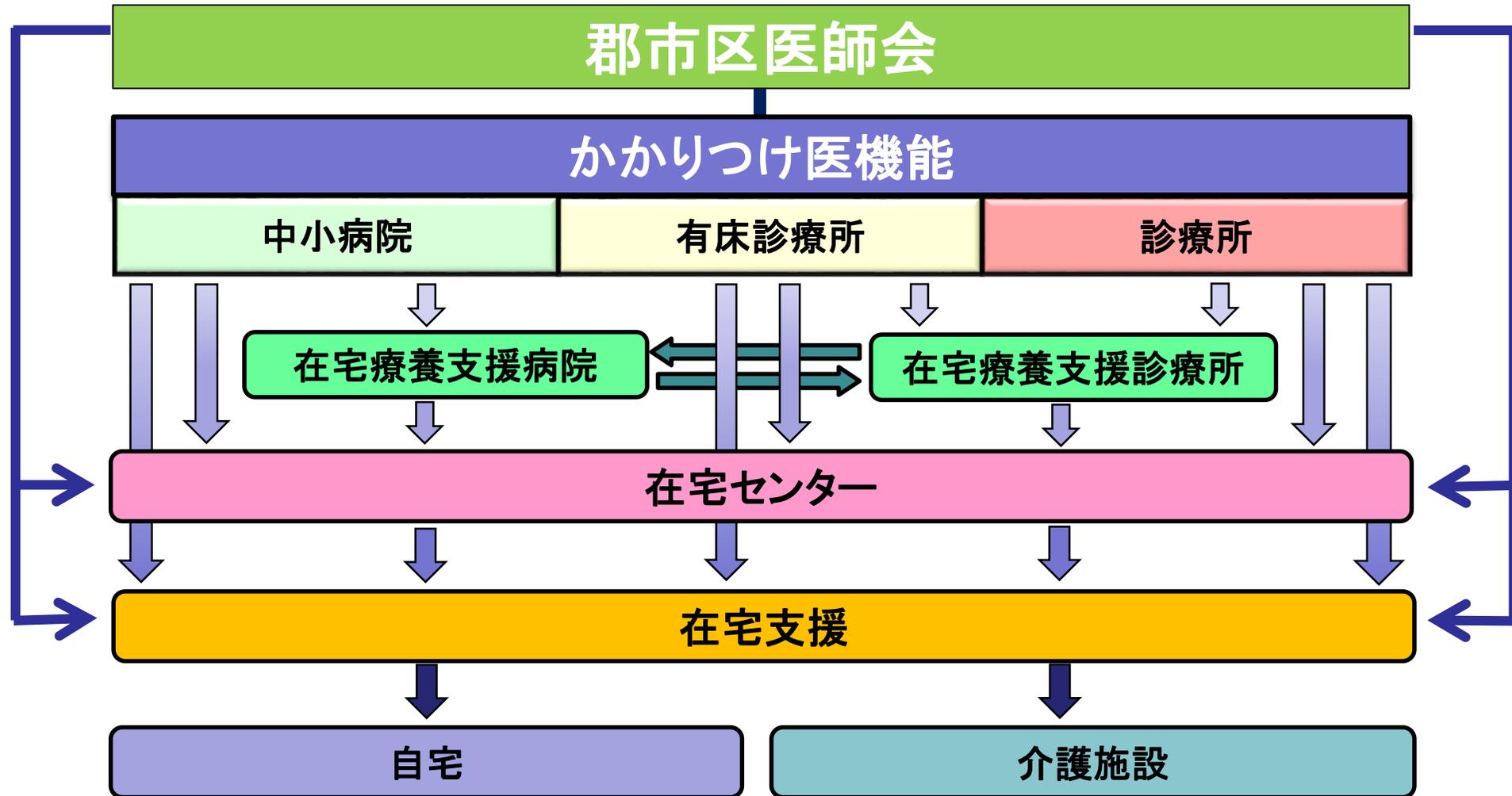
地域の医療・介護連携を支援する病院については、先の診療報酬改定で地域包括ケア病棟入院料として一部具体化された。しかし、地域における機能を考えると、下記のような診療報酬体系が必要である。

(病床の機能) ※報告制度で議論 されてきたもの	(病院の種類)	(医療機能に付加して 病院が持つべき機能)	(診療報酬のイメージ)
高度急性期	(三次救急病院等)	(例:臨床研修機能)	診断群に応じた支払い等 (DPC、機能評価)
急性期	(急性期病院等)	(例:二次救急)	診断群に応じた支払い等 (DPC等)
	地域の医療・介護連携を支援する病院	高齢者の救急受入れ、在宅医療支援、医療・介護連携、ケアマネジメント支援	診断群に応じた支払い等 (DPC等) 包括支払い
回復期	(回復期リハ病院等)		包括支払い(+リハ評価等)
慢性期	(療養病床の病院等)		包括支払い(重症度評価等)

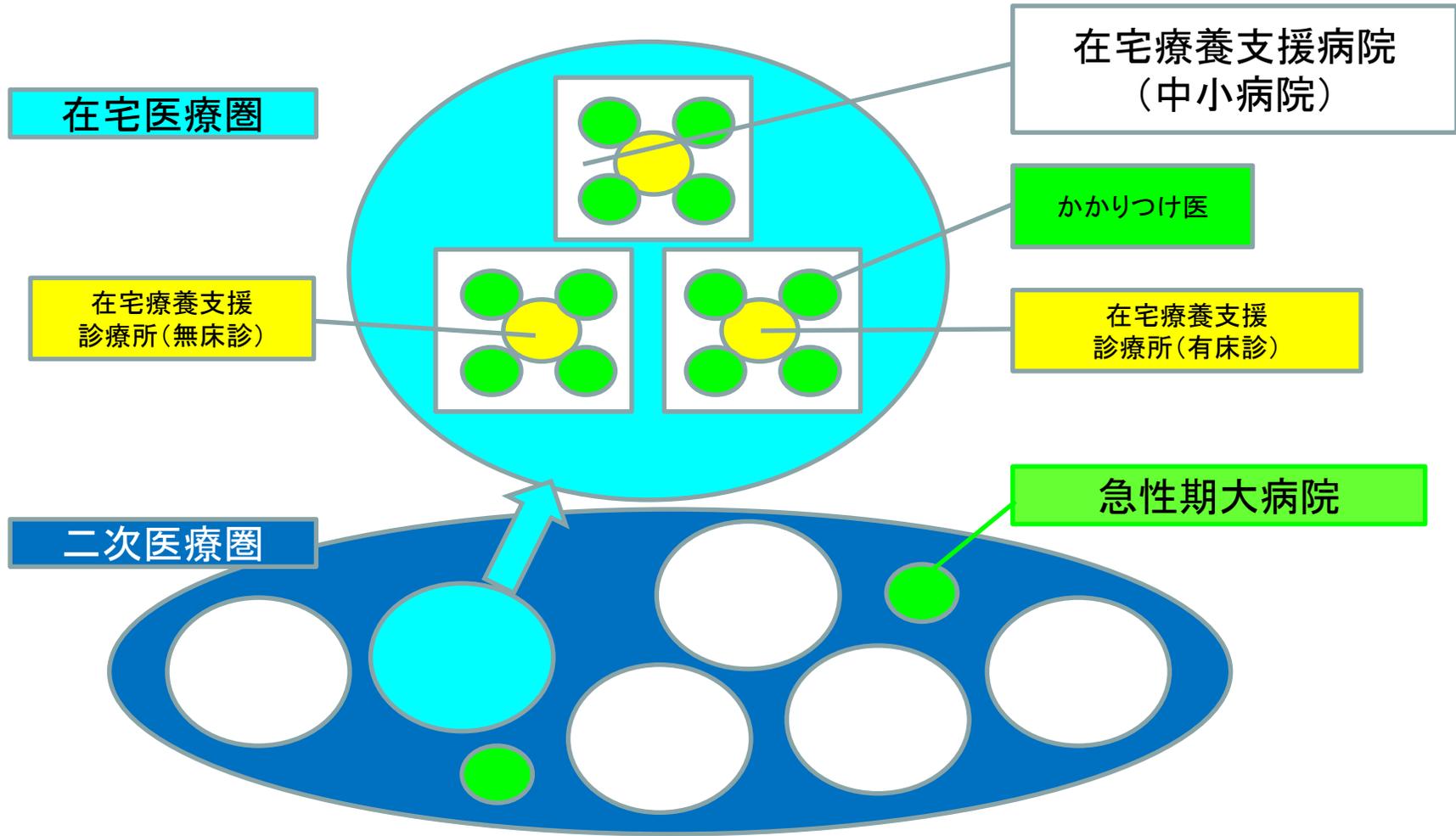
地域密着型中小病院・有床診療所の役割



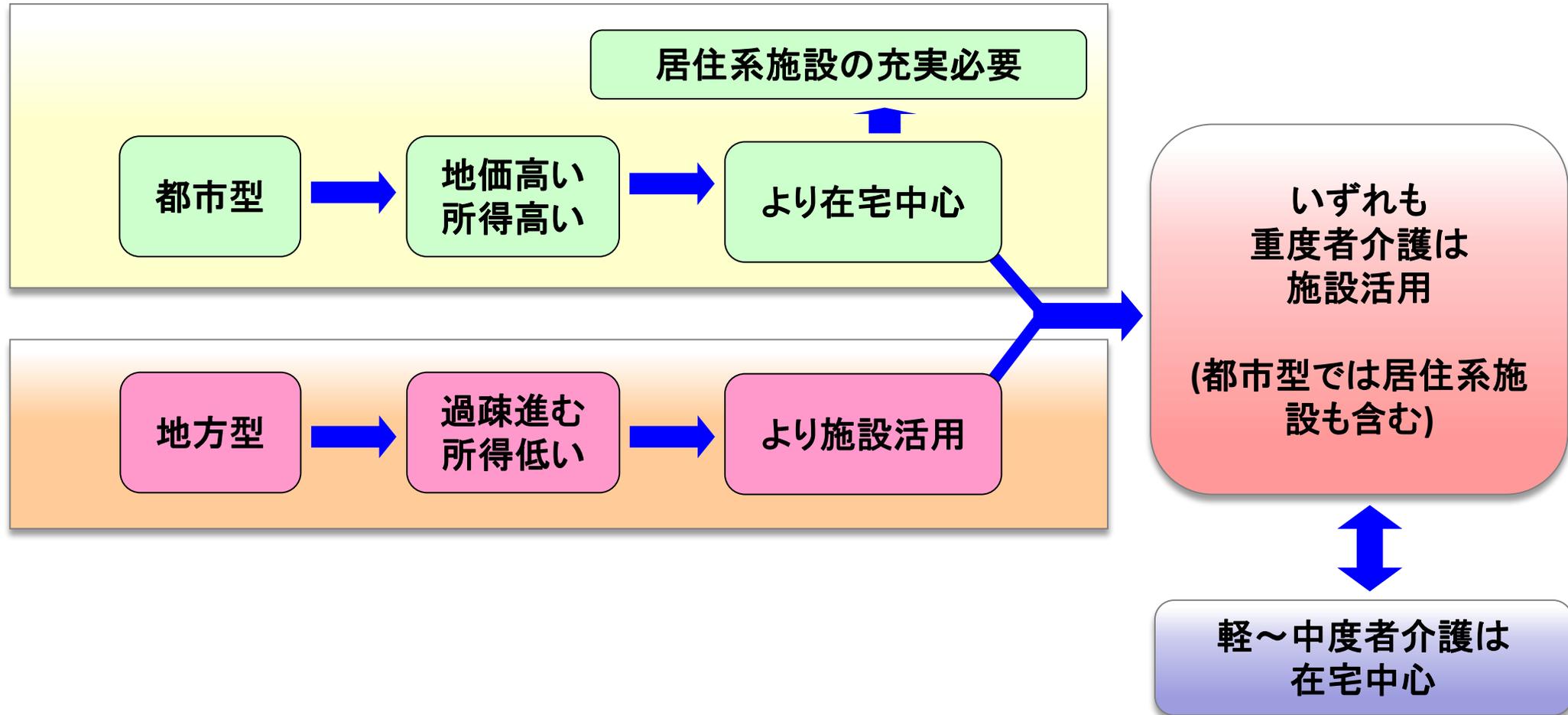
既存資源を活用した日本型在宅支援モデル



日本型在宅支援システム



日本型の高齢者介護の確立



地域包括ケアシステム 医療3点セット

- かかりつけ医
- 郡市区医師会
- 中小病院・有床診療所

2015年10月28日 日本医師会・四病院団体協議会からの提言

地域包括ケア病棟のあり方(病院機能の視点より)

平成26年診療報酬改定において、「地域包括ケア病棟」が新設された。その機能は、
急性期病院からの急性期後の受け入れ、
在宅療養、介護施設等からの急性増悪の受け入れ、
在宅・生活復帰の支援、とされている。しかしながら、現時点のデータからは、
その機能は急性増悪時の受け入れ(手術、検査、治療)等の実施は極めて少なく、リハビリテーションに代表される急性期後の医療が主体となっている。

今後の超高齢化を踏まえれば、地域包括ケア体制の中で患者情報を共有し、急変時には24時間365日二次救急に対応する機能を持つ病院が必要と考える。そして、地域包括ケアを推進するためには、こうした入院受け入ればかりではなく、退院後に安心して療養できるための支援を行うなどの地域の医療・介護連携を支援する病院を、地域ごとに整備することが不可欠である。

そのためには、地域包括ケア病棟を病院機能という視点から位置付け、診療報酬において評価する必要がある。

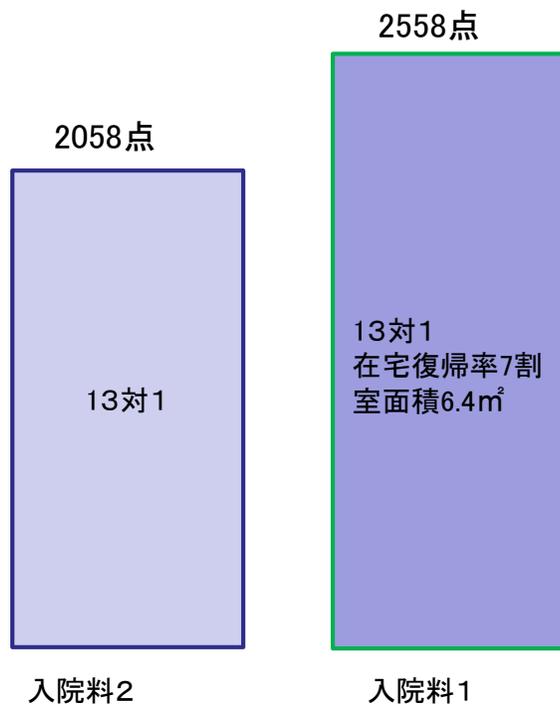
地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料に係る論点(案)

【論点(案)】

- 自宅等から受け入れた患者と、それ以外からの受け入れた患者とで、提供する医療内容等が異なっていることから、「救急・在宅等支援病床初期加算」について、急性期後の入院患者と、在宅からの入院患者とで、診療実績等を踏まえつつ、評価を区別してはどうか。
- 地域包括ケア病棟入院料・治療管理料の届出要件において、在宅医療や救急医療の提供等が求められているが、地域包括ケアシステムの構築を推進する観点から、訪問系サービスの提供についても、要件の選択肢の一つとすることを検討してはどうか。
- 在宅医療、介護サービス等の地域で求められる多様な役割・機能を有する地域包括ケア病棟を持つ医療機関については、地域包括ケアシステムの構築により貢献できるように、それらのサービスに係る実績等も加味した評価を検討してはどうか。

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料の再編・統合

【現行】

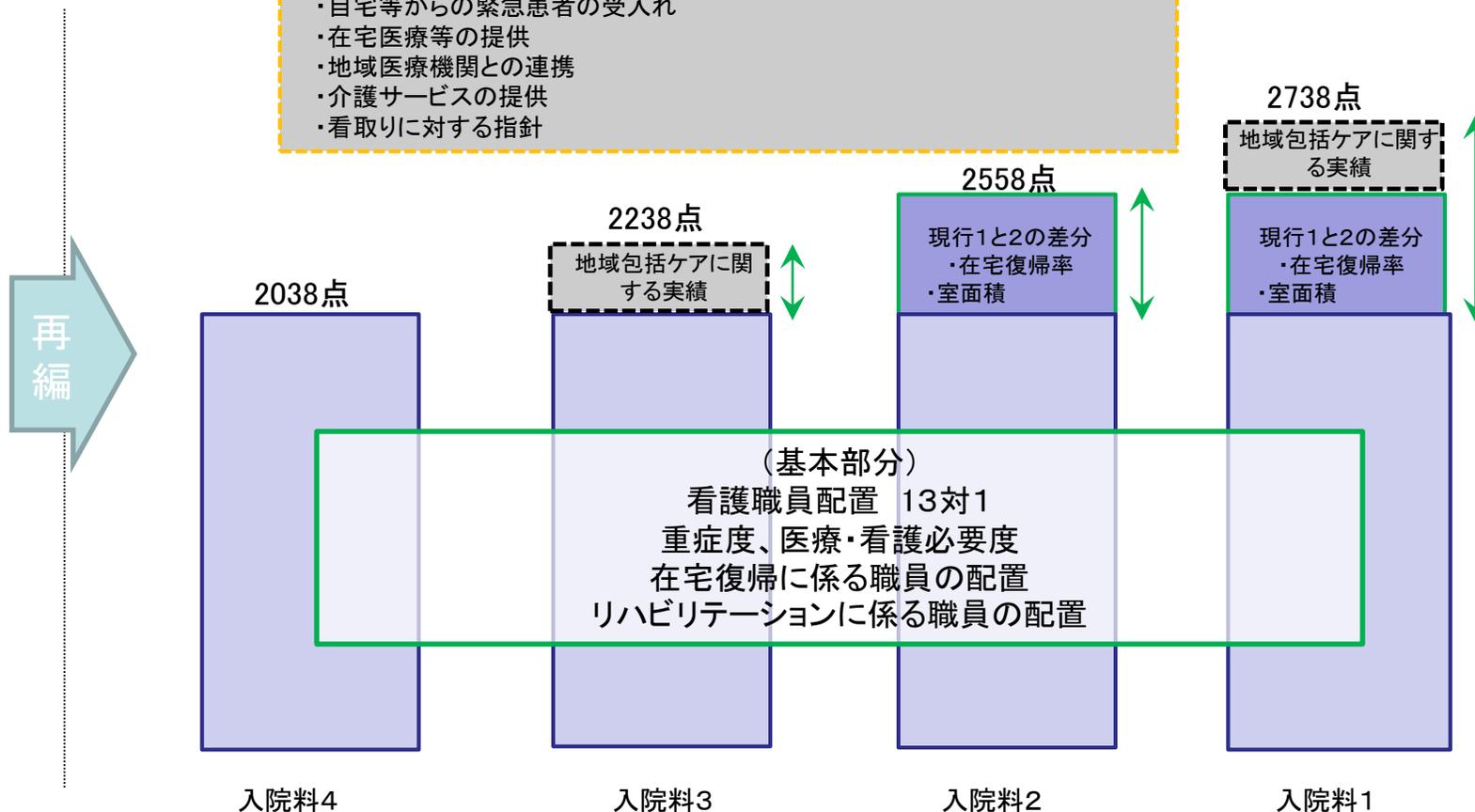


地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

【平成30年度改定】

【地域包括ケアに関する実績部分】（200床未満の病院に限る。）

- ・自宅等からの入棟患者割合
- ・自宅等からの緊急患者の受入れ
- ・在宅医療等の提供
- ・地域医療機関との連携
- ・介護サービスの提供
- ・看取りに対する指針



(新)地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料1～4の内容

- 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料を基本的な評価部分と在宅医療の提供等の診療実績に係る評価部分とを組み合わせた体系に見直すとともに、在宅医療や介護サービスの提供等の地域で求められる多様な役割・機能を果たしている医療機関を評価する。

	管理料4		入院料4		管理料3		入院料3		管理料2		入院料2		管理料1		入院料1	
看護職員	13対1以上 (7割以上が看護師)															
重症患者割合	重症度、医療・看護必要度Ⅰ*1 10%以上 又は 重症度、医療・看護必要度Ⅱ*2 8%以上															
在宅復帰に係る職員	当該保険医療機関内に在宅復帰支援を担当するものを適切に配置															
リハビリ専門職	病棟又は病室を有する病棟に常勤の理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士を1名以上配置															
在宅復帰率	—								7割以上							
室面積	—								6.4㎡以上							
実績部分	自宅等から入棟した患者割合	—		1割以上 (10床未満は1人以上)		1割以上		—		1割以上 (10床未満は1人以上)		1割以上				
	自宅等からの緊急患者の受入	—		3月で3人以上				—		3月で3人以上						
	在宅医療等の提供	—		○				—		○						
	看取りに対する指針	—		○				—		○						
届出単位	病室		病棟		病室		病棟		病室		病棟		病室		病棟	
許可病床数200床未満	○		—		○		○		○		—		○		○	
点数 (生活療養を受ける場合)	2,038点 (2,024点)				2,238点 (2,224点)				2,558点 (2,544点)				2,738点 (2,724点)			

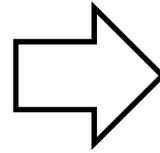
*1:現行方法による評価 *2:診療実績データを用いた場合の評価

有床診療所の地域包括ケアモデル(医療・介護併用モデル)での運用の支援

- 介護サービスを提供している有床診療所について、入院基本料1から3までの要件を緩和する。

現行(有床診療所入院基本料1～3の施設基準(抜粋))

在宅療養中の患者への支援に関する実績(介護サービスの提供を含む)、専門医療等の実施に関する実績、急性期病院からの患者の受け入れに関する実績、医療機関の体制等に係る11の施設基準のうち、2つ以上に該当すること。



改定後(有床診療所入院基本料1～3の施設基準(抜粋))

次のいずれかに該当すること。

- ① 介護サービスを提供していること。
- ② 在宅療養中の患者への支援に関する実績、専門医療等の実施に関する実績、急性期病院からの患者の受け入れに関する実績、医療機関の体制等に係る10の施設基準のうち、2つ以上に該当すること。

- 介護サービスを提供している有床診療所について、高齢患者等に対する入院受入れに係る評価を新設する。

(新) 介護連携加算1 192点(1日につき)

(新) 介護連携加算2 38点(1日につき)

[算定要件] (1) 65歳以上又は40歳以上の要介護・要支援被保険者の患者。
(2) 入院日から起算して15日以降30日までの期間に限り算定。

[施設基準]

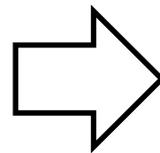
- 介護連携加算1 (1) 有床診療所入院基本料1又は2の届出を行っている。
(2) 介護サービスを提供している。
- 介護連携加算2 (1) 有床診療所入院基本料3に係る届出を行っている。
(2) 介護サービスを提供している。

- 有床診療所在宅復帰機能強化加算の平均在院日数に係る要件等を見直す。

現行(点数、施設基準(抜粋))

入院日から起算して15日以降に1日につき5点

(3) 平均在院日数が60日以内であること。



改定後(点数、施設基準(抜粋))

入院日から起算して15日以降に1日につき**20点**

(3) 平均在院日数が**90日以内**であること。

<参考>有床診療所のモデル分析

	主に地域医療を担う有床診療所 ⇒地域包括ケアモデル(医療・介護併用モデル)	主に専門医療を担う有床診療所 ⇒専門医療提供モデル
入院患者の年齢・特徴	医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者	専門的な医療ニーズのある患者 (相対的に若くADLが自立している患者が多い)
在院日数	相対的に長い	短期滞在(高回転型)
総点数における各診療行為の内訳	入院料等の割合が相対的に高い	検査・手術の割合が高い
病床稼働率	(休眠していない病床の)稼働率は高い	必ずしも高くない
典型的な診療科	内科、外科	眼科、耳鼻咽喉科

有床診療所の地域包括ケアモデル（医療・介護併用モデル）の具体例（案）

- 有床診療所の地域包括ケアモデル（医療・介護併用モデル）については、施設の空床利用や、病床の介護サービスベッドとしての活用などにより、医療と介護を組み合わせたサービスの提供が考えられる。

＜地域包括ケアモデル（医療・介護併用モデル）の具体例＞

医療サービス

有床診療所

又は

無床診療所



介護サービス（例）（多様なサービスの組み合わせが可能）

短期入所療養介護※

- 施設の空床を利用し、主にかかりつけの患者を対象として、医療ニーズを有する利用者への宿泊サービスを提供する

※ 診療所における短期入所療養介護は、医療法上の病床により提供されるものであるため、有床診療所との組み合わせで提供される。

看護小規模多機能型居宅介護

- 施設の空床を一部宿泊室に転換し、通所・宿泊・訪問（看護・介護）を医療機関併設の介護サービスとして提供

介護医療院※

- 医療機関併設の介護医療院として、長期療養が必要な重度の要介護者に対応

※ 介護医療院の基準・報酬等は介護給付費分科会で議論予定。

2. かかりつけ医と地域包括ケアのまちづくり

「かかりつけ医」と「かかりつけ医機能」

— 日本医師会・四病院団体協議会合同提言（平成25年8月8日）（抜粋） —

「かかりつけ医」とは（定義）

なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要なときには専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師。

「かかりつけ医機能」

- かかりつけ医は、日常行う診療においては、患者の生活背景を把握し、適切な診療及び保健指導を行い、自己の専門性を超えて診療や指導を行えない場合には、地域の医師、医療機関等と協力して解決策を提供する。
- かかりつけ医は、自己の診療時間外も患者にとって最善の医療が継続されるよう、地域の医師、医療機関等と必要な情報を共有し、お互いに協力して休日や夜間も患者に対応できる体制を構築する。
- かかりつけ医は、日常行う診療のほかに、地域住民との信頼関係を構築し、健康相談、健診・がん検診、母子保健、学校保健、産業保健、地域保健等の地域における医療を取り巻く社会的活動、行政活動に積極的に参加するとともに保健・介護・福祉関係者との連携を行う。また、地域の高齢者が少しでも長く地域で生活できるように在宅医療を推進する。
- 患者や家族に対して医療に関する適切かつわかりやすい情報の提供を行う。

日医かかりつけ医機能研修制度

【目的】

今後のさらなる少子高齢社会を見据え、地域住民から信頼される「かかりつけ医機能」のあるべき姿を評価し、その能力を維持・向上するための研修を実施する。

【実施主体】

本研修制度の実施を希望する都道府県医師会

平成28年4月1日より実施

【かかりつけ医機能】

1. 患者中心の医療の実践
2. 継続性を重視した医療の実践
3. チーム医療、多職種連携の実践
4. 社会的な保健・医療・介護・福祉活動の実践
5. 地域の特性に応じた医療の実践
6. 在宅医療の実践



日医かかりつけ医機能研修制度

【研修内容】

基本研修

- ・日医生涯教育認定証の取得。

応用研修

- ・日医が行う中央研修、関連する他の研修会、および一定の要件を満たした都道府県医師会並びに郡市区医師会が主催する研修等の受講。

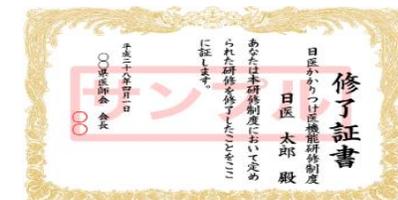
規定の座学研修を10単位以上取得

実地研修

- ・社会的な保健・医療・介護・福祉活動、在宅医療、地域連携活動等の実践。

規定の活動を2つ以上実施(10単位以上取得)

3年間で上記要件を満たした場合、都道府県医師会より
修了証書または認定証の発行(有効期間3年)。



日医かかりつけ医機能研修制度 現在の進捗状況(平成31年1月現在)

応用研修受講者数(延べ人数)合計: 29, 132名

H28年度受講者: 9,391名

(研修開催回数: 日医中央研修1回、22都道府県42回)

H29年度受講者: 9,712名

(研修開催回数: 日医中央研修1回、27都道府県47回)

H30年度受講者: 10,029名※

(研修開催回数: 日医中央研修1回、26都道府県38回)

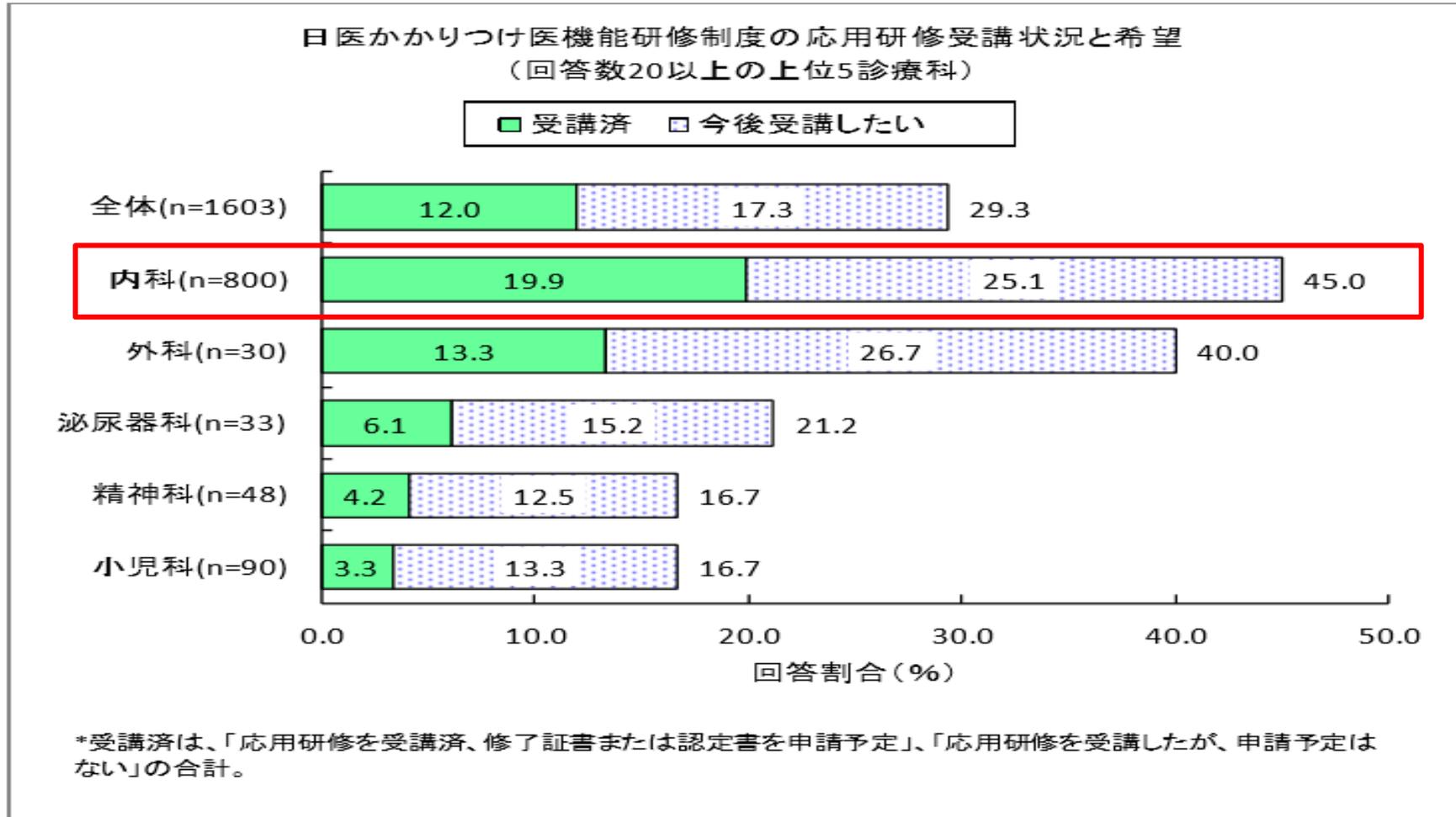
※H30年度受講者数は現時点の数。

修了者数(実人数) 合計: 3,868名

H28年度修了者: 1,196名 H29年度修了者: 2,672名

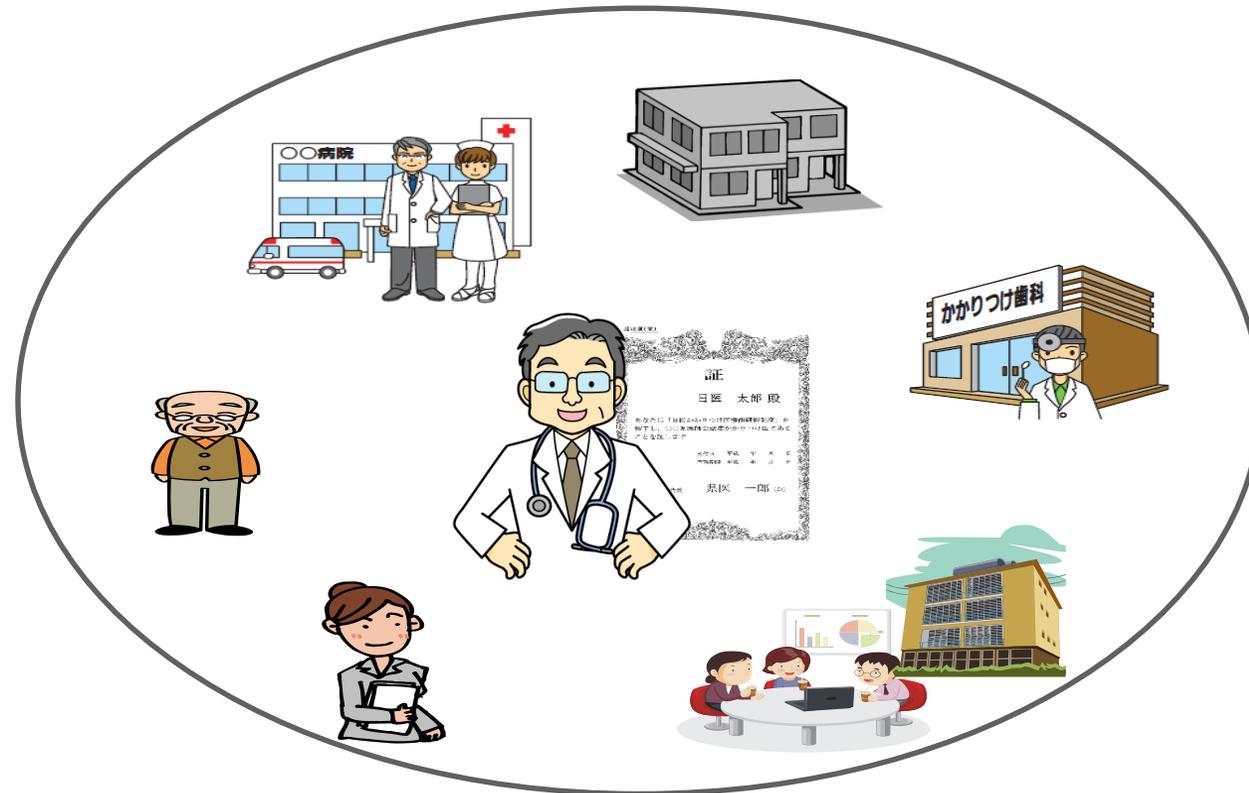
日医かかりつけ医機能研修制度 現在の進捗状況

【平成28年度 応用研修受講者延べ人数】 9,391名 (※複数回受講含む)



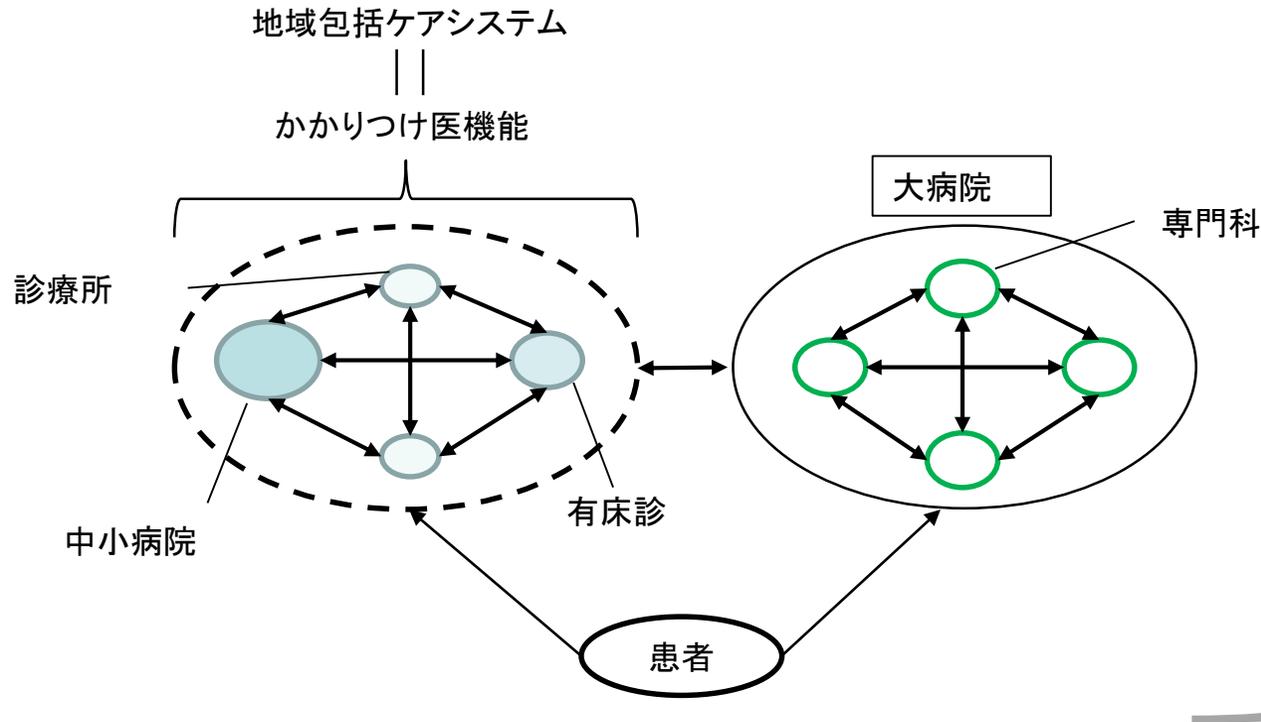
日医かかりつけ医機能研修制度の応用研修の「受講済」と「今後受講したい」の合計は、内科、外科で4割以上であった。

「日医かかりつけ医機能研修制度」では、かかりつけ医の先生方がこれまで以上に社会的機能を発揮し、ゲートオープナーやゲートキーパーとして受診を調整するというよりも、地域住民の医療と介護や生活を支えるナビゲーターとしてご活躍いただけるよう、研修内容を発展させてまいります。

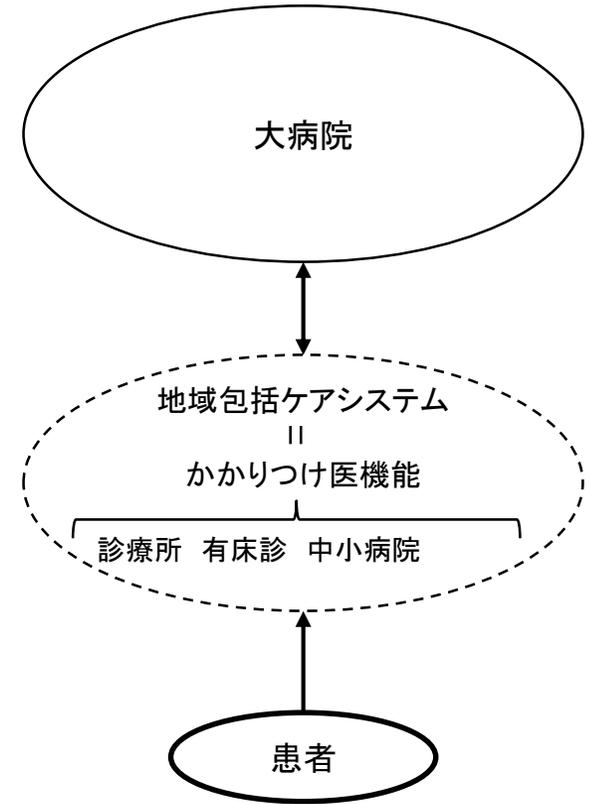


かかりつけ医機能のあり方(私案)

現状



あるべき姿



かかりつけ医と総合診療専門医

- ・ 地域医療と専門医制度を整合させるため、日本医師会と日本専門医機構と各学会は緊密な連携を取る必要がある。

- ・ 日本医師会の役割は、地域医療や医療政策をはじめとする医療提供体制全般について全責任を持つこと。
- ・ 日本専門医機構の役割は学問的な見地から、専門医の認定評価の標準化を行うこと。

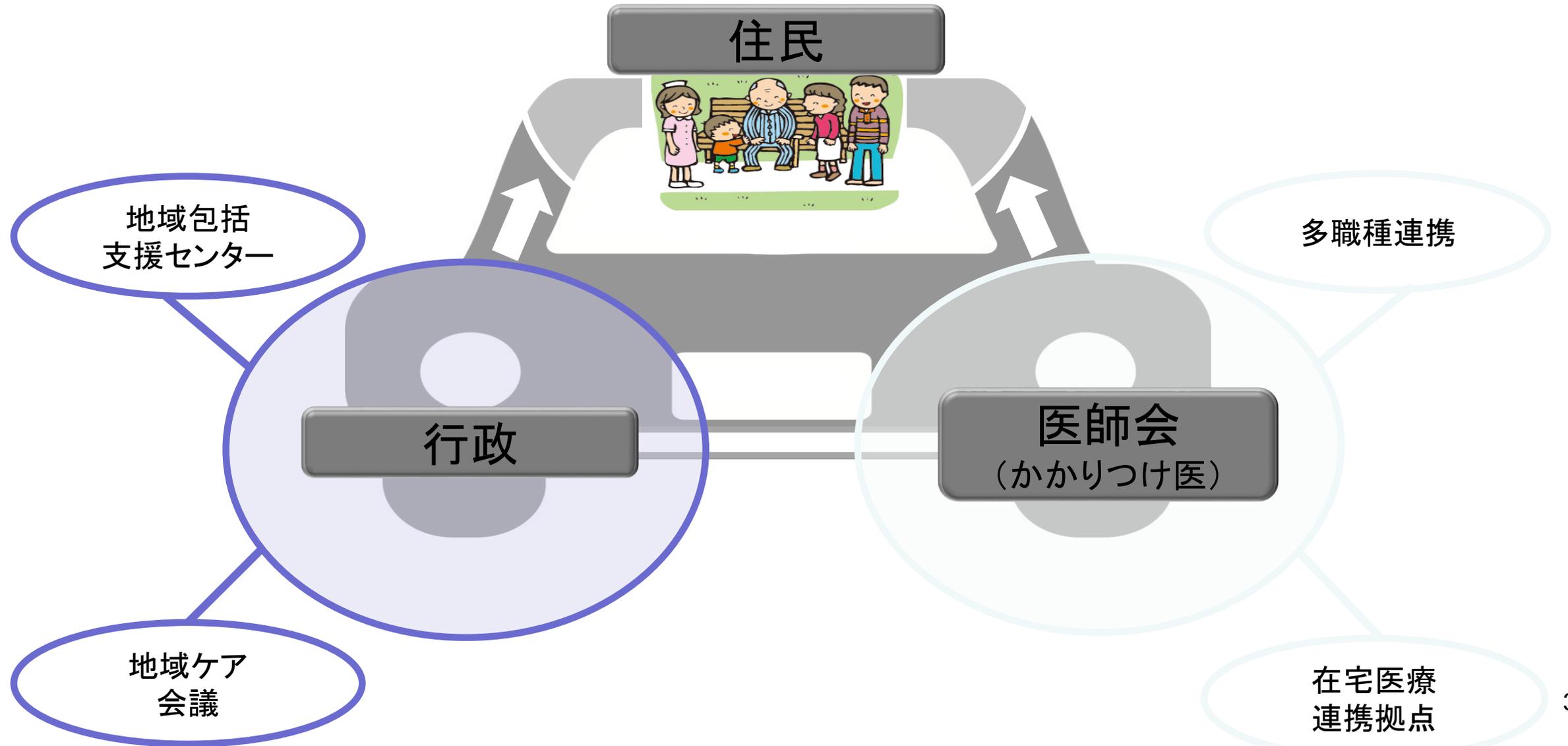
かかりつけ医

日本の医療提供体制の土台を支える
最も重要な役割

総合診療専門医

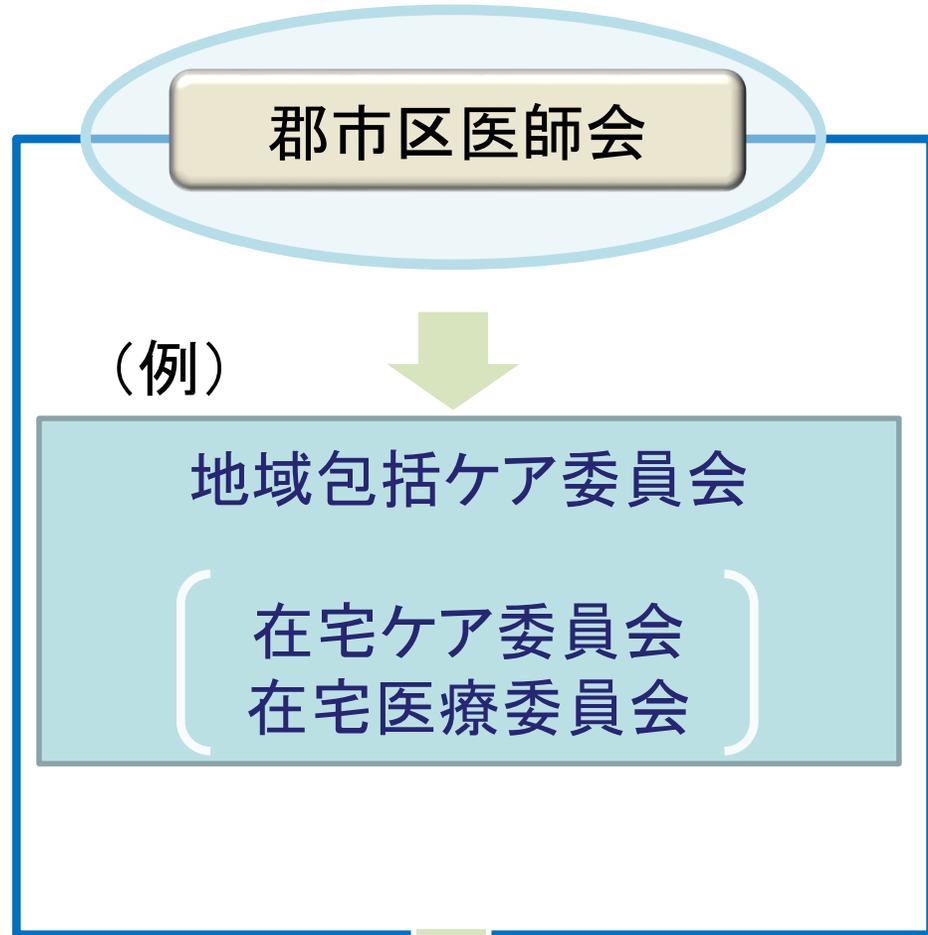
あくまでも学問的な見地からの評価によるもの

地域包括ケアシステムの推進体制



地域包括ケアシステム 地域医療構想

➤ における郡市区医師会の役割



郡市区医師会

(例)

地域包括ケア委員会

在宅ケア委員会
在宅医療委員会

多職種連携会議

在宅医療連携拠点
(医療機関を含む)

コーディネーターの配置
(人件費は地域支援事業交付金の活用可)

総合事業
介護予防

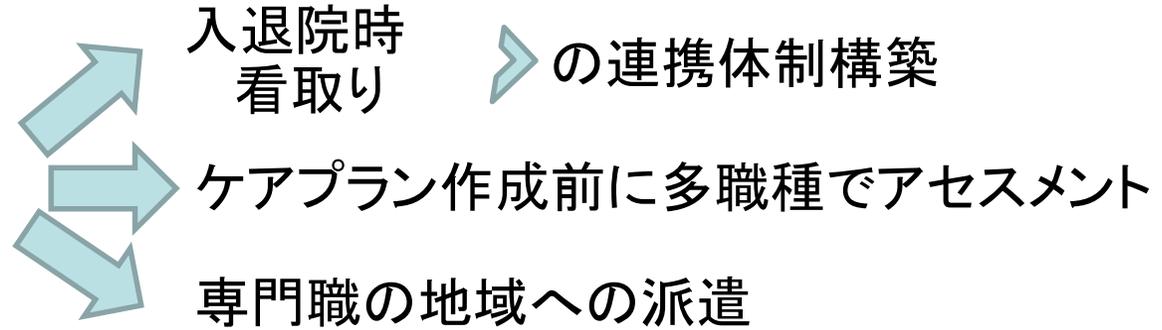
➤への積極的関与

公的医療機関等の
地域での役割の検討

地域医療構想調整会議を主導

郡市区医師会の具体的役割

多職種連携会議



在宅医療連携拠点
(医療機関を含む)

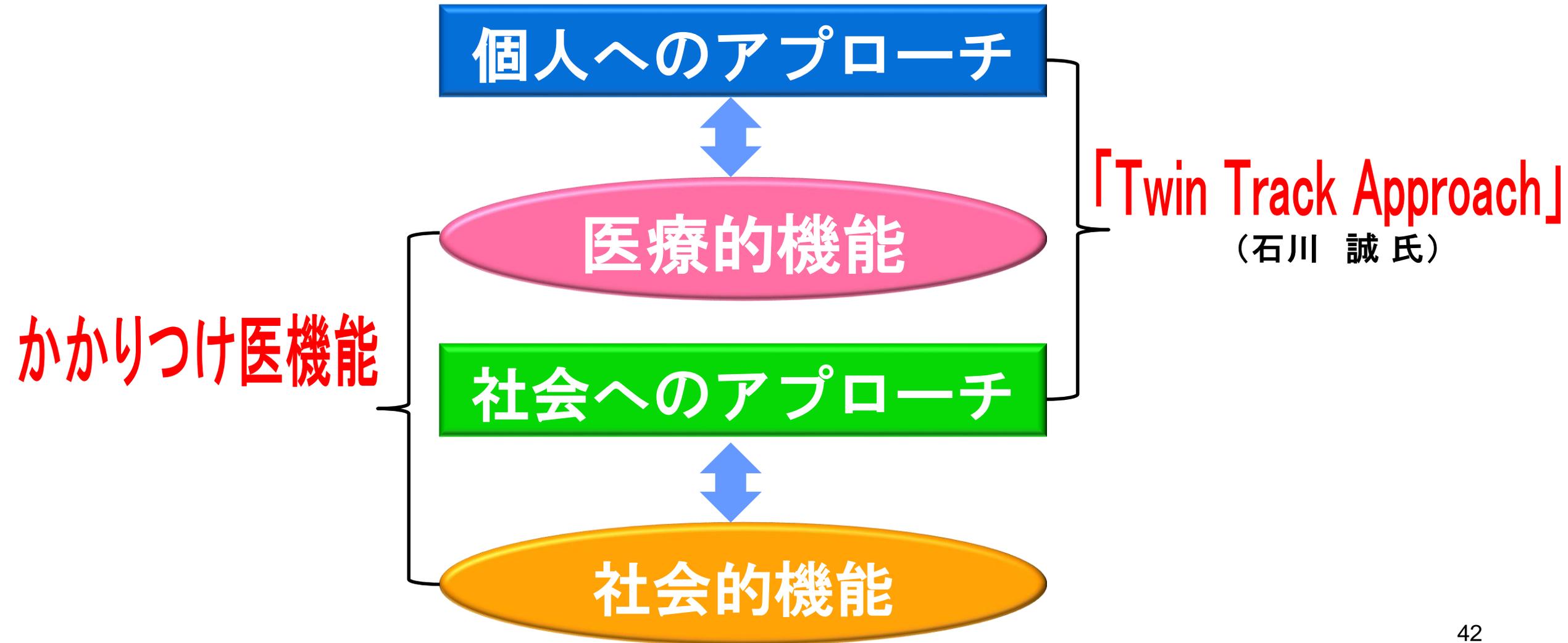


総合事業
介護予防

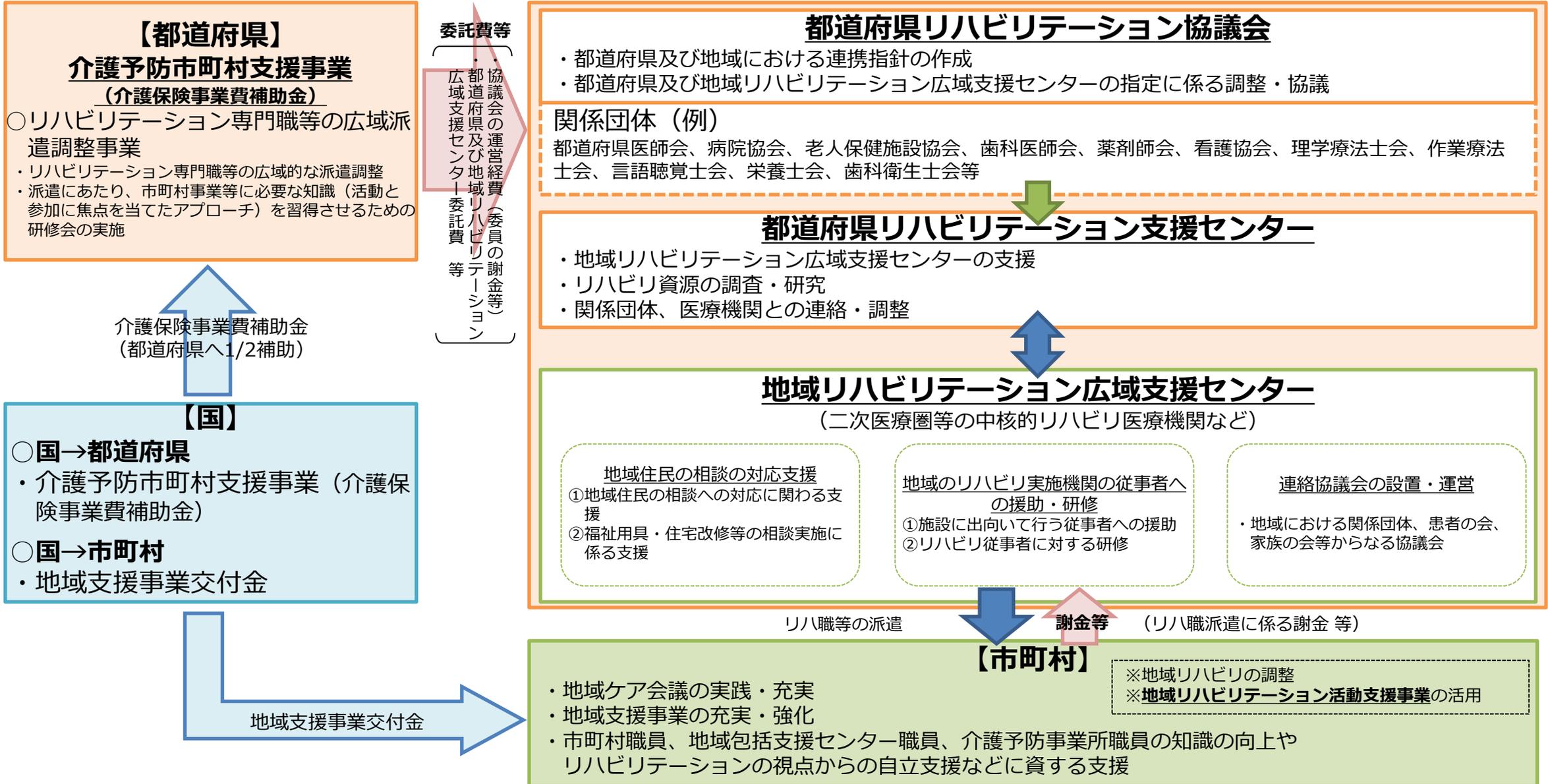
への積極的関与



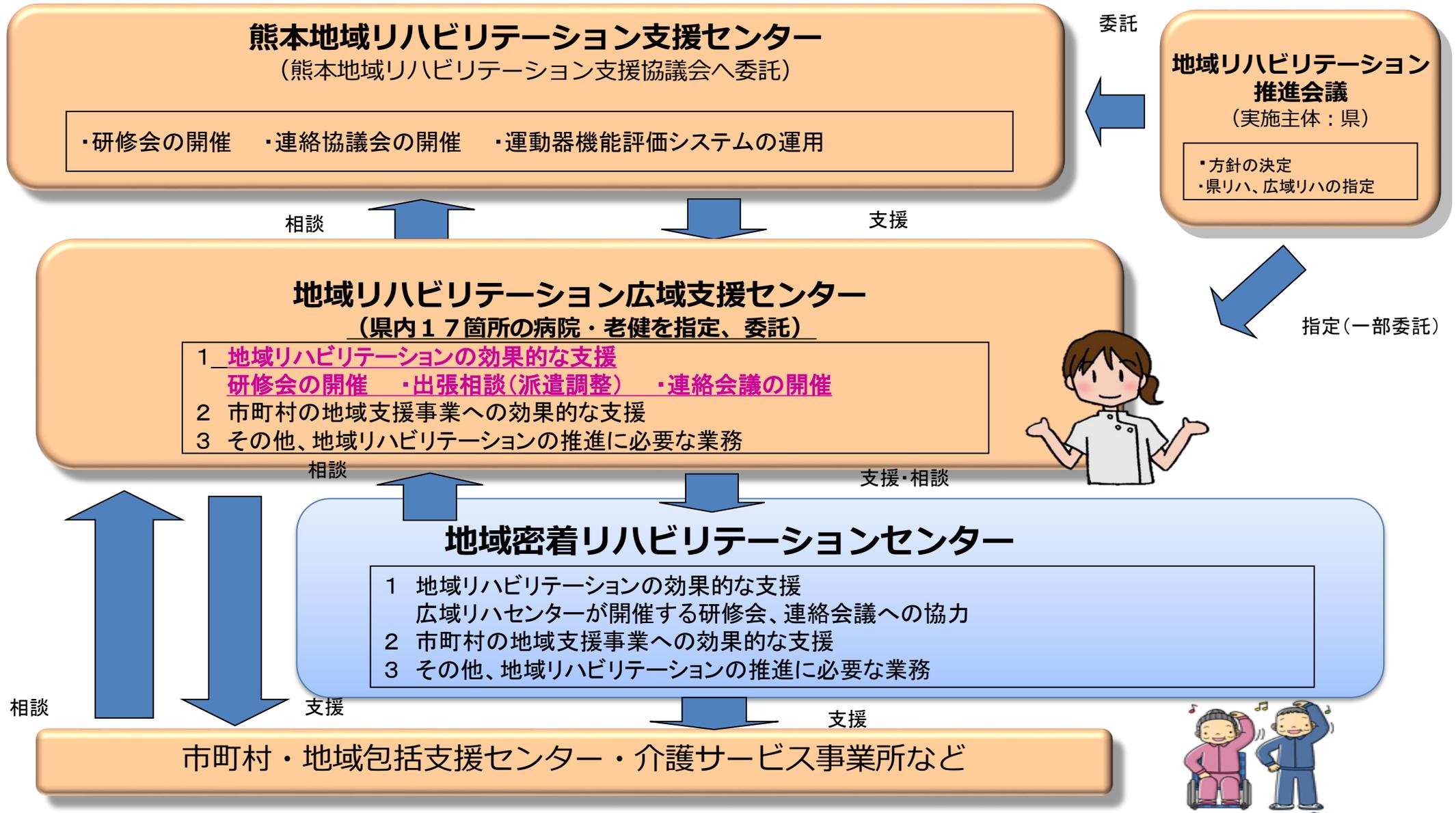
地域包括ケアの活動とかかりつけ医機能の関係



地域リハビリテーションの体制について

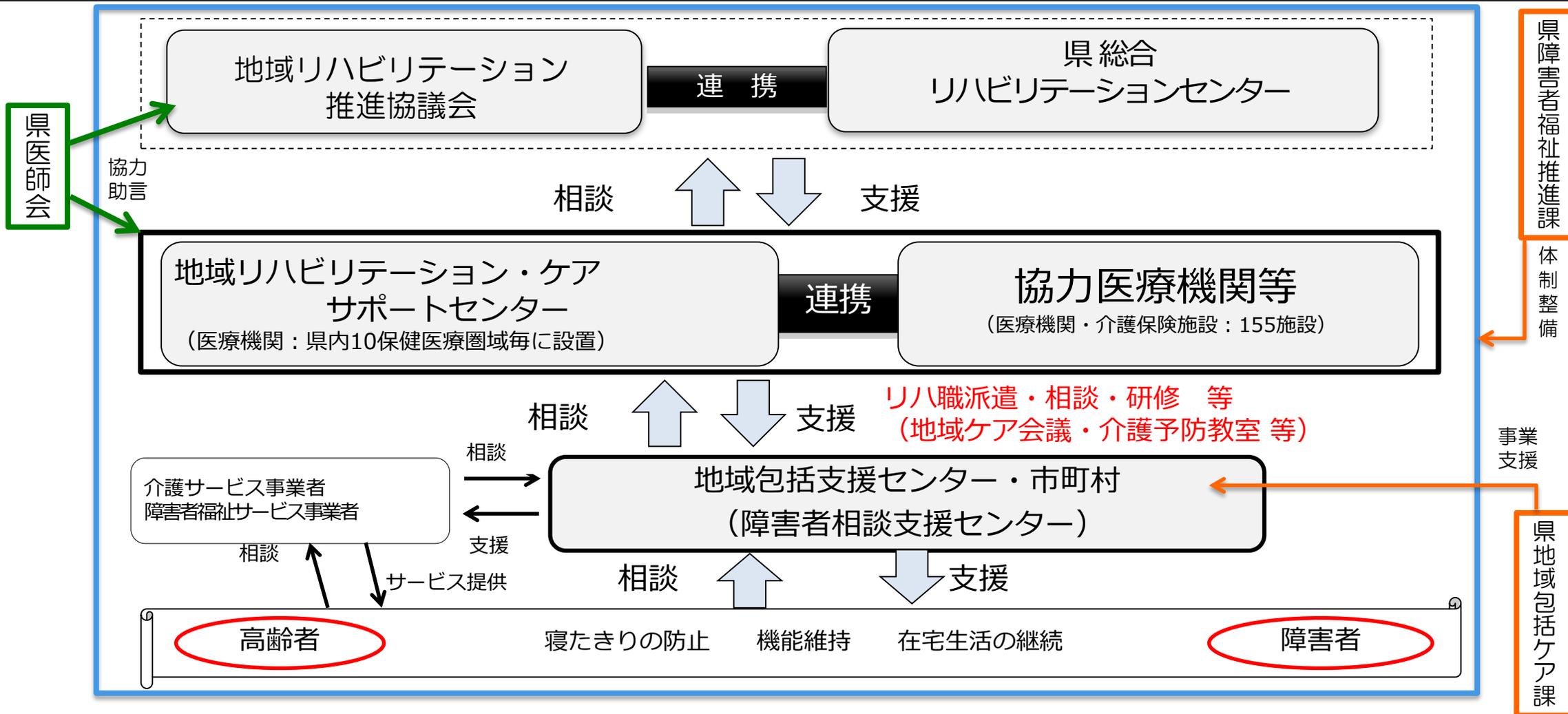


熊本県における地域リハビリテーション支援体制

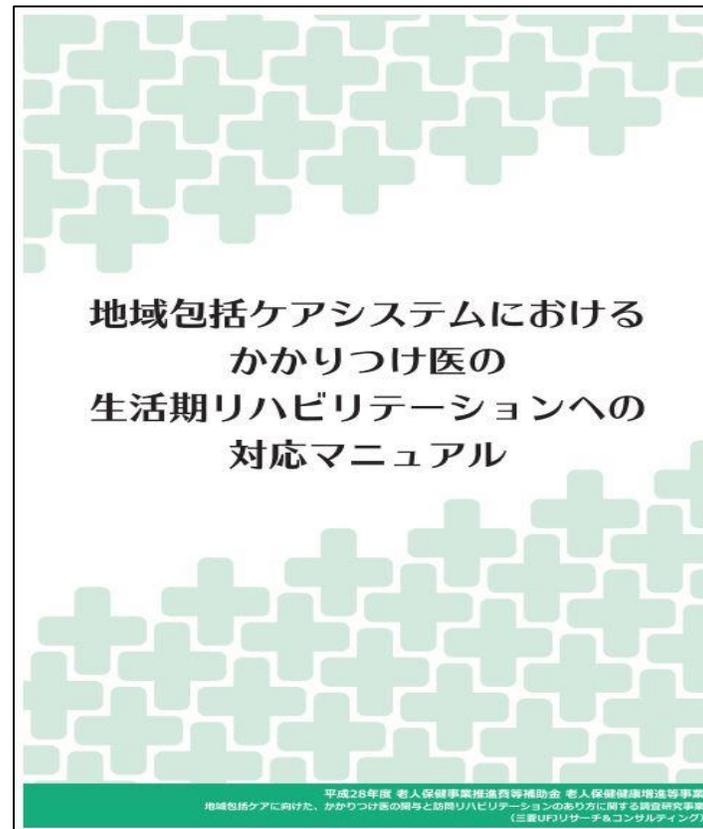


埼玉県地域リハビリテーション支援体制について

高齢者や障害者の様々な状況に応じたリハビリテーションサービスが、より身近な地域で適切に提供されるよう、県総合リハビリテーションセンター、サポートセンター（医療機関）が中心となって、リハ専門職と連携して、地域包括支援センター・市町村等への支援を行う。



「地域包括ケアシステムにおけるかかりつけ医の生活期リハビリテーションへの対応マニュアル」



↓こちらから資料のダウンロードが可能です。

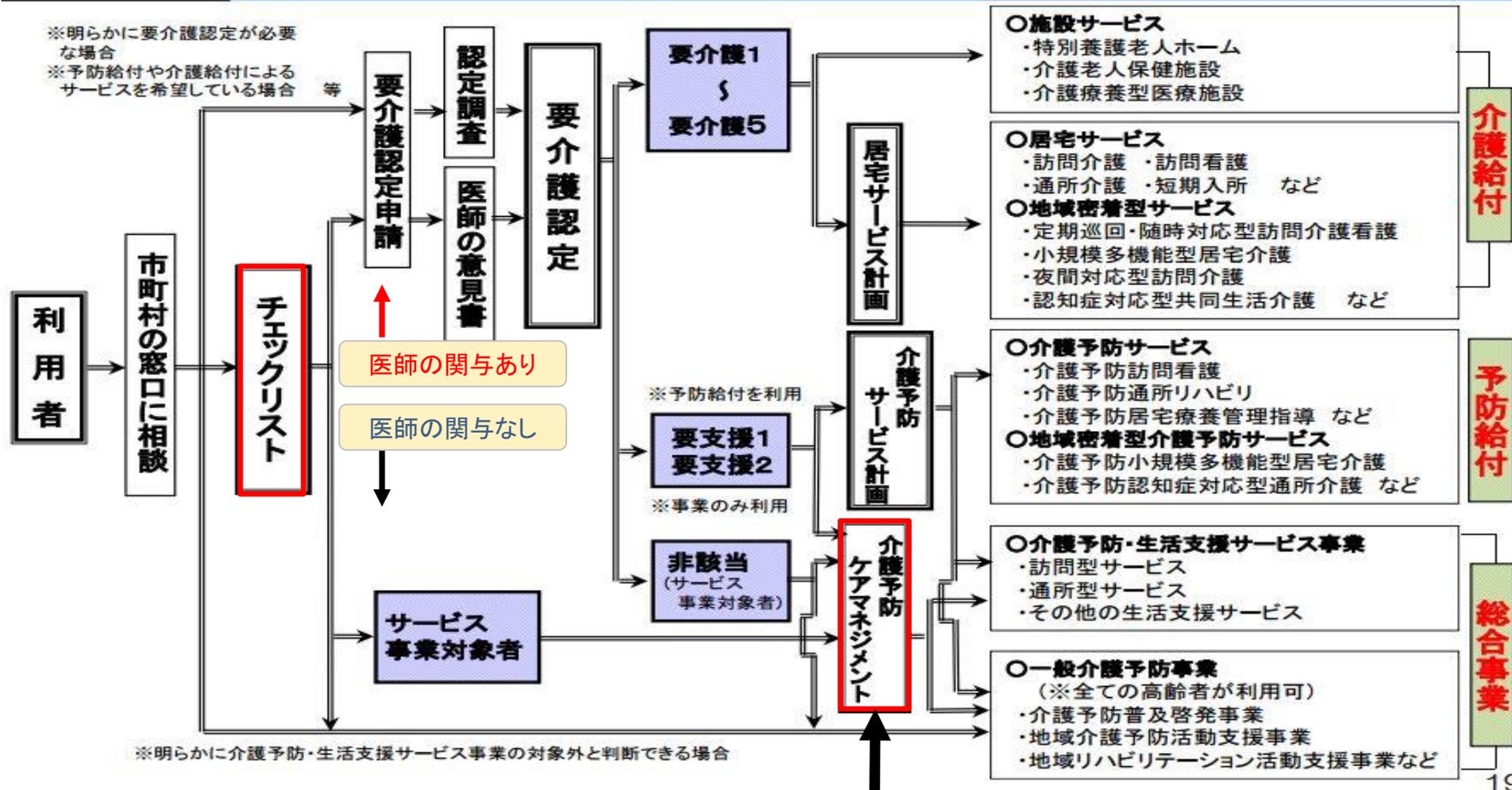
http://www.murc.jp/uploads/2017/04/koukai_170501_c6_1.pdf

【かかりつけ医からリハビリ指示医等への情報提供内容のポイント】

項目	記載内容、記載上の留意点等
傷病名	<ul style="list-style-type: none"> 生活機能低下の原因となった診断名、発症日
その他の傷病名	<ul style="list-style-type: none"> リハビリ実施に際し、リスクや制限要因となる既往症や合併症は特に重要 例：呼吸器疾患、循環器疾患、けいれん、低血糖、起立性低血圧、骨関節の状態（骨粗鬆症の程度を含む）、転倒歴、皮膚状態等
傷病の経過及び治療状況	<ul style="list-style-type: none"> 自院における経過、治療状況に限らない。 リハビリが必要になった背景や、それに係る経緯についての情報が重要 例：障害の原因、当該障害に対する治療歴・リハビリ歴
必要と考える介護・福祉サービス又はサービス利用に際しての留意点等	<ul style="list-style-type: none"> リハビリを通じて実現を見込んでいる目標 リハビリ実施に際しての具体的なリスク（服薬情報及びそれに対応した疾患名の提示があるとわかりやすい。） 利用者にとってどの程度の運動負荷がどの程度のリスクになるかの情報は、リハビリ指示医がリハビリの中止基準等を考慮する上で有用。 急性増悪の恐れがある場合、その際の対応方法や緊急連絡先 利用者本人や家族のリハビリテーションに対する期待、利用者本人の性格や嗜好についても、リハビリを計画する上で有用と思われるれば記載する。

第4 サービスの利用の流れ

【参考】介護サービスの利用の手続き



【地域包括支援センターの関与】
 自立支援に向けては、医療の視点が必要なケースが多くあります。対象者に対しては、まずはかかりつけ医の有無を確認してください。また、何かあれば医師会にご相談ください。
 地域包括支援センターとかかりつけ医、医師会が、連携手帳やICTの活用など、地域に合った方法で連携することにより、地域住民を支える体制の構築に繋がります。

地域支援事業の対象となる高齢者は、基本チェックリストで何らかの「生活のしづらさ」を感じている人であり、その背景には、筋骨格系疾患や循環器系疾患を有する割合が高い。従って、リハビリ専門職は、地域支援事業の対象者といえども、これらの医療的側面について配慮しつつ、適宜、生活機能のついでのアセスメントを行い、以下の点について、地域包括支援センターを通して、かかりつけ医との連携を行う必要がある。

- リハ専門職は、かかりつけ医からの情報により、高齢者の有する疾患について把握し、その影響を ICF の生活機能の観点から評価し、プログラム実施内容、結果等を定期的に地域包括支援センターに報告する。報告の方法、時期については、簡便で継続可能な形態をチームで検討し決定する。また、事業実施中に急激な生活機能の低下がみられる者については、定期報告とは別に、速やかに報告する。
- 疾患を有しているが、かかりつけ医を持っていない対象者については、地域包括支援センターが情報を集約、管理し、適時、郡市区医師会等と相談しながら医療機関との連携を図る。リハ専門職は、利用者のアセスメント、プログラム、実施内容、結果等を報告書として作成する。
- 疾患を有しない対象者についても、予防の観点から、実施状況の情報を地域包括支援センターで集約し、必要に応じて郡市区医師会と連携を行う。リハ専門職は、利用者のアセスメント、プログラム、実施内容、結果等を報告書として作成する。

生涯現役社会を実現するため、先進的な市町村で取り組んでいる効果的な介護予防の仕組みを全国展開し、元気な高齢者を増やすことを目的として実施



「介護予防活動普及展開事業市町村向け手引き」を作成



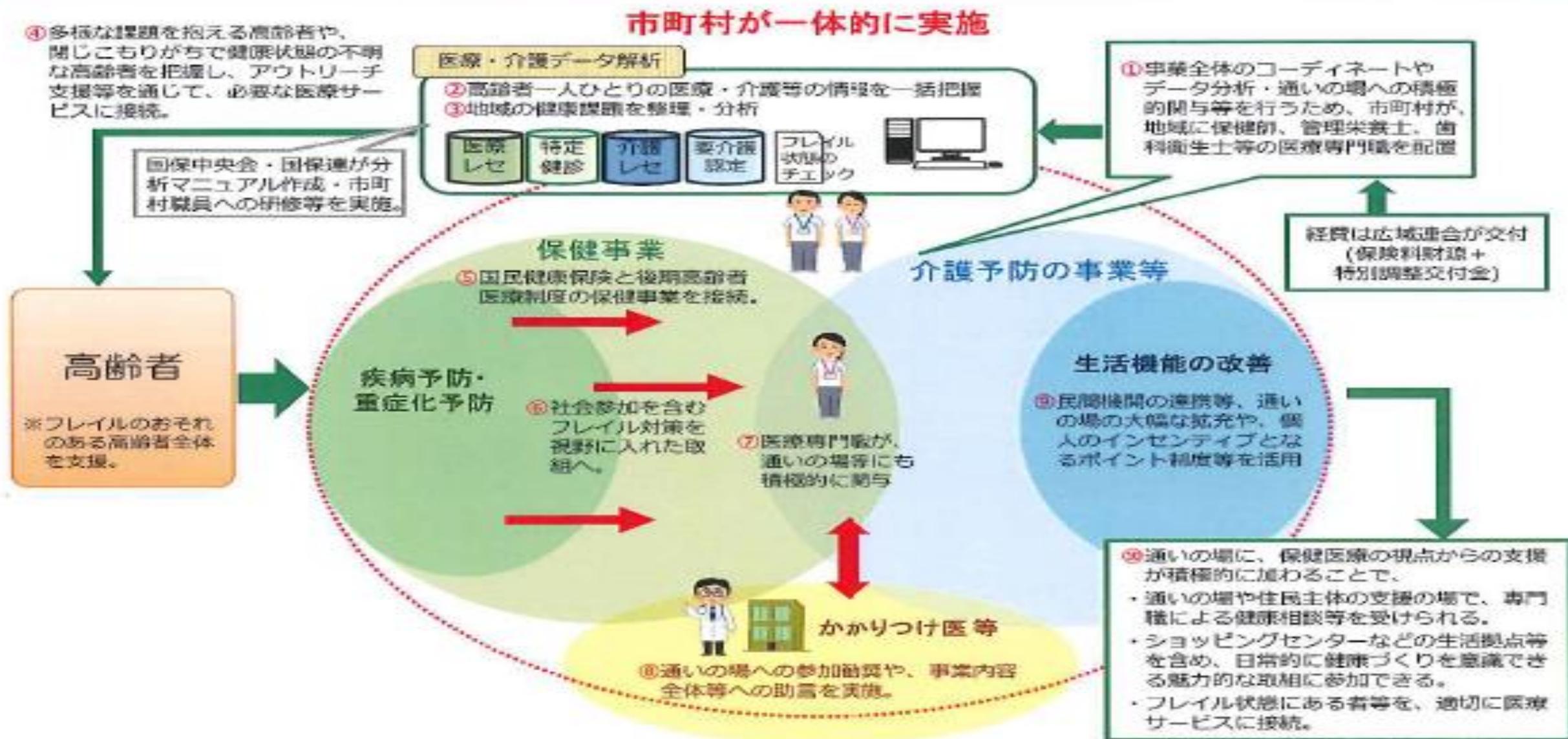
～地域ケア会議にかける事例選定とかかりつけ医との関係～

かかりつけ医がいる事例については、かかりつけ医に予後予測や治療方針を十分に文書等で確認した上で地域ケア会議に臨み、地域ケア会議終了後にかかりつけ医に検討結果を文書等で報告することが重要です。

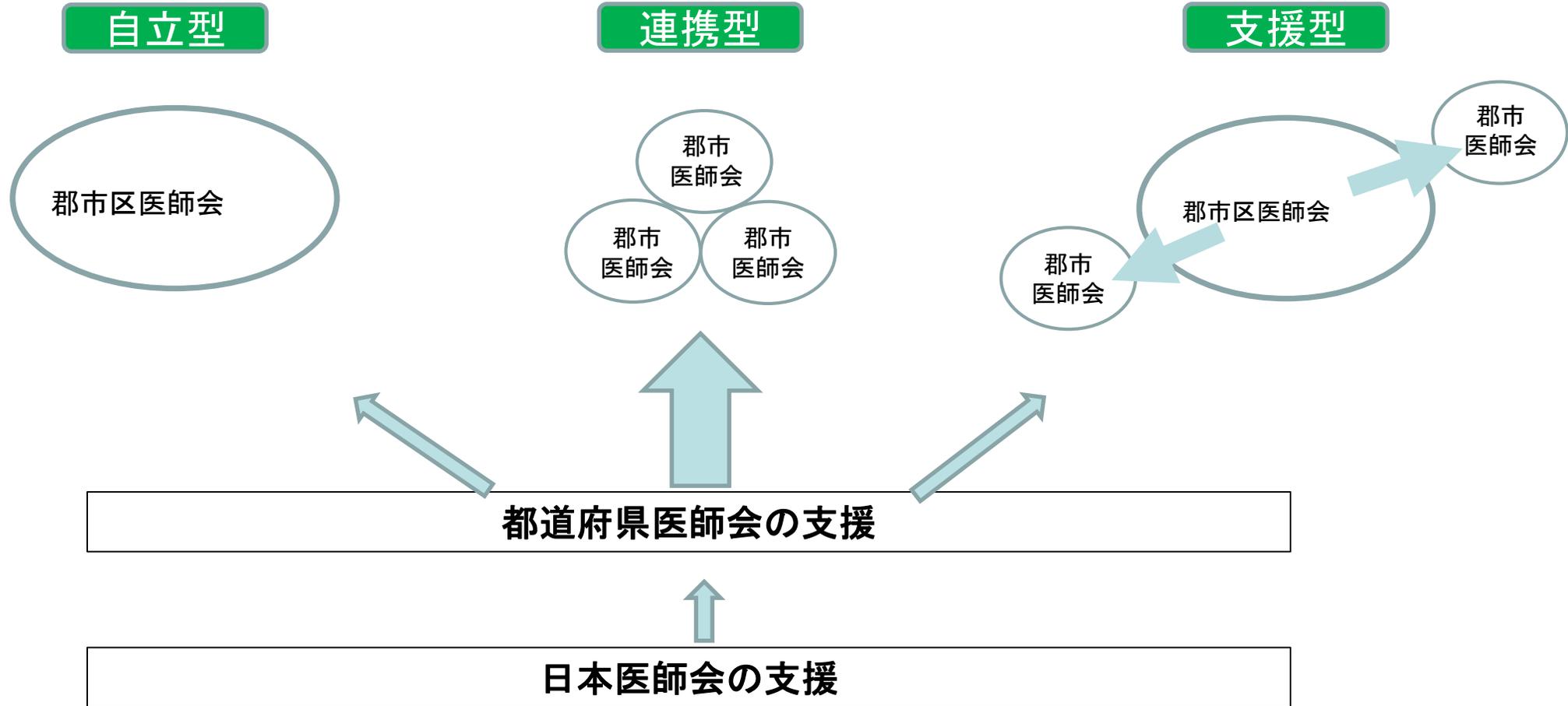
地域ケア会議の開催に際して必要となるかかりつけ医の予後予測や治療方針について、文書による情報提供を受ける場合においては地域支援事業交付金の活用が可能です。

また、かかりつけ医のいない「サービス事業対象者」の事例で、地域ケア会議の検討の結果、医師の判断を要するとされた場合には、医療機関の受診先の希望がない時、受診先について郡市区医師会の協力を仰ぐことが考えられます。

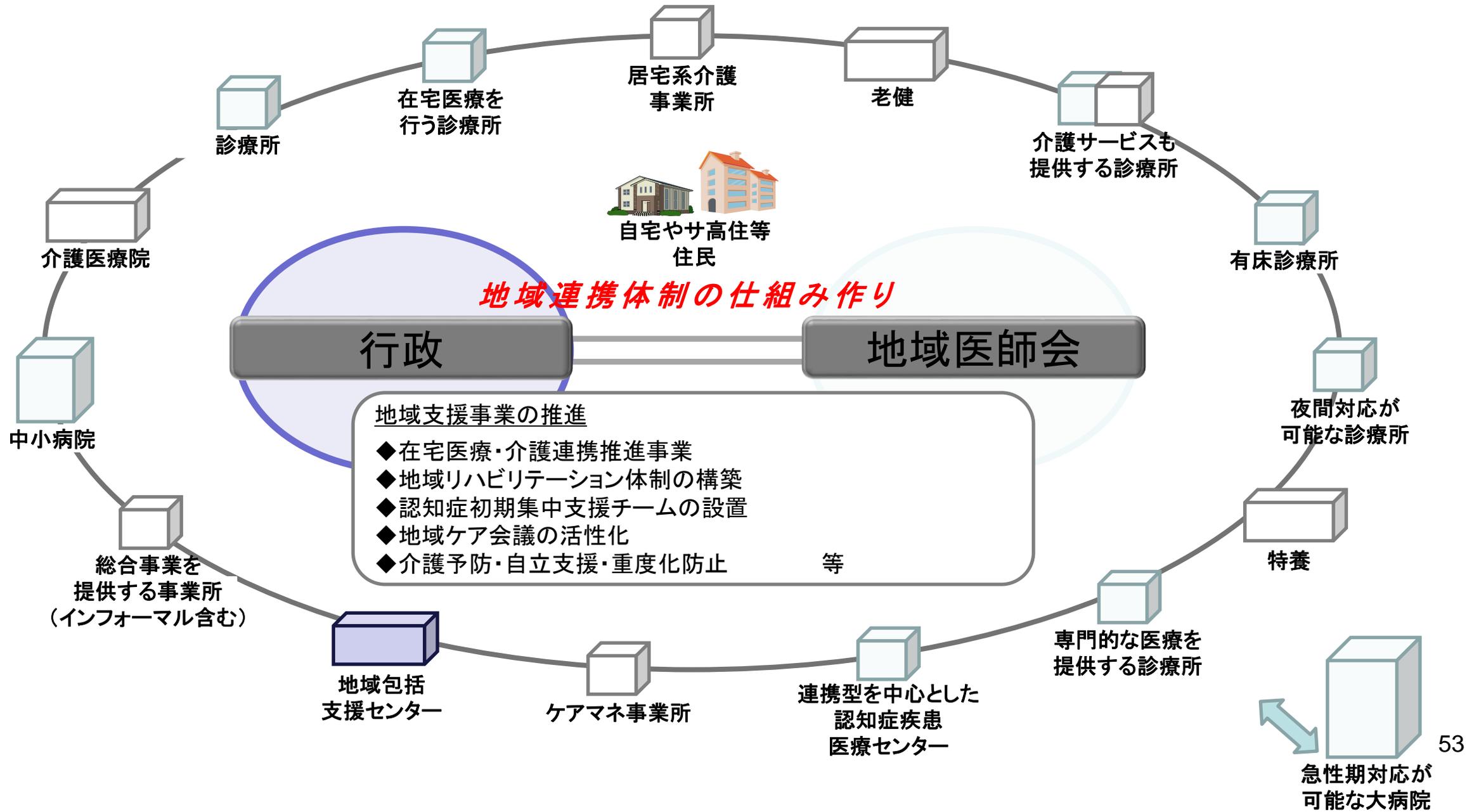
市町村における高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について（イメージ図）



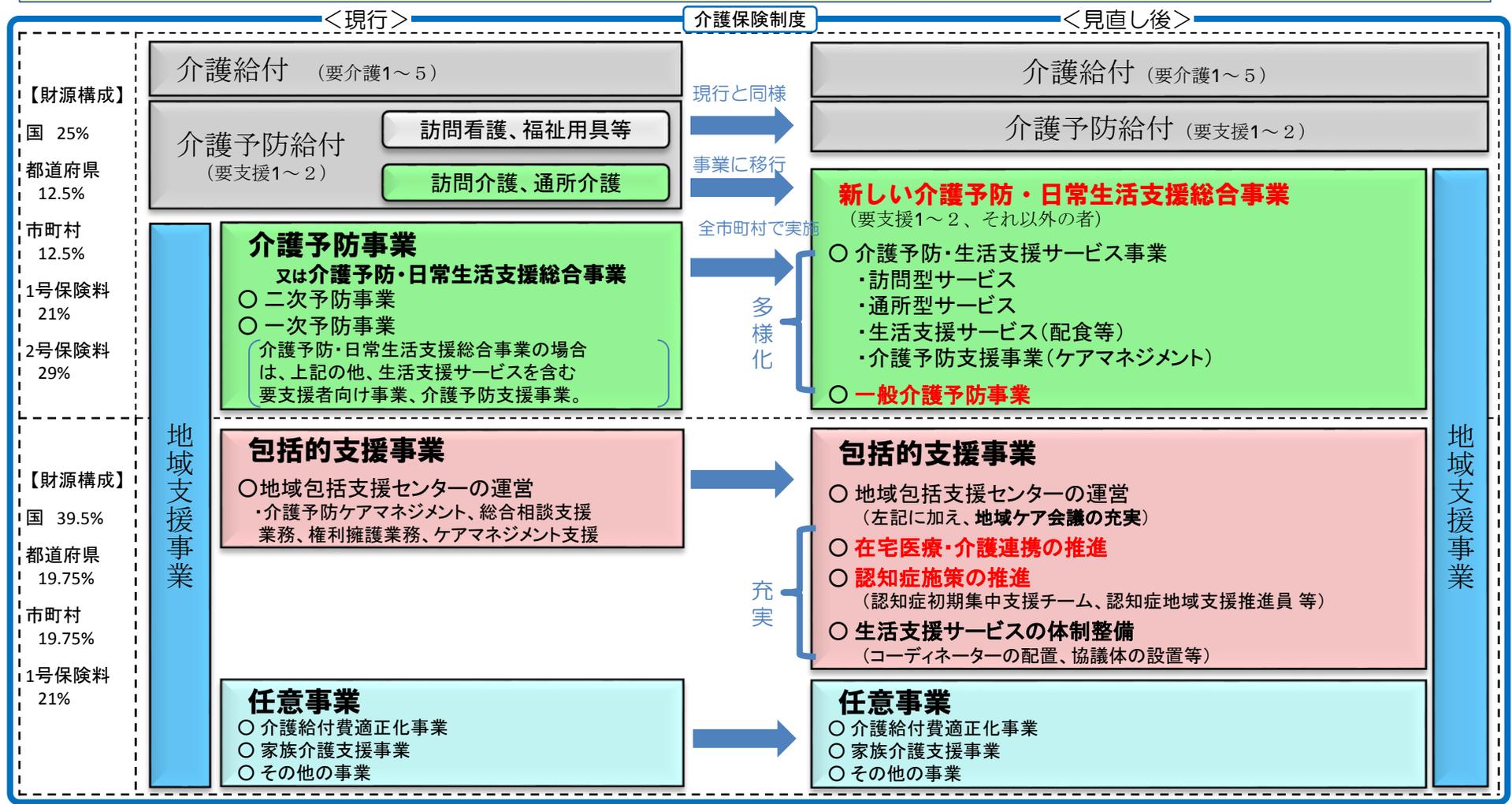
郡市区医師会の規模や地域性に応じた地域包括ケアシステムの構築



地域包括ケアシステムのあるべき姿



新しい地域支援事業の全体像



地域包括ケアシステムの具体化に向けた 現場での医療介護連携の取組

- 入院時、退院時における切れ目のない医療・介護連携
- 居宅等における看取りを含めた切れ目のない医療・介護連携
- 多職種連携



平成30年度同時改定で評価

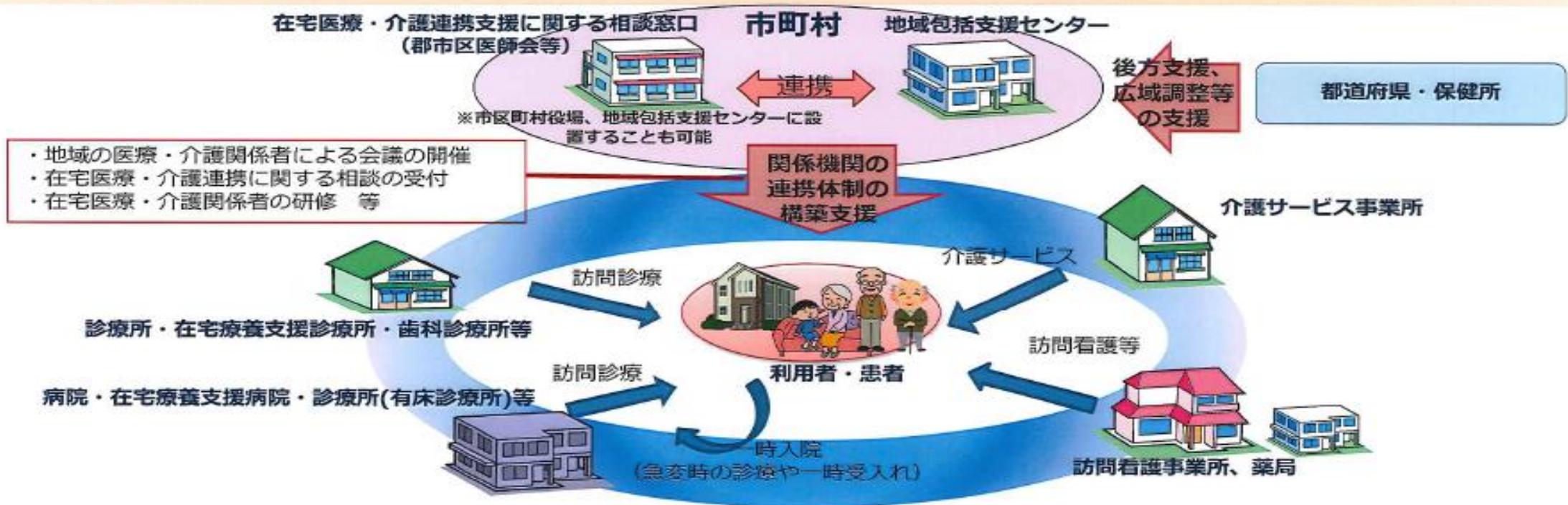
在宅医療・介護連携の推進

- 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関（※）が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することが重要。

（※）在宅療養を支える関係機関の例

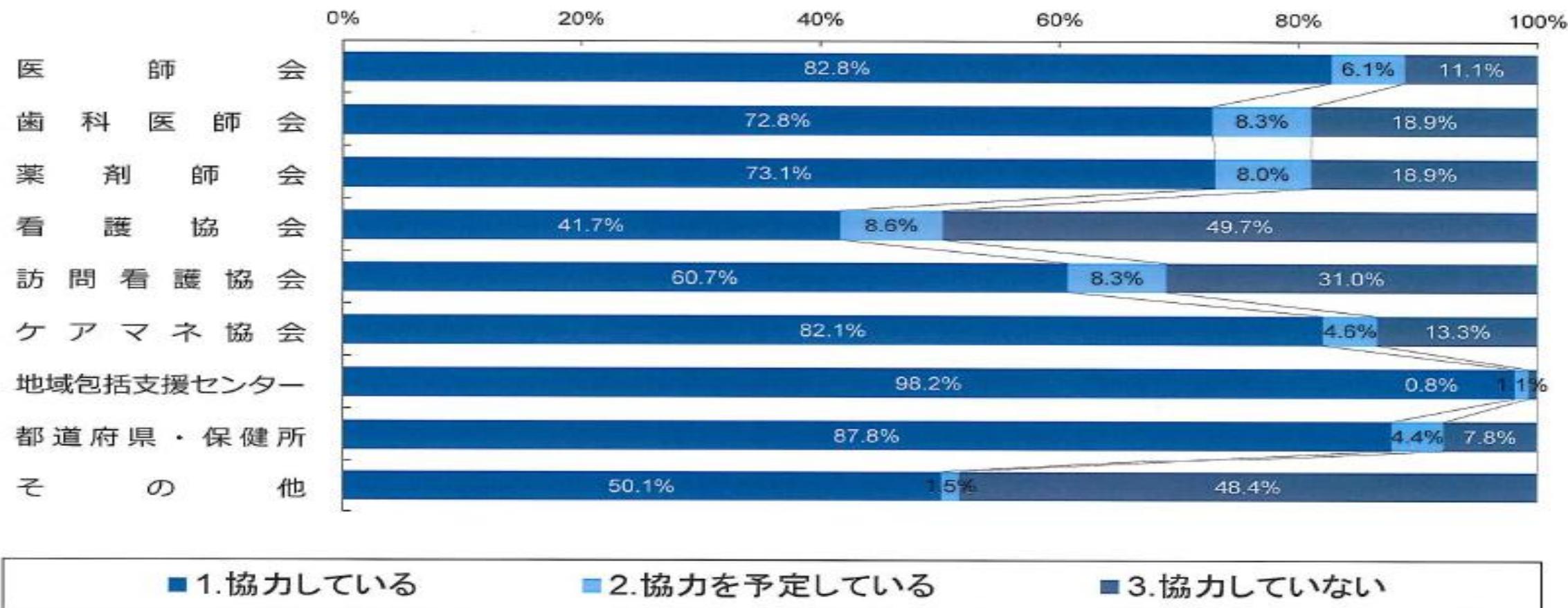
- ・診療所・在宅療養支援診療所・歯科診療所等（定期的な訪問診療等の実施）
- ・病院・在宅療養支援病院・診療所（有床診療所）等（急変時の診療・一時的な入院の受入れの実施）
- ・訪問看護事業所、薬局（医療機関と連携し、服薬管理や点滴・褥瘡処置等の医療処置、看取りケアの実施等）
- ・介護サービス事業所（入浴、排せつ、食事等の介護の実施）

- このため、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するため、都道府県・保健所の支援の下、市区町村が中心となって、地域の医師会等と緊密に連携しながら、地域の関係機関の連携体制の構築を推進する。



在宅医療・介護連携推進事業の実施における関係団体等との協力状況 (n=1,733 複数回答)

在宅医療・介護連携推進事業の実施における関係団体等との協力状況については、「地域包括支援センター」、「都道府県・保健所」、「医師会」と協力をしているという回答が多かった。



出典 平成30年度地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護連携推進事業のあり方に関する調査（確定値）

3. 志村フロイデグループの取り組み

地域リハビリテーション 定義

地域リハビリテーションとは、障害のある子供や成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行なう活動のすべてを言う。



(日本リハビリテーション病院・施設協会2016)

志村フロイデグループ (平成31年4月現在)



医療法人 博仁会

昭和26年10月志村大宮病院開設

昭和32年10月法人化

拠点・事業所数: 33 職員数: 844名



社会福祉法人 博友会

平成12年10月

拠点・事業所数: 25 職員数: 248名



学校法人 志村学園

平成22年3月

拠点・事業所数: 1 職員数: 14名

法人の経営理念・目標

経営理念

私たちは、お客様が住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らしていただくために必要な保健・医療・福祉の総合的なサービスの提供に努めます

経営目標

私たちは、県央・県北西部のリハビリセンターと高齢者・障害者総合ケアシステムの確立を実現します。



志村大宮病院の理念と方針

病院理念

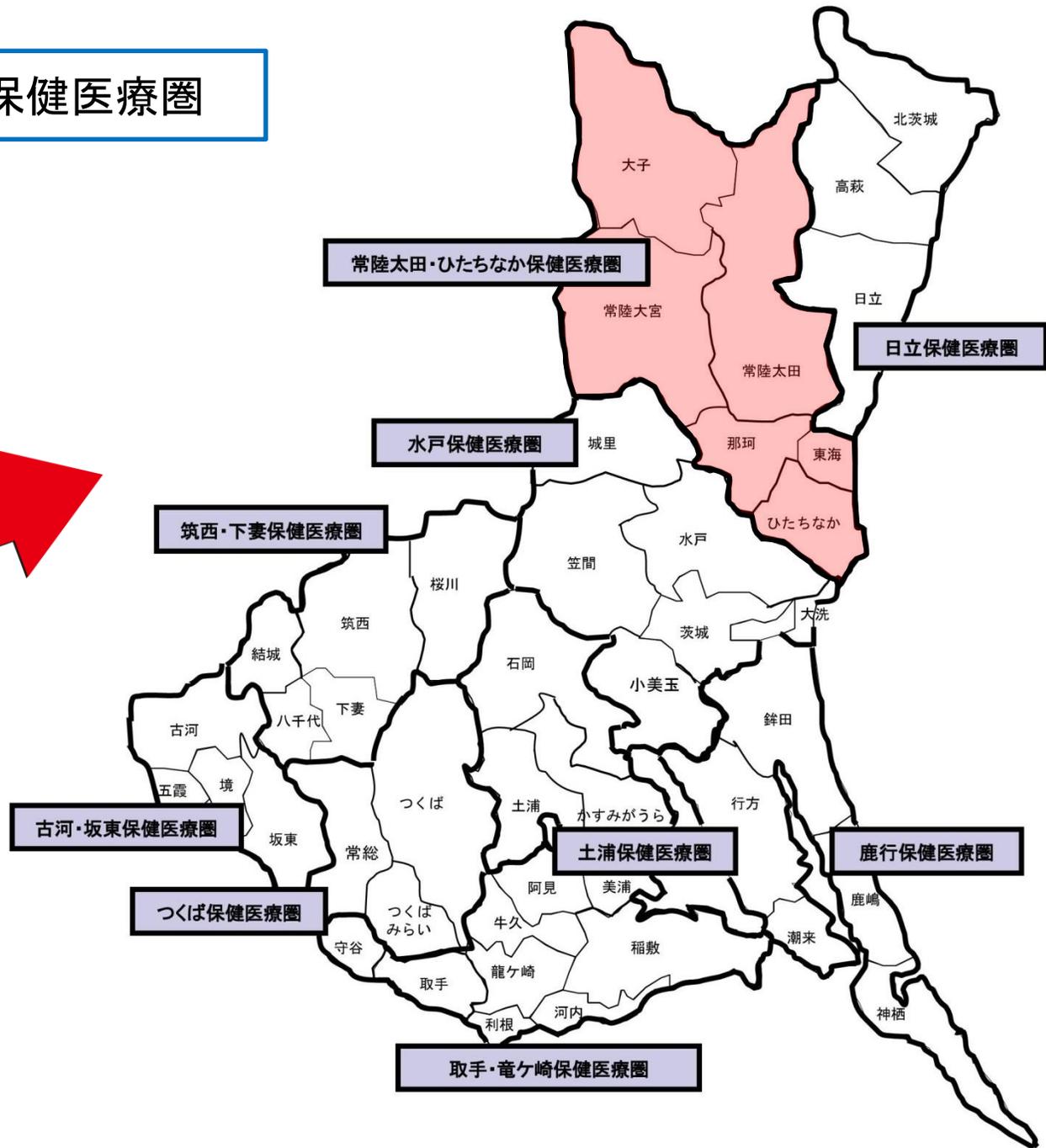
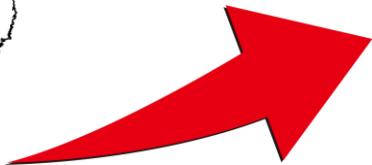
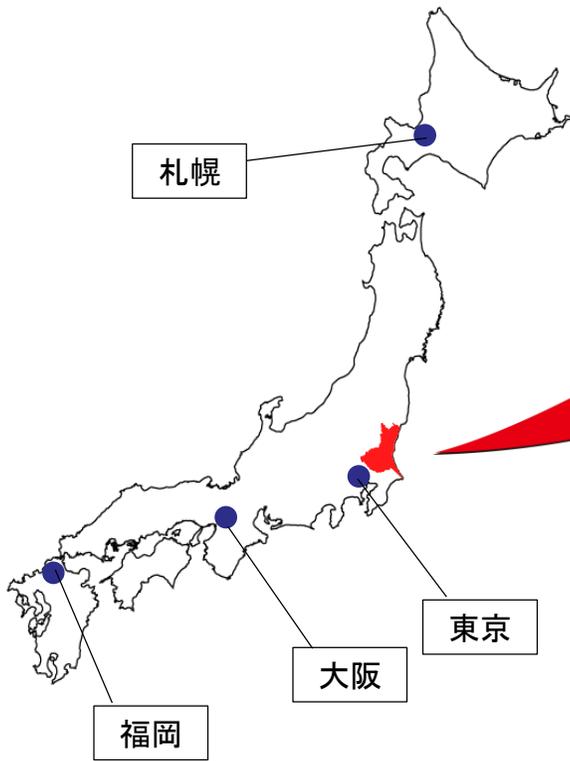
私たちは、地域包括ケアを支える病院としてリハビリ・緩和ケア・認知症を中心にかかりつけ医機能と専門医療を提供するとともに、全世代・全対象型地域包括ケアを実現するためのまちづくりに貢献します。

基本方針

- ・ 患者様の権利、尊厳を尊重します。
- ・ 安全、安心な医療提供に努めます。
- ・ 患者様のためのチーム医療と地域医療連携を推進します。
- ・ 職員の教育・研修を推進します。
- ・ 効率的で健全な病院経営に努めます。

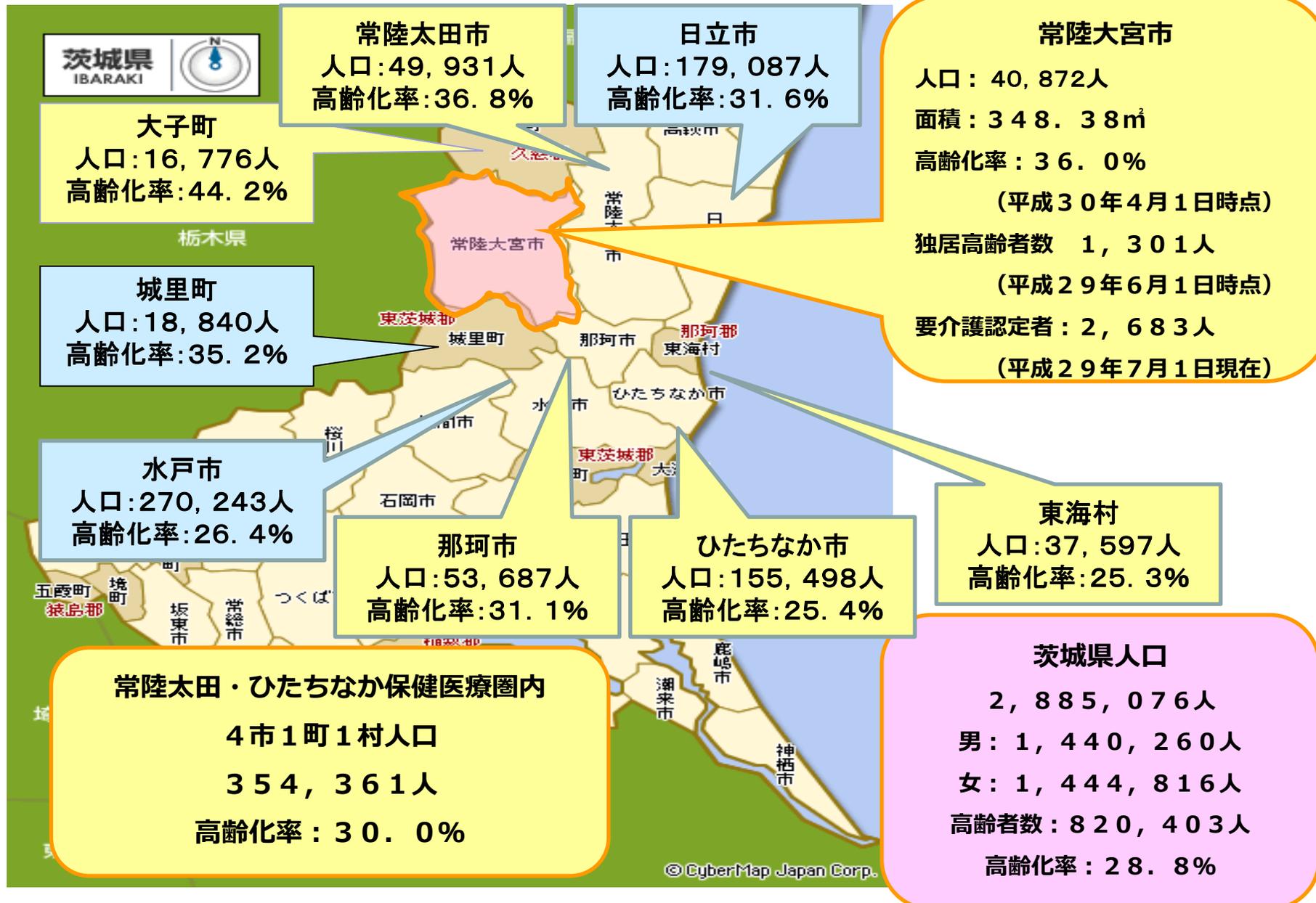


茨城県二次保健医療圏



茨城県・常陸大宮市周辺市町村の人口構成

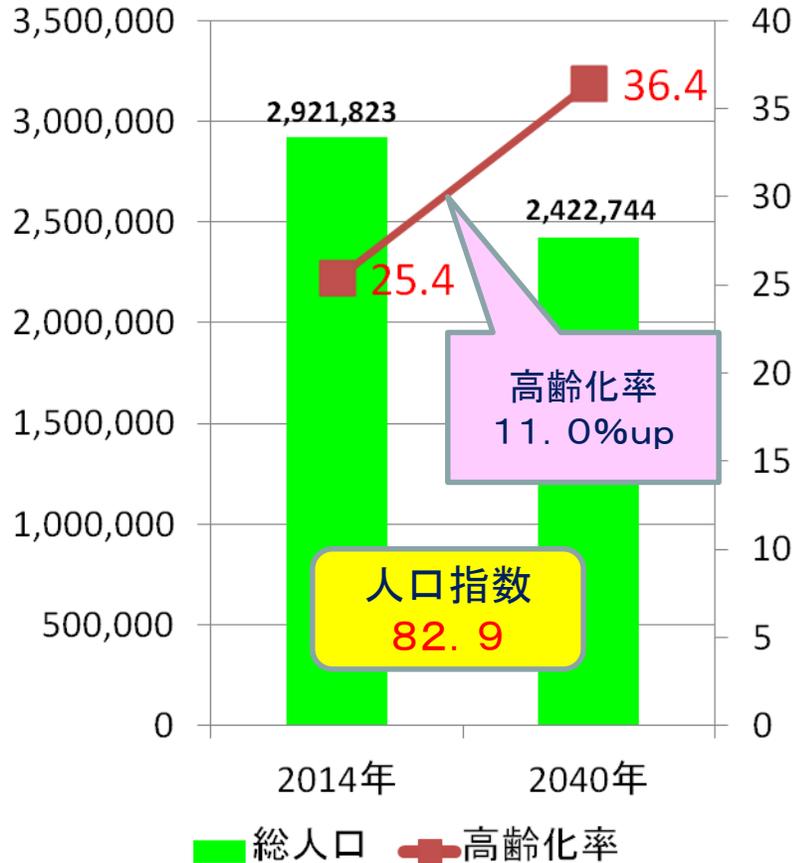
平成30年7月1日現在



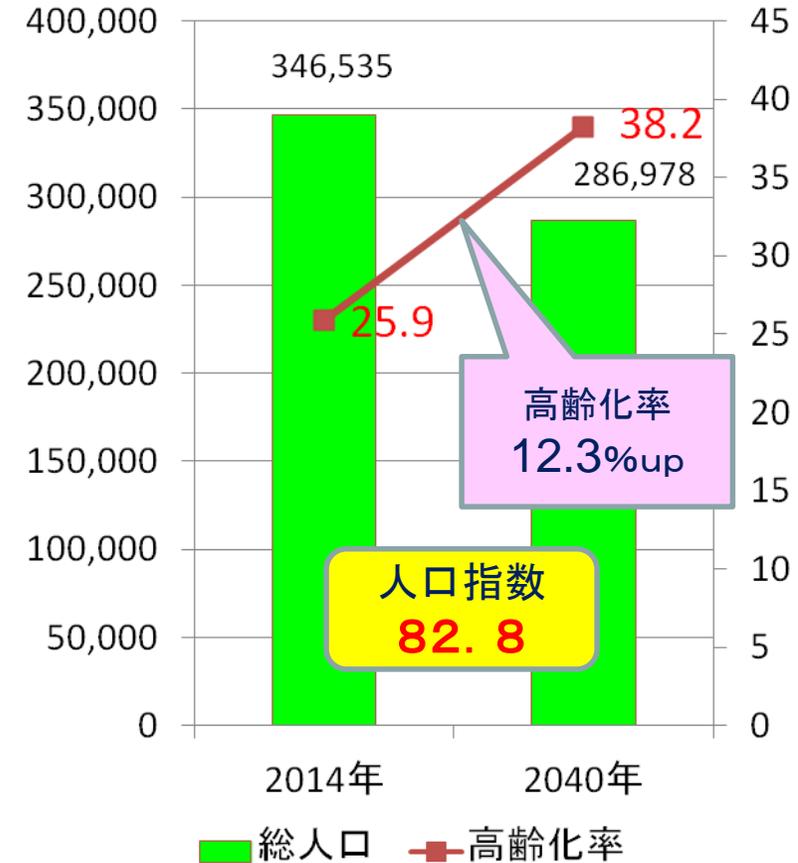
茨城県下の2040年推計人口①

2014年5月人口に基づく2040年推計比較

茨城県全体



常陸太田・ひたちなか保健医療圏

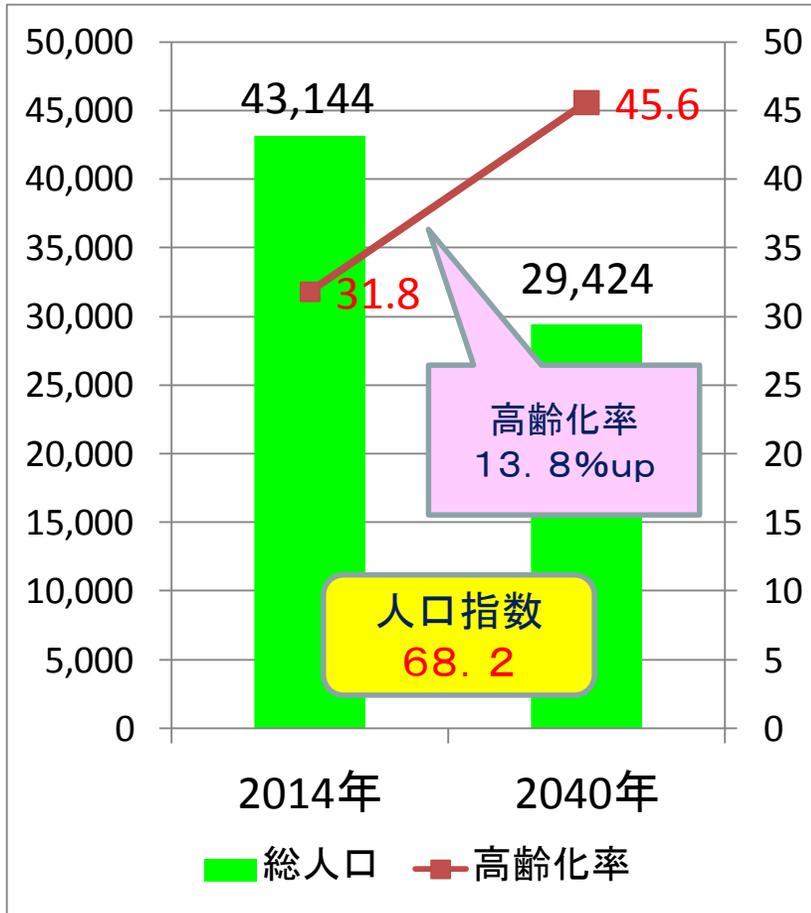


現在既に高齢化率が高い地域は低い地域に比べて今後は高齢化の進行よりも人口減少がより問題となる

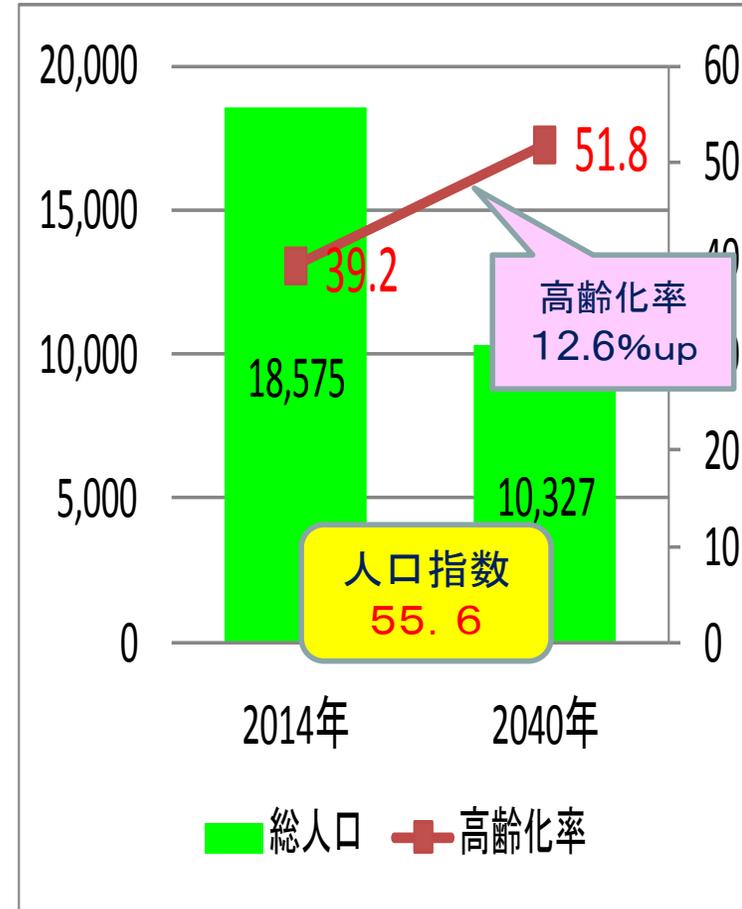
茨城県下の2040年推計人口②

2014年5月人口に基づく2040年推計比較

常陸大宮市



大子町

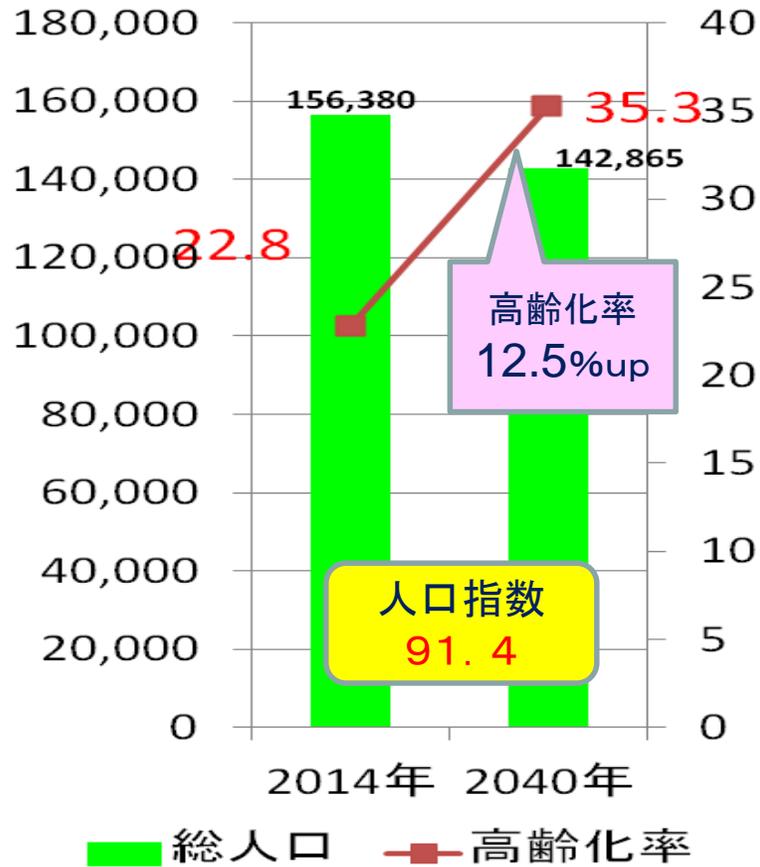


高齢者人口は横ばいで人口減少がより深刻となる地域である

茨城県下の2040年推計人口③

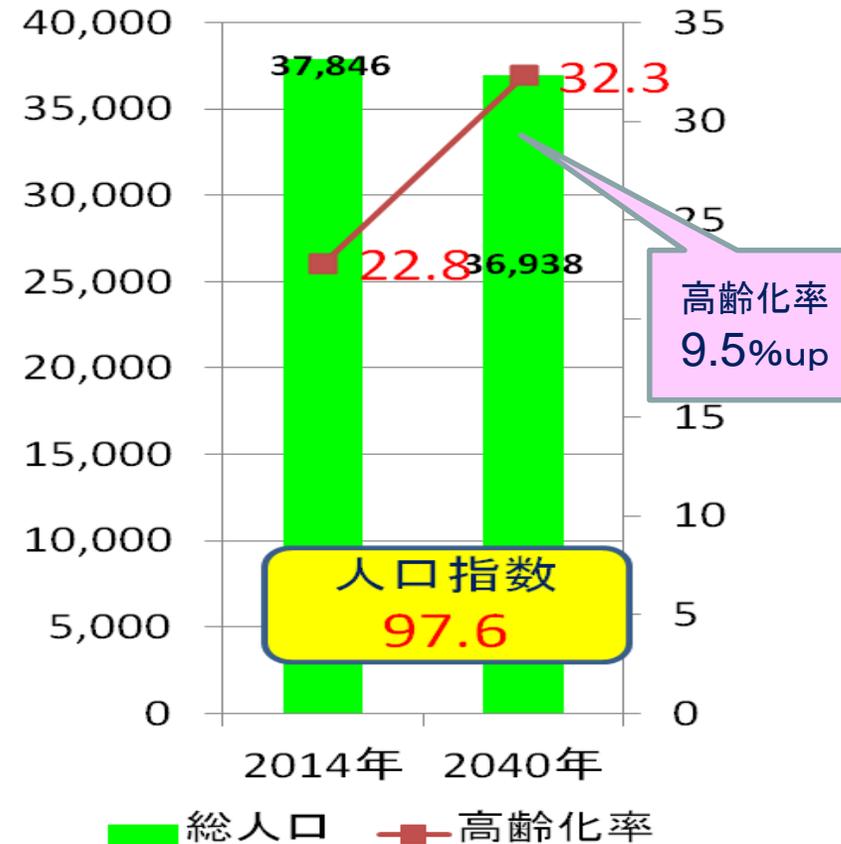
2014年5月人口に基づく2040年推計比較

ひたちなか市



人口減少と高齢者人口の増加が共に起こっている標準的なタイプ

東海村



人口減少・高齢化率ともに鈍化の地域

志村フロイデグループの紹介

(平成30年9月1日現在)

フロイデ総合在宅
サポートセンター美和

フロイデ総合在宅
サポートセンター山方

介護老人福祉施設
御前山フロイデガルテン

グループホーム桂

フロイデ総合在宅
サポートセンター城里

就労移行支援
就労継続支援B型
フロイデ工房

就労継続支援B型
フロイデ工房なか

児童発達支援
ロッティなか

フロイデ総合在宅
サポートセンター友部

サービス付き高齢者向け住宅
フロイデアシストハウス友部

フロイデ総合在宅
サポートセンター水戸河和田

志村大宮病院
緩和ケア エーデルワイス病棟
総合緩和ケアセンター
茨城北西総合リハビリテーションセンター
回復期リハビリ病棟 スイス館



フロイデ総合在宅
サポートセンター緒川

介護老人保健施設
大宮フロイデハイム

常陸大宮市
南部地域包括支援センター

在宅介護支援センター
おおみや

認知症疾患医療センター

認知症対応型通所介護
志村デイサービスセンター

機能訓練センター
ブリューゲル

フロイデ総合在宅
サポートセンター大宮

サービス付き高齢者向け住宅
フロイデアシストハウス大宮

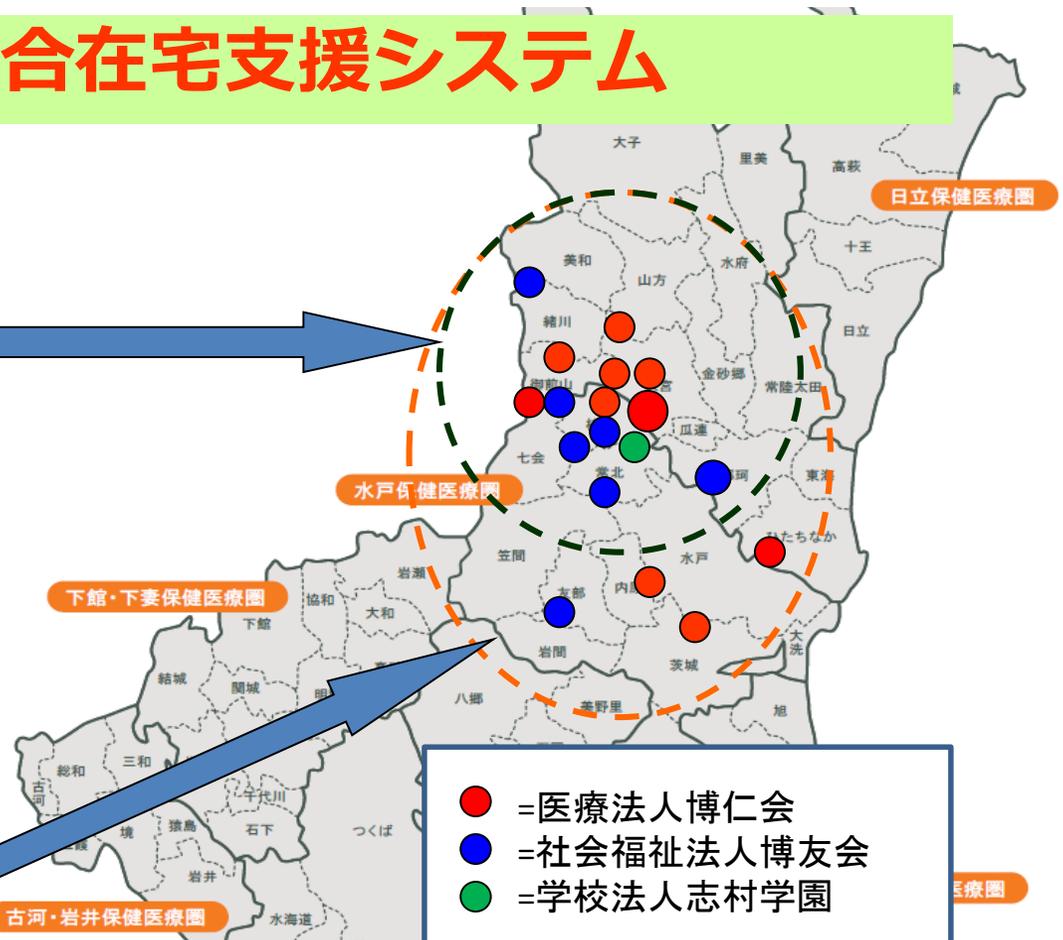
地域密着型介護老人福祉施設
大宮フロイデドルフ

フロイデ総合在宅
サポートセンターひたちなか

フロイデ総合在宅
サポートセンター水戸けやき台

志村フロイデグループの展開

● フロイデ総合在宅支援システム

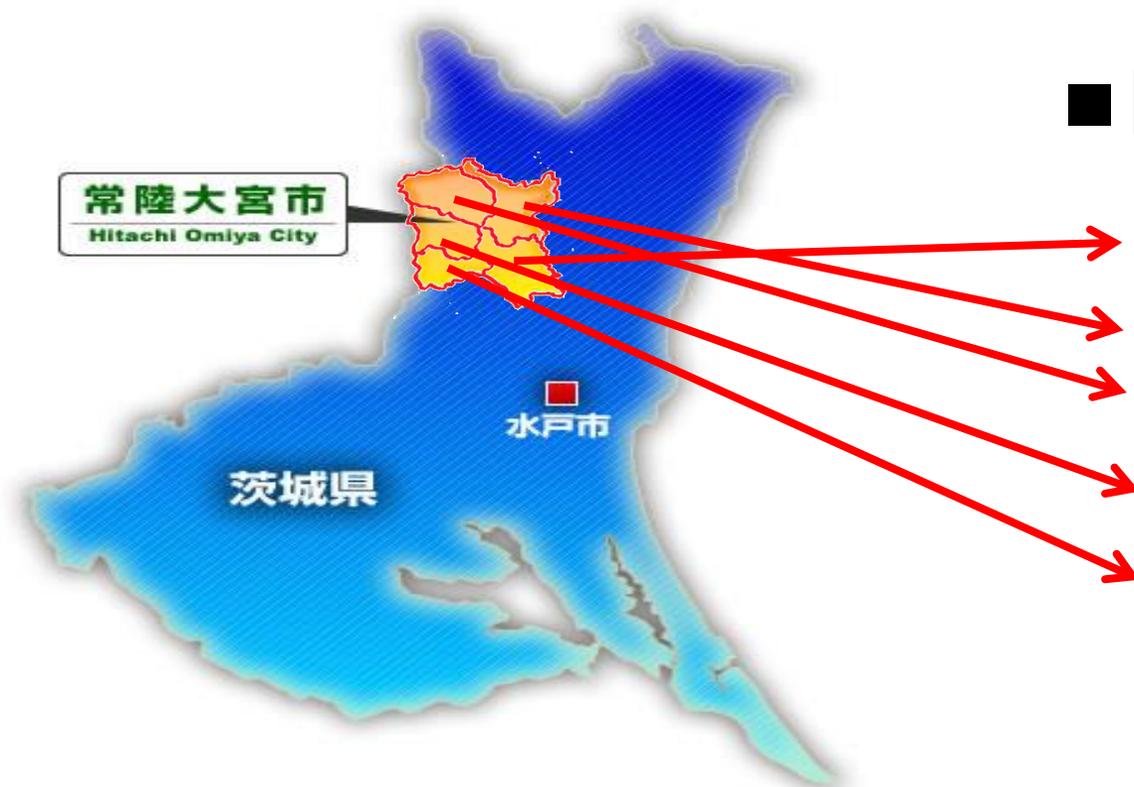


- 24時間・365日の地域包括ケア の確立を目指す！
- 在宅部門の総力を結集し、在宅復帰を可能にする！

茨城県 常陸大宮市

■ 人口：42,417人 (平成30年9月1日現在)

■ 高齢化率：34.79%



■ 旧町・村単位の高齢化率

大宮	: 30.21%
山方	: 41.33%
美和	: 44.49%
緒川	: 41.30%
御前山	: 41.05%

緒川地区 地域と連携した地域包括ケア



病気になったら

医療

急性期・回復期・慢性期
 志村大宮病院
 大宮済生会病院
 おがわクリニック
 美和診療所
 志村ごぜんやまクリニック
 茂木中央病院
 那須南病院
 歯科: 緒川歯科診療所
 認知症患者医療センター
 志村大宮病院

訪問医
 志村大宮病院
 美和診療所
 大宮クリニック
 おがわクリニック
訪問リハ
 志村リハビリテーション
訪問薬剤: 志村大宮病院
 おせ薬局
訪問看護: 志村訪問看護

障害

障害者施設
 やまびこ厚生園
就労支援
 フロイデ工房しるさと

SC緒川

いつまでも元気に暮らすために



・通所介護・介護予防通所介護
 ・洗濯代行サービス
 ・夕食弁当サービス

介護が必要になったら
介護



訪問介護・入浴
 志村訪問介護
 ごぜんやまヘルパーステーション
 美和ヘルパーステーション
 ごぜんやま訪問入浴
住宅改修、福祉用具
 茨城総合介護サービス

通所リハ・介護
 ・通所リハ
 大宮デイケアセンター
 貴船デイケアセンター
 ・通所介護・介護予防
 デイサービスおがわ



小規模多機能型居宅介護
 サポートセンター大宮・山方

那須烏山市・茂木町



生きがい・介護予防

介護予防
 ・一般介護予防教室
 ・お達者教室(在宅支援センターおがわ)
 ・ピンピンきらり運動カフェ
 ⇒ 緒川健康サポーターの育成



生活支援

配食サービス
 (御前山・おおみや・美和)
 ・洗濯代行サービス
 ・訪問販売
 (みむらストア・あんしん介護・フロイデ工房)
 ・買い物支援即売会: あんしん介護
 ・移動販売車 プラスワン



・民生委員
 ・認知症サポーター講座
 (長寿福祉課)
 ・オレンジカフェ
 ・近隣地区学生への
 リハビリ・介護体験
 ・緒川幼稚園との交流会

こども・見守り・地域

・緒川村防犯協会
 ・地域見守り協力隊
 (提携先: みむらストア)
 ・独居者の見守り: 在支との連携
 ・地域通貨・施設内通貨の運用
 ・OGAWAサポーター



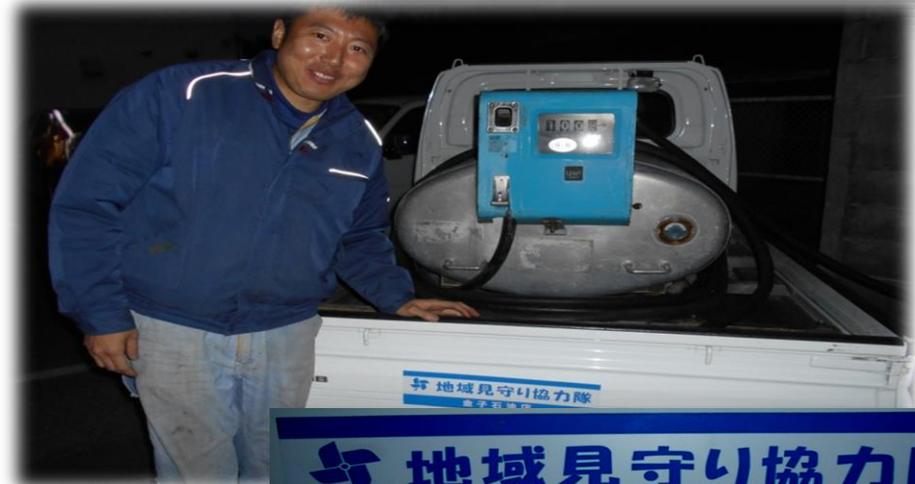
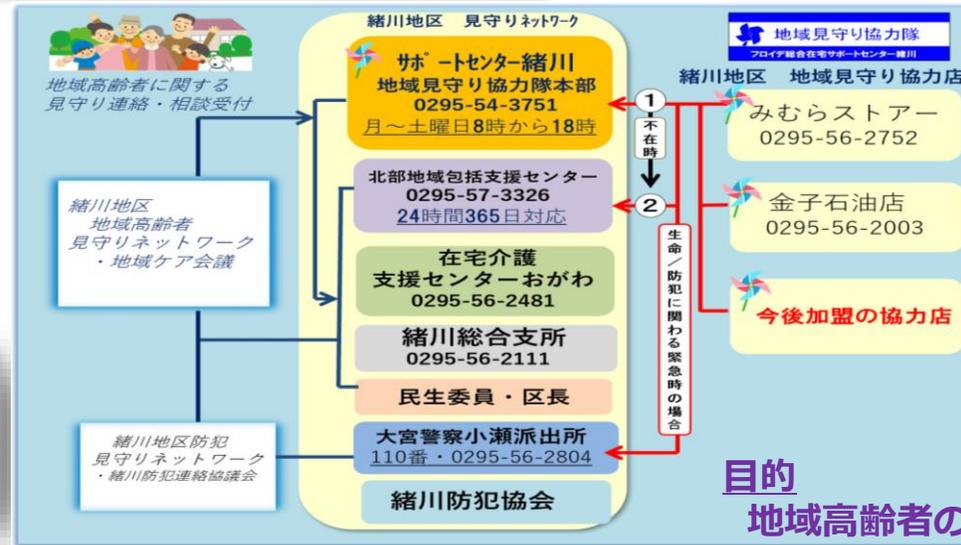
緑: SFGとの連携
 赤: 実施中
 青: これから実施すること

地域のお年寄り・子どもの見守り・防犯活動

地域見守り協力隊発足！ since2018



地域見守り協力隊
みむらストアー



地域見守り協力隊
金子石油店



地域見守り協力隊
フロイデ総合在宅サポートセンター緒川

加盟店：みむらストアー（訪問販売車）
（新）：金子石油店（給油車）
※地域高齢者情報の共有実施
今後他の事業所へも拡大予定！！

医療法人博仁会の沿革・概要



法人の沿革(概略)

昭和26年 志村大宮病院設立
平成8年 介護老人保健施設
大宮フロイデハイム開設
平成15年 茨城北西総合リハビリテーションセンター開設
(回復期リハビリ病棟・総合リハビリテーション施設)
平成20年 志村クリニックごぜんやま開設
平成21年 DPC対象病院
平成22年 在宅療養支援病院
平成27年 緩和ケア病棟開設

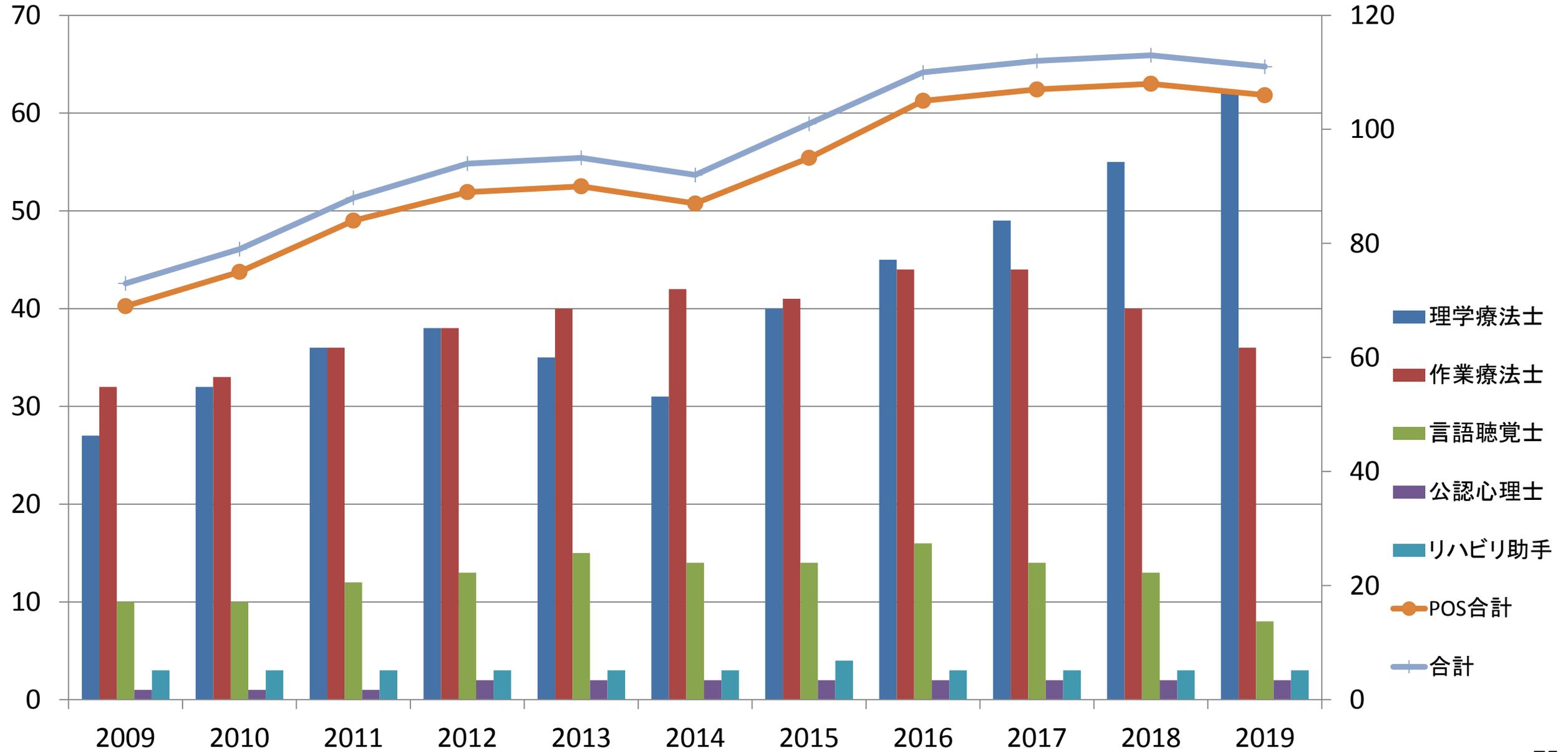
病院の概要

許可病床数 178床
(一般56床・地域包括ケア4床・緩和ケア20床
回復期リハビリ50床・医療療養48床)
看護体制 一般:10対1
リハビリ 脳血管 I 運動器 I 呼吸器 I
診療科目 16科目
外来処方 院内・院外処方

外部機関認定・認証

日本医療機能評価機構 主たる機能:一般病院1 副機能:緩和ケア病院 リハビリテーション病院
付加機能:リハビリテーション機能 ISO9001・2015 プライバシーマーク くるみんマーク

リハビリテーション科スタッフ数推移



SFGリハビリテーション科ランドデザイン

医療必要度

入院リハビリ

集中的な専門的リハビリテーション

- 早期リハビリテーション
- 機能改善,ADL向上
- 在宅復帰支援 (退院調整)
- 福祉用具選択,住環境改修
- 高次脳機能障害家族支援
- 終末期リハビリ

外来リハビリ

退院後の継続的リハビリテーション

- 退院後,集中的リハビリテーション
- 自主練習定着 (メンテナンス)
- 相談支援

訪問リハビリ

在宅での課題解決リハビリテーション

- 在宅生活を継続するための課題抽出と解決
- 自宅生活の安定化を図る
- 社会参加の推進

機能訓練センター

社会生活力向上

- 職業前練習
- 生活関連動作練習
- 社会参加の推進

老健入所

在宅復帰と認知症リハビリテーション

- 多職種協働による生活課題解決
- 認知症リハビリ

就労支援

職業リハビリテーション

- 復職、再雇用に向けたトレーニング
- 高次脳機能障害者の就労支援

通所リハビリ

集中的なりハビリテーション

- 退院後、集中的なりハビリテーション
- 機能改善、ADL向上
- 他者との交流

リハ強化デイ

生きがいづくり

- 1日全てがリハビリテーション
- 自己選択、自己決定

児童発達支援事業

子育て支援

- 早期療育
- 家族支援

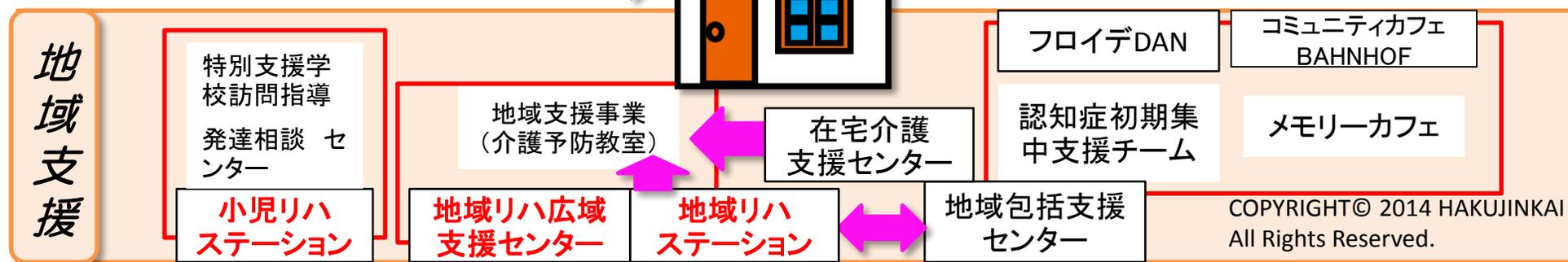
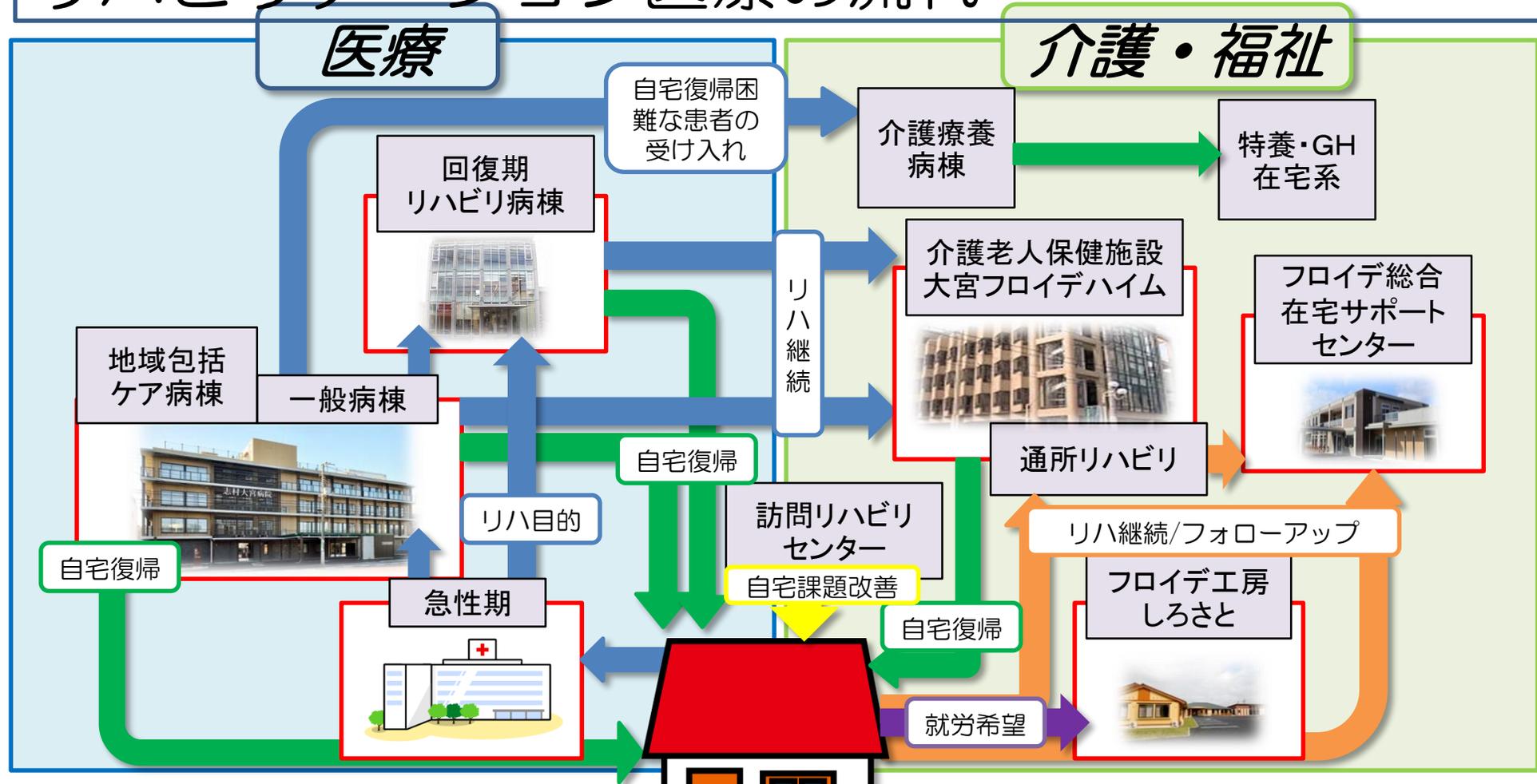
街づくり

地域活性化と地域リハ

- 役割創出、介護予防
- ヘルスプロモーション

地域

リハビリテーション医療の流れ



リハビリ機能強化型デイサービス

“施設全体がリハビリテーション”とし、自立支援の考えをもとに生活機能訓練や身体機能訓練などスタッフ全体で利用者のリハビリをサポートしていくデイサービス。

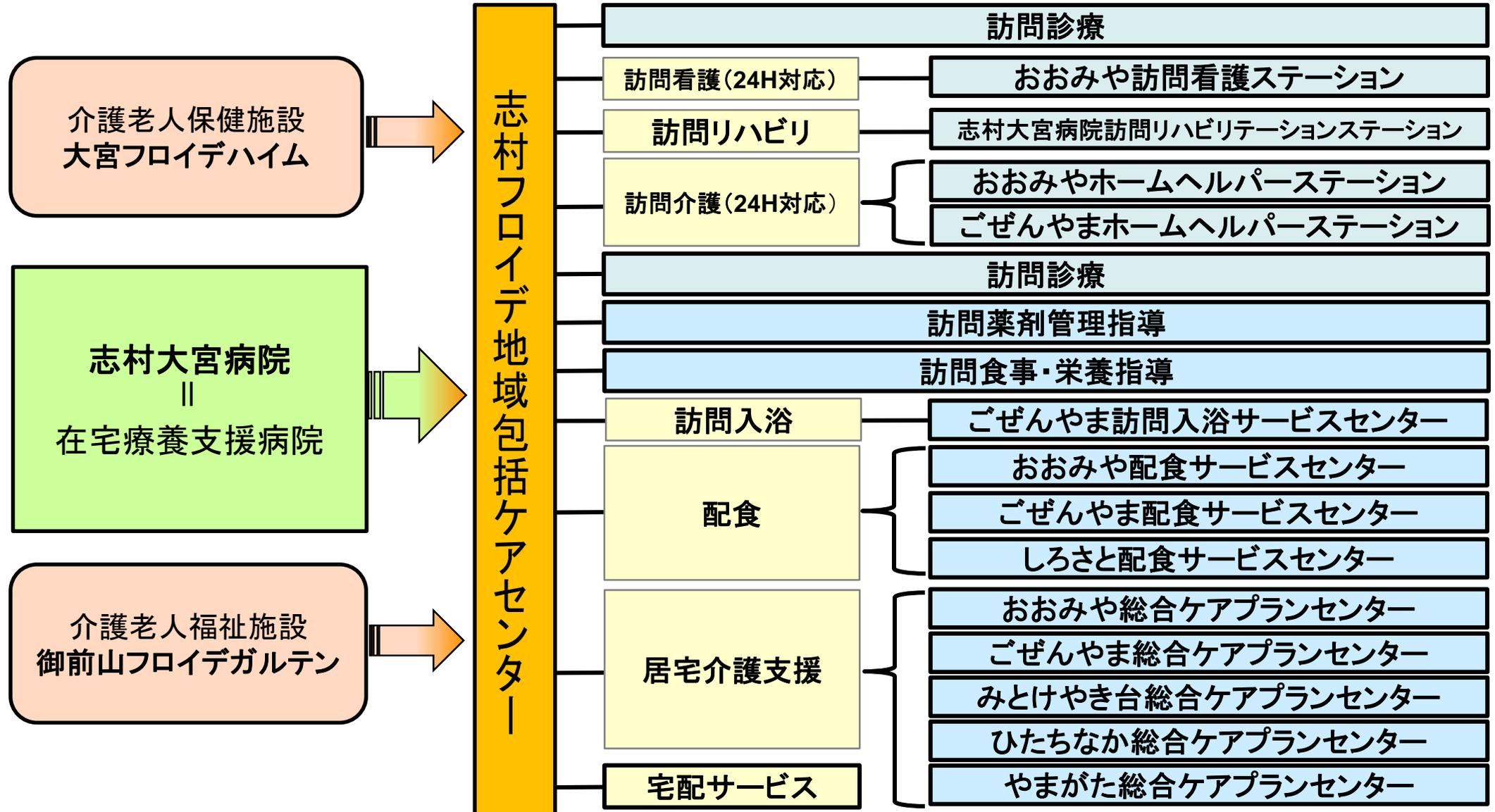
◆セラピストの役割

- ①定期的な評価を基に、利用者と生活目標を設定。
- ②生活目標に合わせてプログラムを立案し、運動方法や注意点などをアドバイス
- ③生活機能訓練、身体機能訓練の実施
- ④機能訓練を指導する上で必要な技術をスタッフに指導
- ⑤利用者ごとに特に注意が必要な動作・活動についてスタッフと検討・アドバイス



**リハビリの立場から施設全体を盛り上げ、
多職種と連携しサービスを作り上げていく！！**

志村フロイデグループの在宅支援体制



医療⇔介護の情報連携

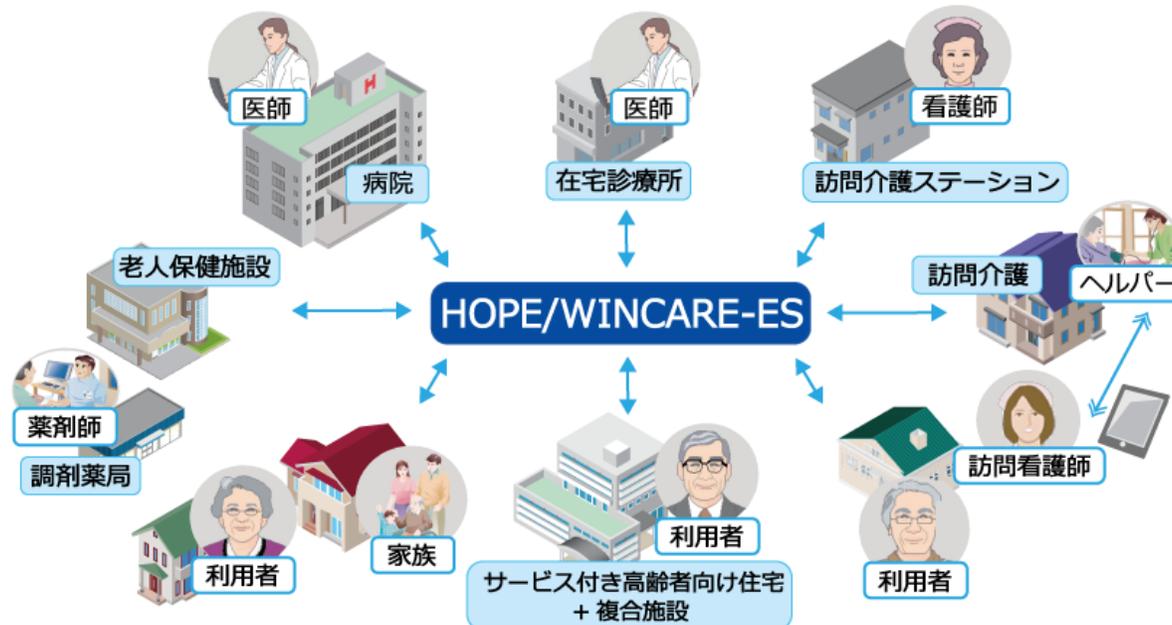
■ 法人内情報連携・交換

医療⇔介護は [WINCARE] で連携

病院⇒ケアマネージャーの記録情報を閲覧

ケアマネージャー⇒病院の診療記録・血液検査・薬の処方内容

■ 法人外は一部「連携パス」で情報連携



医療と介護の連携

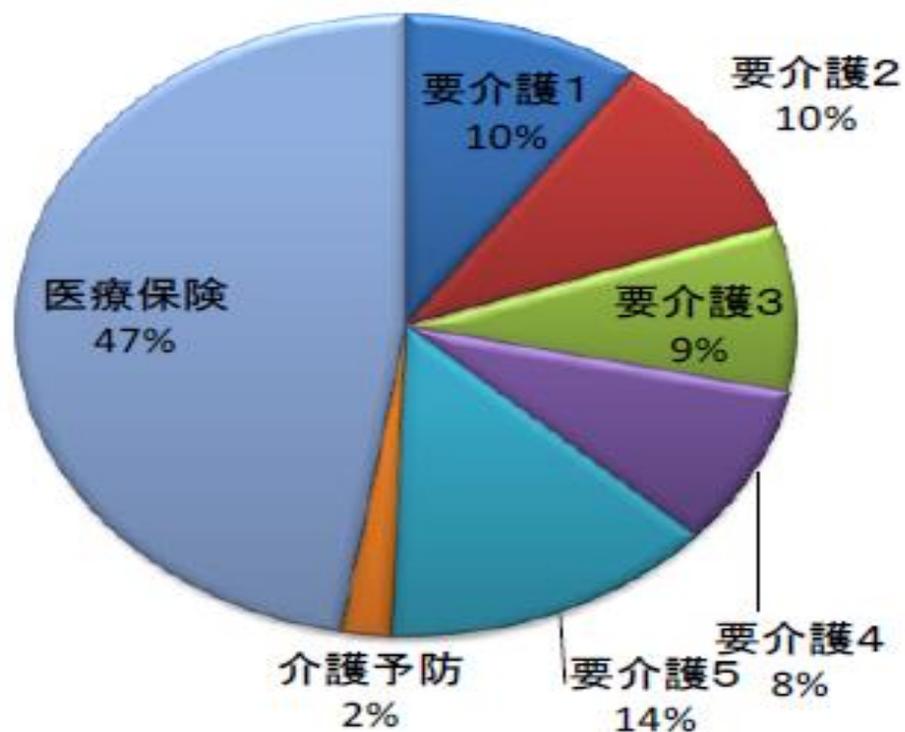
診療情報をケアプランに反映する

薬剤科との連携
薬剤師による勉強会の開催

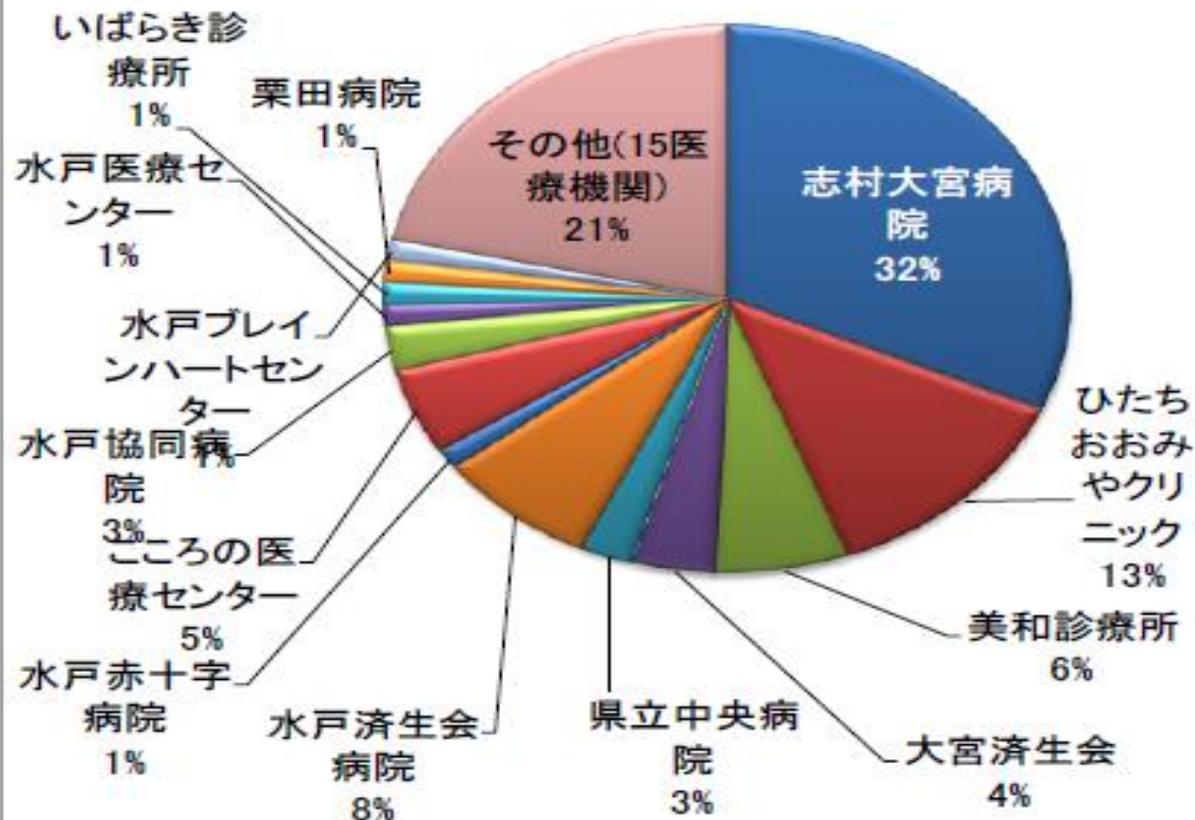
将来的に訪問系サービスで
携帯端末で情報を見られる
とベスト

平成30年12月の訪問看護実績

訪問内容の内訳



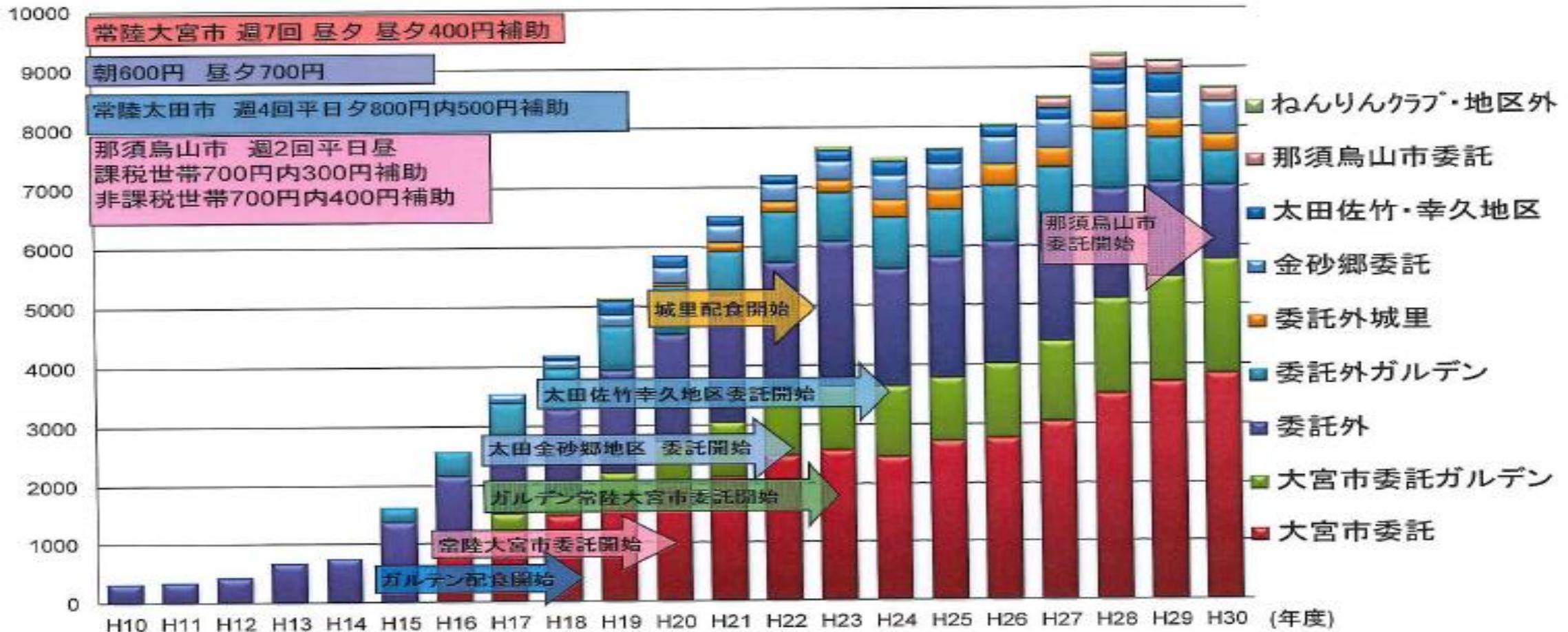
訪問看護指示書依頼先医療機関



医療保険や要介護4,5の方など重度者への訪問が多く、毎月25ヵ所以上の医療機関から指示書をいただいております。質の高い訪問看護を実践しています。

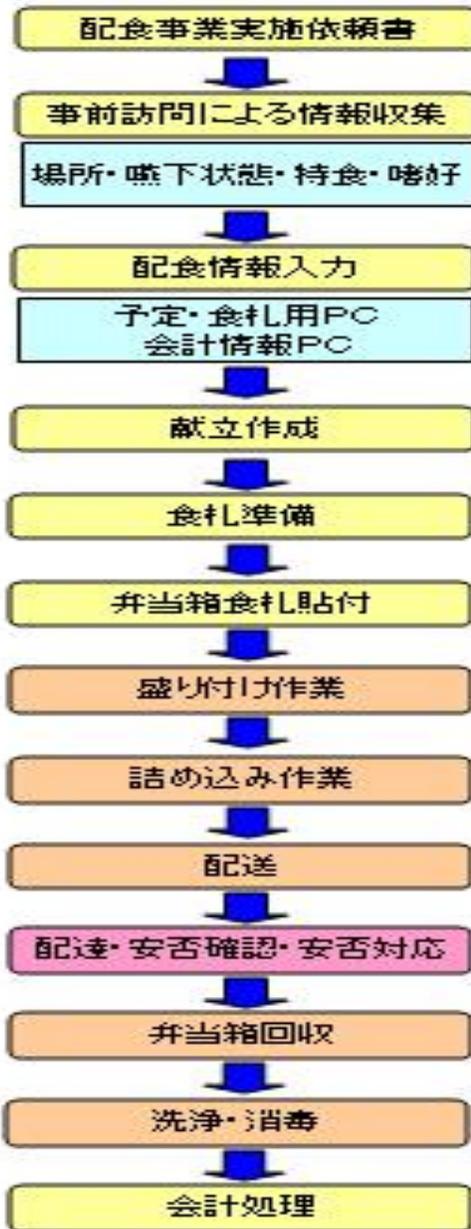
配食サービス提供実績

月別平均配食推移



配食サービス提供

(1) 配食工程



常食(昼食)



持食(昼食)



ソフト食(昼食)



保温弁当箱使用



(2) 持食対応

事前訪問による情報収集
塩分制限食 } 対応
蛋白制限食 }
嚥下食 }
状況により弁当をセットして喫食できる
状態に対応する。

(3) 安否確認・確認できない場合の対応

配食弁当配達時に必ず声掛けを行い、
本人の安否を確認する。
応答が無い場合は、緊急連絡先へ連絡し
対応する。連絡が取れない場合は市役所
へ連絡する。

(4) その他の対応

高齢者の場合、食事をする時間に決まり
がないため、保温や弁当の時間経過に
よる傷みに注意する必要がある。
このため保温弁当による事故防止を図る
ことが重要である。

食はいのち
365日3食提供
しています。

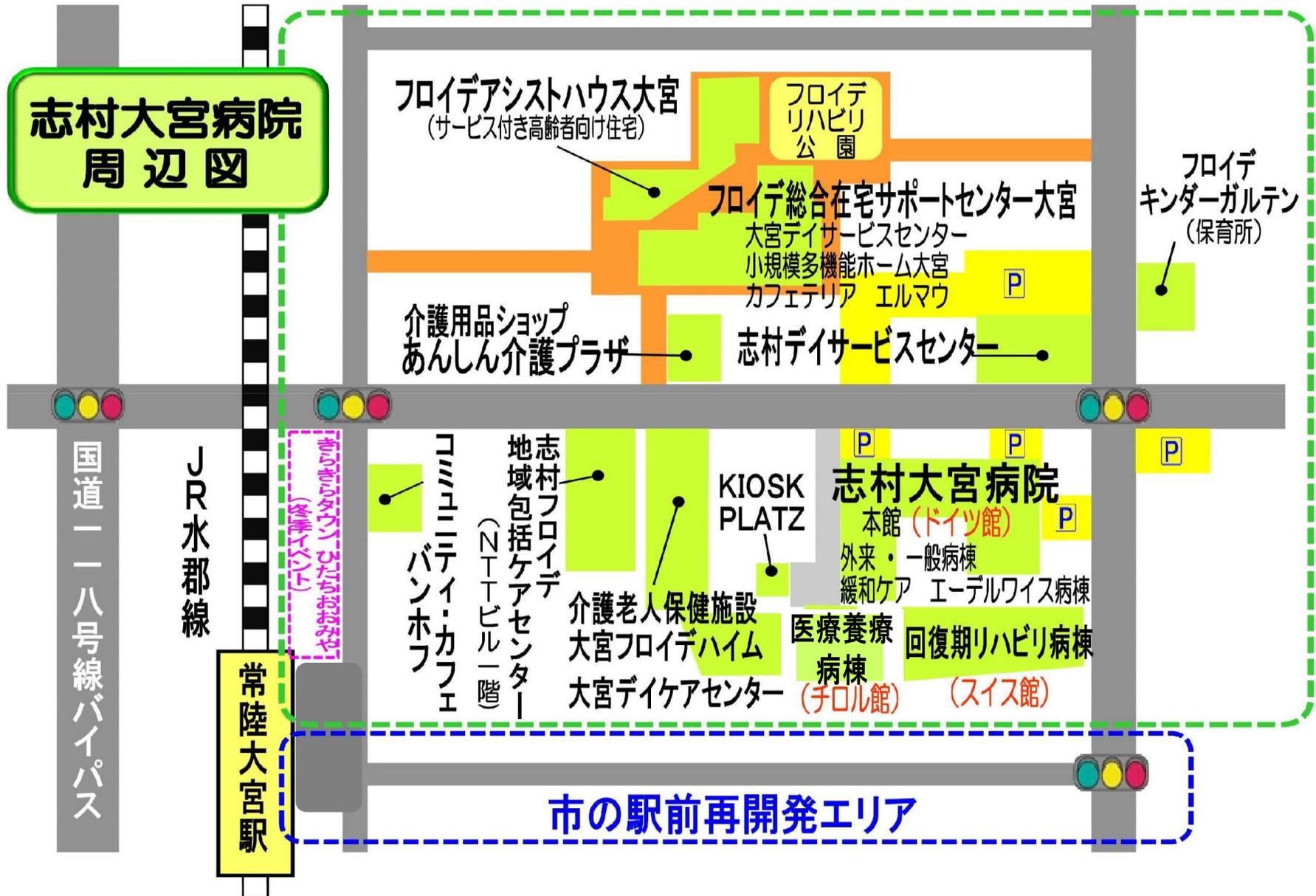
〈志村フロイデグループの目標〉



“中小病院は地域と運命共同体”

- ①地域に密着した医療の充実
- ②地域包括ケアシステムの確立
- ③介護サービス比率の増加
- ④サービス提供エリアの都市部への拡大
- ⑤高齢者の雇用推進⇒自立高齢者の増加⇒超高齢化対策
- ⑥出産・子育て支援⇒女性就労の継続・増加 ⇒ 少子化対策・人口減少対策
- ⑦看護学校の運営⇒地域の人材育成
- ⑧医商連携⇒中心商店街の活性化
- ⑨医療機関を中心としたまちづくり⇒高齢者が安心して過ごせるまちづくり
・地域活性化対策
- ⑩首都圏の超高齢化の受け皿づくり⇒ **共生型CCRC**

志村大宮病院を中心としたまちづくり=共生型CCRC



新本館「ドイツ館」外観



E階 緩和ケア「エーデルワイス病棟」 (20床)



R階 リハビリ庭園



屋上リハビリ庭園

仮病棟および周辺

平成26年1月～平成27年3月
病棟を一部移転し病院機能を継続する

平成27年9月1日オープン

- フロイデ総合在宅サポートセンター大宮
(通所介護・小規模多機能型居宅介護)
- フロイデアシストハウス大宮
(サービス付高齢者向け住宅)
- 鈴木芳男記念大宮アクティビティセンター
- 子供も遊べるリハビリ公園

今後：地域に開かれたコミュニティの構築・拡大



医療・介護・商業連携の拡大（居住施設・高齢者向け商業店舗）

→ コンパクトタウンの整備

多世代地域交流拠点 (医療機関を中心としたまちづくり)

フロイデ総合在宅サポートセンター大宮 (平成27年9月1日開設)

【隣接】サービス付き高齢者向け住宅



- ・リハビリ機能強化型デイサービス
- ・小規模多機能型居宅介護 (通い・宿泊・訪問)
- ・アクティビティセンター
- ・シルバーフィットネス
- ・カフェテリア
- ・リハビリ公園



《開設までの予定》

6月

・地域説明会 & 意見交換会

7月

・第2回意見交換会

8月

・開設前懇親会

・内覧会

2015年 10月 オープン!!!

地域の活動拠点



鈴木芳男記念 大宮アクティビティセンター

ご案内

新規会員募集中!!!

地域の活動拠点

鈴木芳男記念 大宮アクティビティセンターの概要



多世代地域交流拠点 4つの施設、多様な交流拠点

- アクティビティスペース
- シルバーフィットネス
- 調理スペース
- カフェテリア「エルマウ」



地域の活動拠点

鈴木芳男記念 大宮アクティビティセンター



利用方法

- ・会員登録制
- ・非会員別途料金



利用時間

午前**10**時 ~ 午後**18**時**30**分
(その他、ご希望に応じます)

利用曜日

月~土(祝日可) (その他、ご希望に応じます)

地域の活動拠点

鈴木芳男記念 大宮アクティビティセンターの特長



~会員について~

アクティビティセンターの会員になれば特典いっぱい!

- フィットネスで汗を流した後はカフェで読書しながらコーヒータイム・・・
- 仲間とアクティビティスペースで囲碁を楽しみ昼食はカフェで・・・
- 会員同士の交流場(将棋クラブ・生け花クラブの設立等)

いろいろな使い方、いろいろな楽しみ方ができます。

地域の憩いの場、情報発信源

いつまでも元気でいよう！
フロイデ健康カフェ
 食事・運動テーマに開催
 フレイル予防、サルコペニア予防を意識しよう

食事

バランスのとれた食事を作ります
 管理栄養士と一緒に
 栄養バランスのとれた美味しい食事作り

運動

効果的な運動をします
 健康運動実践指導者、看護師と
 一緒に体力をつけよう

2017年
4/25 5/30 6/27
7/18 8/22 9/26
 ※月1回、火曜日開催
 10時～13時
 参加費：700円 定員6名

2017年 **4/13.27 5/4.11.18.25**
6/1.8.15.22 7/6.13.20.27
8/3.10.17.24 9/7.14.21.28
 ※月2回、第1,3木曜日と第2,4木曜日コース
 10時～12時
 参加費：700円 ※ 定員6名

※カフェバンホフ/キオスクプラッツで使用できる500円割引クーポン付

場所 ● **アクティビティセンター大宮**
 (コミュニティスペースみんくるフラヨル)
 常陸大宮市上町353 (常陸大宮駅徒歩5分)

全コース参加すると
フロイデ栄養アドバイザー フロイデ運動アドバイザー
の認定を受ける事ができます。
 ★認定後はサポーター活動に参加する事で食事券や無料フィットネス体験が出来ます。

お問い合わせ
 お申し込み先 **0295-54-1919**
 担当：川上/市野沢

企画主催：フロイデDAN 後援：常陸大宮市



フロイデサポーター大募集!
 自分の出来る事が誰かのためになります

活動する日 ● 月曜日から土曜日 (週1回、月1回から活動出来ます)
 活動する時間 ● 10時から12時 14時から16時
 午前 ● 入浴後の髪乾かし、水分補給 ● お昼の準備
 午後 ● 利用者様との話し相手 ● レクリエーションを通しての交流 ● お茶出し

お問い合わせ：0295-53-1000
 (担当：小林 大高)

サポーターに登録いただき、活動5回で「カフェバンホフのお食事券」
 もしくは「フィットネス体験1時間券(専属トレーナー付)」と交換できます



フロイデ栄養アドバイザー認定(3名)



フロイデサポーター 大募集!!



自分の出来る事が誰かのためになります!!

フロイデサポーターとは

- ① フロイデサポーターに登録
- ② 活動1回につきスタンプ1個もらえます
- ③ スタンプが5個集まると、下記チケットと交換出来ます
A→カフェバンホフお食事券(ランチ・ドリンク・デザート付)
B→フィットネスセンター体験1時間チケット(専属トレーナー付)

●活動する日

→→月曜日から土曜日(週1回、月1回から活動出来ます)

●活動する時間

→→①10時から12時 ②14時から16時



このような活動を事お願いいたします

【10時~12時】

- ・入浴後の髪乾かし、水分補給
- ・お昼の準備

【14時~16時】

- ・利用者様との話し相手 ・お茶出し
- ・レクレーションを通じた交流



サポーター制度に興味を持たれた方はお気軽にお問い合わせ下さい

電話:0295-53-1000 担当:小林・大高

企画:フロイデDAN 運営:医療法人博仁会

「フロイデサポーター実行委員会」常陸大宮市上町313



フロイデサポーター大募集!

自分の出来る事が誰かのためになります

活動する日●月曜日から土曜日(週1回、月1回から活動出来ます)

活動する時間●10時から12時 14時から16時

午前●入浴後の髪乾かし、水分補給 ●お昼の準備
午後●利用者様との話し相手 ●レクレーションを通じた交流 ●お茶出し

お問い合わせ:0295-53-1000

(担当:小林 大高)

サポーターに登録いただき、活動5回で「カフェバンホフのお食事券」もしくは「フィットネス体験1時間券(専属トレーナー付)」と交換出来ます

活動内容案

フロイデ健康教室の補助

畑仕事、洗車、掃き掃除、修繕、草刈り、
ウッドデッキ塗装、掃除、散歩、お風呂掃除
洗濯、電球交換、車椅子整備、日曜大工等々。

フロイデアシストハウス大宮

(サービス付き高齢者向け住宅 20戸)

2017年9月1日
オープン



住戸数: 20戸

Aタイプ=18.38㎡

Bタイプ=19.80㎡

Cタイプ=30.92㎡

敷地面積: 1,855.53㎡

延床面積: 899.63㎡



常陸大宮市地域活性化プロジェクト「フロイデDAN」発足

－理念 VISION－

- ①当地域において、人と人とのつながりを創り出していきます
- ②もっと素敵な生き方にチャレンジするきっかけを提供していきます
- ③誰でも気軽に寄れて、何でも気軽に相談出来る場所を創り出していきます
- ④まちと人を大切に思い、地域の幸せ創りを目指していきます



【プロジェクトチームメンバー】
作業療法士・介護福祉士・福祉用具専門相談員・介護支援専門員・管理栄養士・看護師等

フロイデDAN

2010年12月10日結成。

とりあえず「まちを元気」にしよう！という事で各部門、各職種に声をかけて結成。9人でのスタート(*^_^*)
言いだしっぺは……たしか事務局担当者！？のはず。

ーフロイデDANの理念ー

- ①当地域において、人と人とのつながりを創り出していきます
- ②もっと素敵な生き方にチャレンジするきっかけを提供していきます
- ③誰でも気軽に寄れて、何でも気軽に相談出来る場所を創り出していきます
- ④まちと人を大切に思い、地域の幸せ創りを目指していきます

ーフロイデDANの目標ー

- ①地域が衰退傾向にある中で、高齢者や障がい者が地域活性化に参画し
インクルーシブなまちをつくる
- ②他産業とのネットワークを構築し最期まで安心して暮らせるまちを目指す



【プロジェクトチームメンバー】

作業療法士・介護福祉士・福祉用具専門相談員
介護支援専門員・管理栄養士・社会福祉士・看護師等

プロボノ (Pro Bono)

	ボランティア	プロボノ	ビジネス
目的	公共的・社会的な課題解決を目的とし、営利を目的としない。		営利を目的とする。
手段	職業上のスキルに限らず幅広い参加方法がある。	専門的な知識や技術、スキルを活用する。	
対価	基本的に無償であることが前提であり、どこからも利益を得る見込みがなくても取り組む。有償ボランティアと言われるように、実費相当額は、支援対象となる側が負担したり、第三者によって補填されたりする場合もある。		何らかの方法で利益を上げる見込みがある。

(引用：嵯峨生馬 プロボノー新しい社会貢献 新しい生き方ー 勁草書房 2011)

コミュニティカフェ **BAHNHOF** オープン

(地域活性化と医商連携)



コミュニティカフェ・バンホフ

Community
Café

BAHNHOF

コミュニティカフェ・バンホフでは、地域の人たちが気軽に利用していただき、子育て世代や高校生、高齢者などが一緒に活動することが出来るコミュニティの拠点として地域の幸せ創りを目指していきます。

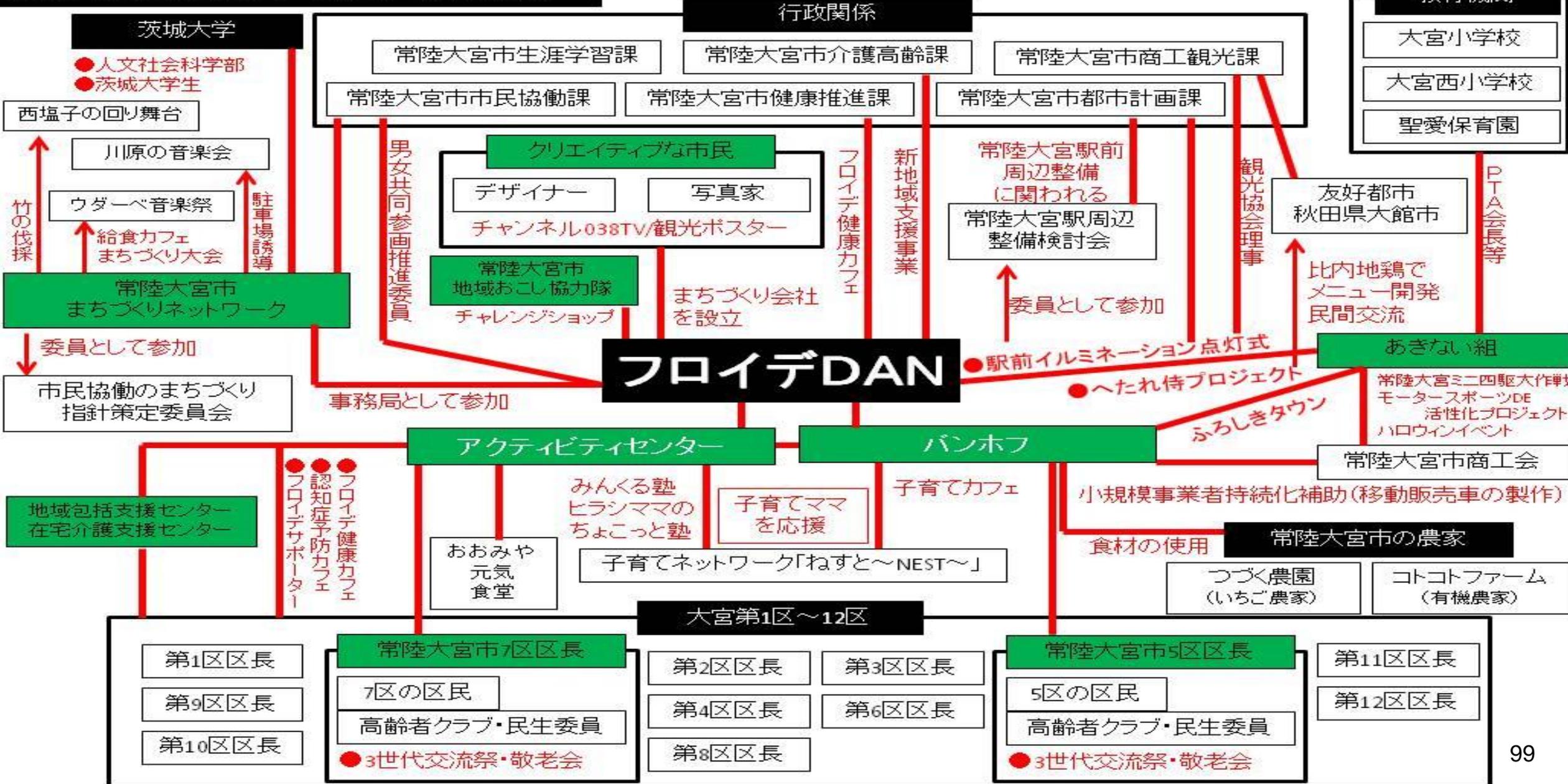


リハビリの歩行訓練や憩いの広場として
高齢者の作品展示ギャラリーとして
高校生や市民との交流スペースとして



「フロイデDAN」「バンホフ」と地域ネットワーク

フロイデDANと地域ネットワーク(2017年4月1日現在)



今、やっている事①
 常陸大宮駅前イルミネーション点灯式
 常陸大宮駅周辺整備検討委員会

街のあかりがとてもきれいな駅前

楽しい点灯イベントがあり、さらには豪華なプラスタ等出演。常陸大宮市出身アーティスト登場！
 常陸大宮クルマ横丁が会場。美味しいお肉さん、常陸大宮Bグルメ振替が楽しめます。
 みなさんの場所をいつもスノーパークラン。
 さくらりリス、スノーマン、毛布開帳、豪華なプラスタ出演が並びます。
 キトル、ナイト、同時開催。豪華な音と照明、楽しもう！
 サンタクロース、サンタも同時開催！
 景品いっぱい抽選会
 今年よりさらに楽しめる、かき氷を食べたい。
 当日は仮装して遊びに来てね。仮装コンテスト実施。サンタさんを見つけたら賞金をかけてね。いい事あるよ。
 子供連れのファミリーが会場。あなたも小さなサンタクロース

きらきらタウン☆ひたちおみや
 常陸大宮駅前が歩行者天国になります！
**常陸大宮駅前
 イルミネーション点灯式**
11/29
 (SUN)
 16時30分～20時30分

18000個
 イルミネーション
 歩行者天国
 昨年より
 歩行者天国の
 距離が伸びます！

企画◎きらきらタウン☆ひたちおみや2015 ◎NPO法人あきない編◎フロイデDANO◎大宮愛育園◎大宮愛育園◎常陸大宮市長有馬
 後援◎常陸大宮市商工会◎常陸大宮市◎常陸大宮市観光協会 協力◎明るい社会づくりの会長久保久雄◎NPO 夢 AKARI

きらきらタウン☆ひたちおみや とは？
 今年よりもっと元気で賑わいのある常陸大宮駅前を創出するために、イルミネーションで飾り付けを行い「キラキラ」させようという市民有志の活動です。更には常陸大宮市の元氣と賑わいも取り戻していこうと活動しています。

きらきらタウン☆ひたちおみや事務局
 〒319-2261 常陸大宮市上町351あんしん介護プラザ内 担当 西村
 Tel.0295-54-1919 Fax.0295-54-1920



今、やっている事② 常陸大宮市まちづくりネットワーク活動 まちづくりネットワーク事務局

常陸大宮市民みんなが主役「音楽による」まちづくりプロジェクト

小学校の校歌を歌ったら
中学校の校歌も歌わないし。
小学生はみんな中学生になりました
今年も小中一貫に
みんながウダーベ、なつかしい校歌♪



今年も中学校も!!

小中学校の校歌、歌えますか？

自分たちの小中学校の校歌を歌って自慢しちゃおう!
ウダーベ音楽祭 2015
10月18日(日)

常陸大宮市文化センター●ロゼホール
大ホール◎12:30~16:30 開場11:30~
参加者募集中!

当日飛び入りも
大歓迎です!

小ホールでは当時の
給食を再現した
給食カフェ(実際に
食べられます)を開催します! 11:30~



●参加方法

各小中学校ごとの担当(グループ、練習日程等)をご案内します。

Tel.0295-54-8118(実行委員会事務局) <http://hitachi-ohmiya-fb.jimdo.com> #ウダーベ

主催 常陸大宮市まちづくりネットワーク・ウダーベ音楽祭2015実行委員会
事務局 担当 倉田桂之(としゆき) 〒319-2254 常陸大宮市北町91 Tel.0295-54-8118 Fax.0295-53-5578 mail:t.kurada@pla-nets.jp
後援 常陸大宮市、常陸大宮市教育委員会、常陸大宮市PTA連絡協議会

●本事業は茨城大学社会連携センターの助成を受けています



ウダーベ音楽祭協賛店 ウダーベ音楽祭での同窓会、クラス会、会合、練習の打ち上げ等にぜひ協賛店をご利用下さい。
割烹ちのね・52-0109 割烹せきね・52-2002 ホテルKAMEYA・53-8882 ホテル帖亭・0120-174-809 美和亭・58-2626
割烹魚政・58-2222 ラーメンふるさと・56-2010

(2016年)グッドデザイン・ベスト100に選ばれる

フロイデDANは給食カフェを担当



●三次市長も歌いました



常陸大宮市の小中学校の数

小学校

- 舟生分校 美和小学校 野井小学校
- 久野小学校 小瀬小学校 大宮小学校
- 鎌倉野小学校 小瀬第二小学校 大宮西小学校
- 田山方小学校 小瀬小学校 五川小学校
- 山方小学校 藤川小学校 大宮北小学校
- 小瀬小学校 伊勢部小学校
- 長田小学校 長倉小学校
- 山方南小学校 藤山小学校
- 常野小学校 小瀬小学校
- 葉子小学校 村田小学校
- 小田野小学校 上野小学校
- 旧藤野小学校 常野小学校
- 藤野小学校 大宮小学校
- 藤沢小学校 大宮小学校

中学

- 大宮中学校
- 山方中学校
- 塩田中学校
- 常野中学校
- 大宮第一中学校
- 大宮中学校
- 大宮第二中学校
- 大宮第三中学校
- 大宮第四中学校
- 大宮第五中学校
- 大宮第六中学校
- 大宮第七中学校
- 大宮第八中学校
- 大宮第九中学校
- 大宮第十中学校
- 大宮第十一中学校
- 大宮第十二中学校
- 大宮第十三中学校
- 大宮第十四中学校
- 大宮第十五中学校
- 大宮第十六中学校
- 大宮第十七中学校
- 大宮第十八中学校
- 大宮第十九中学校
- 大宮第二十中学校
- 大宮第二十一中学校
- 大宮第二十二中学校
- 大宮第二十三中学校
- 大宮第二十四中学校
- 大宮第二十五中学校
- 大宮第二十六中学校
- 大宮第二十七中学校
- 大宮第二十八中学校
- 大宮第二十九中学校
- 大宮第三十中学校
- 大宮第三十一中学校
- 大宮第三十二中学校
- 大宮第三十三中学校
- 大宮第三十四中学校
- 大宮第三十五中学校
- 大宮第三十六中学校
- 大宮第三十七中学校
- 大宮第三十八中学校
- 大宮第三十九中学校
- 大宮第四十中学校
- 大宮第四十一中学校
- 大宮第四十二中学校
- 大宮第四十三中学校
- 大宮第四十四中学校
- 大宮第四十五中学校
- 大宮第四十六中学校
- 大宮第四十七中学校
- 大宮第四十八中学校
- 大宮第四十九中学校
- 大宮第五十中学校
- 大宮第五十一中学校
- 大宮第五十二中学校
- 大宮第五十三中学校
- 大宮第五十四中学校
- 大宮第五十五中学校
- 大宮第五十六中学校
- 大宮第五十七中学校
- 大宮第五十八中学校
- 大宮第五十九中学校
- 大宮第六十中学校
- 大宮第六十一中学校
- 大宮第六十二中学校
- 大宮第六十三中学校
- 大宮第六十四中学校
- 大宮第六十五中学校
- 大宮第六十六中学校
- 大宮第六十七中学校
- 大宮第六十八中学校
- 大宮第六十九中学校
- 大宮第七十中学校
- 大宮第七十一中学校
- 大宮第七十二中学校
- 大宮第七十三中学校
- 大宮第七十四中学校
- 大宮第七十五中学校
- 大宮第七十六中学校
- 大宮第七十七中学校
- 大宮第七十八中学校
- 大宮第七十九中学校
- 大宮第八十中学校
- 大宮第八十一中学校
- 大宮第八十二中学校
- 大宮第八十三中学校
- 大宮第八十四中学校
- 大宮第八十五中学校
- 大宮第八十六中学校
- 大宮第八十七中学校
- 大宮第八十八中学校
- 大宮第八十九中学校
- 大宮第九十中学校
- 大宮第九十一中学校
- 大宮第九十二中学校
- 大宮第九十三中学校
- 大宮第九十四中学校
- 大宮第九十五中学校
- 大宮第九十六中学校
- 大宮第九十七中学校
- 大宮第九十八中学校
- 大宮第九十九中学校
- 大宮第一百中学校

11/38

5/24

<https://www.youtube.com/watch?v=EIDndZCx6YE>

今、やっている事④
あきない組と商店街活性化活動
商店街活性化コンペ優秀賞や出張販売

俺たち
へたれ者
AKINAIGUMI HITACHIOMIYA



茨城県商店街活性化コンペ事業

私たちは、ただの「へたれ」ではありません。
由緒正しい「へたれ」です。

常陸大宮市、旧大宮町中心部の古い地名は、「部垂（へたれ）」。「たれ」の意味は、久慈川と那珂川に挟まれた大宮の台地の四辺が崖となつて垂れているから、とも言われ、古くは「辺垂」と記されています。特別な土地と考えられていたのでしょうか。平安時代の末には鹿島神宮の神領であったようです。久慈川と那珂川には生まれ交通の要衝であったこの地には、鎌倉時代に部垂城が築かれ、佐竹氏の重臣が城主となつて、戦国時代まで城下町としても大いに栄え、「水戸千戸、部垂千戸」と称えられたと伝えられています。部垂城下やその周辺に住した家臣たちは、部垂衆（たれしゅう）と呼ばれ、命を惜しまぬものぶ達でした。時は過ぎても今尚生き続ける部垂（へたれ）の侍魂。私たちはこの街でそのDNAを、きっちり受け継ぎ未来に渡していきます。

※徳川家康により佐竹氏が秋田に遷された際に、部垂衆も秋田に移住しましたが、秋田県大館市には、部垂町（へたれまち）という地名が残っています。



常陸大宮のNPO法人が商店主をモデルにした個性的なポスターを作り、頭を悩んでいる。この活性化案で、昨年の県の商店街活性化コンペ事業で優秀賞を獲得した。

常陸大宮のNPO法人

同市の大宮中心商店街の活性化に取り組みNPO法人「あきない組」が作成した、商店街加盟の飲食店やクリーニング店など、商店の店主が登場している。サイズは縦向きで、横書きで、店主の姿にキャラクターが添えられている。

「本来のプロ野球選手を作る」。そんなキャッチコピーのポスターに登場するのは、市内でスポーツ用品店を経営する高田弘徳さん（50）。1984年度に甲子園で初優勝した取手一高に所属して敗退した元高校野球部は、少年野球野球場のグラブをオーダーメイドで提供する全国でも数少ない店と

ポスターに商店主
「へたれ」ぬ思い込め

平成29年4月12日
朝日新聞掲載

個店の自慢と
笑顔の見えるポスター製作

して知られる、意味が喜び、かつて集まっていた村人が、かつて三三四駅イベントが、オチに世界記録として登録された自転車整備士の大曾根幸希さん（40）も士気だ。

同市大宮地区は約1700年前まで「部垂」と呼ばれ、かつて集まっていた村人は「部垂衆」といわれた。ポスターには、店主の姿にキャラクターが添えられている。サイズは縦向きで、横書きで、店主の姿にキャラクターが添えられている。

「あきない組」の代表理事は、このコンペで、常陸大宮市で「部垂」と呼ばれる「へたれ」なという思い込められたと話す。

ポスターは、駅の駅や市役所で展示され、ポスターをまとめた小冊子も発行している。商店街で使えるクーポン付き、問い合わせはあきない組（02955・55・8199）へ。「新聞発表

今、やっている事⑤

コミュニティカフェでの仕掛け・企画

常陸大宮アカデミア、地域住民の生きがいづくり

Hitachiomiya Academia
ひたちのおみやアカデミア

デザインの教室
シャミンの教室

全3回予定
11月26日(木)
①Step1 露出と絞りの基本

12月9日(水)
②Step2 テーマを楽しむ

1月7日(木)
③Step3 上達への近道

基本的には1回、2回を持っています。持ち帰りや、考え方を短時間でこれから購入される方を参考に出来るように準備して写真を画面に映し出すのでメモやアが入れない方もご持参下さい。

講師
スタジオカメラマン
鹿島 秀憲

1977年、岡山県に生まれる。映画の撮影助手・照明助手を経て、その後写真家・映像制作に専修。フリー転身後は主に多岐岐向にスタジオ映像・ドキュメント・文化教育映像・企業CM・TV番組・教育ビデオなど映像全般、グラフィック・雑誌・映画・DVD制作などの写真映像業務を行なう。現在はスタジオベース・ツルヤのカメラマンとして、日々活動中。

●参加費: どちらも1000円(ドリンク付)
●時間: 19時~21時
●定員: どちらも12名

受講するには事前のお申し込みが必要です
お問い合わせ・受講希望の方→**0295-54-1919**
(月~土曜日 9時~18時) 担当: 西村 まで

●場所: コミュニティカフェ・バンホフ (常陸大宮市上町932)

平島 慎吾 常陸大宮市民みんなが主役「音楽による」まちづくりプロジェクト

JAZZ CAFE

ジャズが好きな人になる入門講座 & デストミニューションセッション

Vol.1 FRI 9/4
Vol.2 FRI 10/2
Vol.3 FRI 11/13

Shingo Hirashima
1987年常陸大宮市生まれ。ヤマハ音楽院にて4歳でピアノを始める。10歳の時に独学でアコースティックギターを始める。茨城県立水戸第一高等学校入学後すぐに同級生を誘ってバンド「VALENTINE」を結成。ギター・ボーカルの役割/作曲・編曲を担当。2003東京大会関東甲信越大会グランプリ受賞。2011年渡米/バークリー音楽大学入学。2012年平島慎吾グループとしてボストン日本国総領事館で演奏。そこでの成果が認められIA2C PRODUCTIONS (BOSTON, MA) よりEPアルバム「アフリカ野郎」をリリース。その後発売が決定して12月より「常陸大宮市CM」の音楽制作を開始。2013年常陸大宮市CM公開。2013年5月19日ミニアルバム「INTO THE BLUE」日米同時発売。2014年米/バークリー音楽大学卒業 (BACHELOR OF MUSIC DEGREE 音楽学上日本へ帰国。以後国内で活動中。

●参加費: 1000円(ドリンク付)
●時間: 19時~21時
●定員: 15名
●場所: コミュニティカフェ・バンホフ (常陸大宮市上町932)

主催 常陸大宮市まちづくりネットワーク・ジャズカフェ実行委員
協力 ●チャンネル038常陸大宮TV
●電話: 0295-54-1919

●本事業は茨城大学社会連携センターの助成を受けています

仕事を豊かにしてくれる Hitachiomiya Academia

PRの発想とテクニック

みなさんの仕事やプロジェクト、商品に関心をもつ人、参加してくれる人を増やし、充実させるための方策を、PRの発想とテクニックを活かして考える講義・ワークショップです。

①伝える(関係をつくる)ターゲットを設定してPRのメッセージを固めること。
②それを実際に「社会ゴト」化するためのストーリー・方法を考えること。
という2つの切り口で議論します。

2016年
3月19日(土)

講師
山崎一希 (やまざき・かずき)
1983年生まれ、常陸大宮市(上野小)出身。慶應義塾大学環境情報学部を卒業後、茨城放送に入社。プロデューサー、ディレクターとして藤ノ介のコンビで語れ!notes. といった番組の企画・制作やイベントの演出などを担当。その後、フリーディレクターを経て、2013年より外資系の戦略PR会社ブルーカレント・ジャパンに入社し、シニア・アカウントエグゼクティブとしてアパレルや医薬品などの広報に携わる。2015年4月、茨城大学広報室の専門職に兼任。共著書に「往復書簡・学校を語りなおす」学び、遊び、遊んでいくために。(新曜社2009)

●受講費: 1000円(ドリンク付)
●時間: ①15時~17時 ②19時~21時 (2回開催 内容は同じです)
●定員: どちらも15名
●会場: コミュニティカフェ・バンホフ (常陸大宮市上町932)

※受講するには事前のお申し込みが必要です。
お申し込み・お問い合わせは
0295-54-1919 月~土曜日 9時~18時 担当: 西村 まで

病院祭

第5回志村フロイデ健康フェスタ



7/25
土曜日

13時00分～20時30分
志村大宮病院 **ドイツ館1階**

「緩和ケア病棟」について詳しくご紹介します
志村大宮病院の専門外来を知ってみよう
医療・介護・健康について相談コーナーあります

- 転ばないための下半身強化について
- 茨城北西看護専門学校を紹介
- あなたも小さな看護師さん体験
- シンクロウェーブ体験
- ロボットスーツHAL体験
- 骨密度測定
- アロママッサージ体験
- 薬剤師体験コーナー
- 体重免荷トレッドミル体験
- 専門職種のカード配布
- 野菜・果物クイズ

● お問い合わせ先 ●

志村フロイデ健康フェスタ実行委員会 電話:0295-53-1000



ART GALLERY PROJECT

**私が
書きました**
和田 光雄(90歳)

教員として定年まで従事。校長も務める。
定年後に公民館長を8年務め、
高齢者クラブの会長も務める。

ART GALLERY PROJECTとは
きっと夢は叶う。年をとっても身体が思うように動かなくても、作業を通して活動によって製作した作品、活動している作家さんを皆様に知ってもらおうプロジェクトです。人は作業をする事で元気になれるのです!

夏休み/冬休みの「みんなくる塾」

夏休みの宿題はこれで安心!

コミュニティスペース みんなくるフラヨルの みんなくる塾で みんなで宿題しよう♪

どこだそれ? (地図参照)

宿題は一人でやるよりみんなで作る方が10倍楽しい!

お父さん、お母さん、安心して下さい! 今年はお昼があります!

- カレーライス(100円、300円 12~13時)
- エアコンきいています! (*大人の方)
- お弁当や飲み物の持ち込みOK*
- 自由に出入り出来ます
- 席に限りがあるのでご了承ください
- 3時におやつタイムがあります!
- ちょっとまったおばさん(平島則子さん)が宿題をみてくれます

*パンやおにぎりを買える場所もあります

参加費 **無料**

場所 ●コミュニティスペースみんなくるフラヨル (カフェテリア エルマウ) 常陸大宮市上町353 (常陸大宮駅徒歩5分)

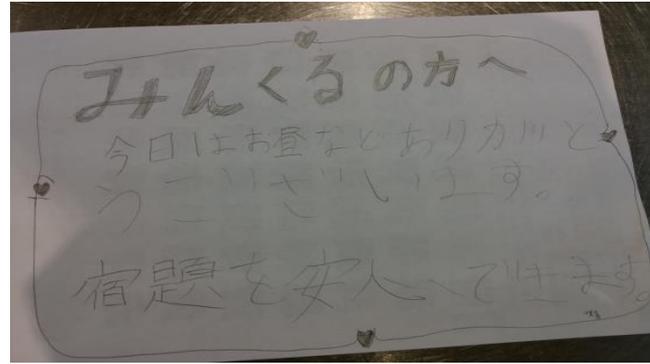
ここで宿題やっとならば夏休み遊べる? 追い込まれてもだいじょうぶ...?

7/31 (月) **8/7** (月) **8/28** (月)

8時~17時

お問い合わせ お申し込み先 **0295-54-1919** 担当:川上/市野沢

企画主催: フロイデDAN 協力:子育て支援ネットワーク「ねすと」平島則子 おおみや元気食堂 後援:常陸大宮市教育委員会



冬休みの宿題はこれで安心!

コミュニティスペース みんなくるフラヨルの みんなくる塾で みんなで宿題しよう♪

どこだそれ? (地図参照)

宿題は一人でやるよりみんなで作る方が10倍楽しい!

参加費 **無料**

場所 ●コミュニティスペースみんなくるフラヨル (カフェテリア エルマウ) 常陸大宮市上町353 (常陸大宮駅徒歩5分)

ここで宿題やっとならば冬休み遊べる? 追い込まれてもだいじょうぶ...?

12/26 (月) 9時~16時

お問い合わせ お申し込み先 **0295-54-1919** 担当:川上/市野沢

企画主催: フロイデDAN 協力:子育て支援ネットワーク「ねすと」平島則子



歳をとっても活躍出来る場所がある事を知ってもらうために

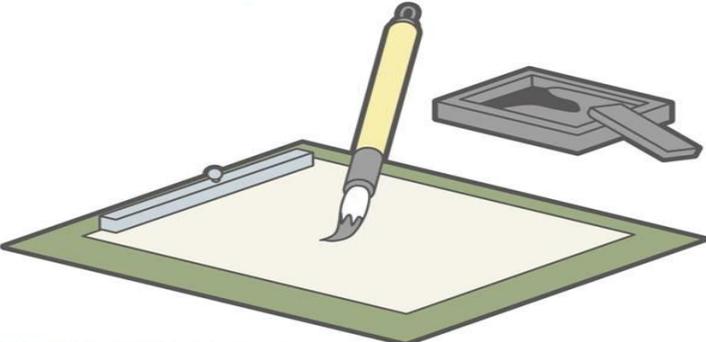
- ここに来ると宿題がなんとなく終わっている
- 寺子屋の先生は手習師匠とする
- 手習師匠は誰でも良い(高齢者、障害者、地域住民、職員、学生、子供等々)
- 毎日、何かしらの寺子屋をひらく
- 絵を描く、実験をする、習字、工作、農作業、1日日記などなど
- 参加者はいてもいなくても

フロイデ

夏の寺小屋

書道

7月23日 7月30日 8月6日 8月20日 8月27日
14時～16時
場所: カフェテリアエルマウ(常陸大宮市上野353)
中止になる場合もございます。ご了承ください。



書道道具持参でお願いいたします



夏の寺子屋 プロジェクト

地元の小学生

95歳男性
手習い師匠



第13回!
ひたちおおみや

楽市

気軽に楽しく集まれる場所

まねひなまつり11月1回、
ちよひと楽しい事を♪



入場無料

カフェテリアエルマウ & フロイデリハビリ公園



10月のひたちおおみや楽市は
あきない組主催の

「ハロウィン探検隊」
に参加します。

仮装してあきない組の
イベントに参加してね。

移動販売車のクレープ屋さんが来ます。

特売も
開催します!

10時から
ラジオ体操
やります



10/27(土)

10時~16時 雨天中止

●お問合せ
常陸大宮市上町351 Tel:0295 54 1919

毎月だいたい第3日曜日♪

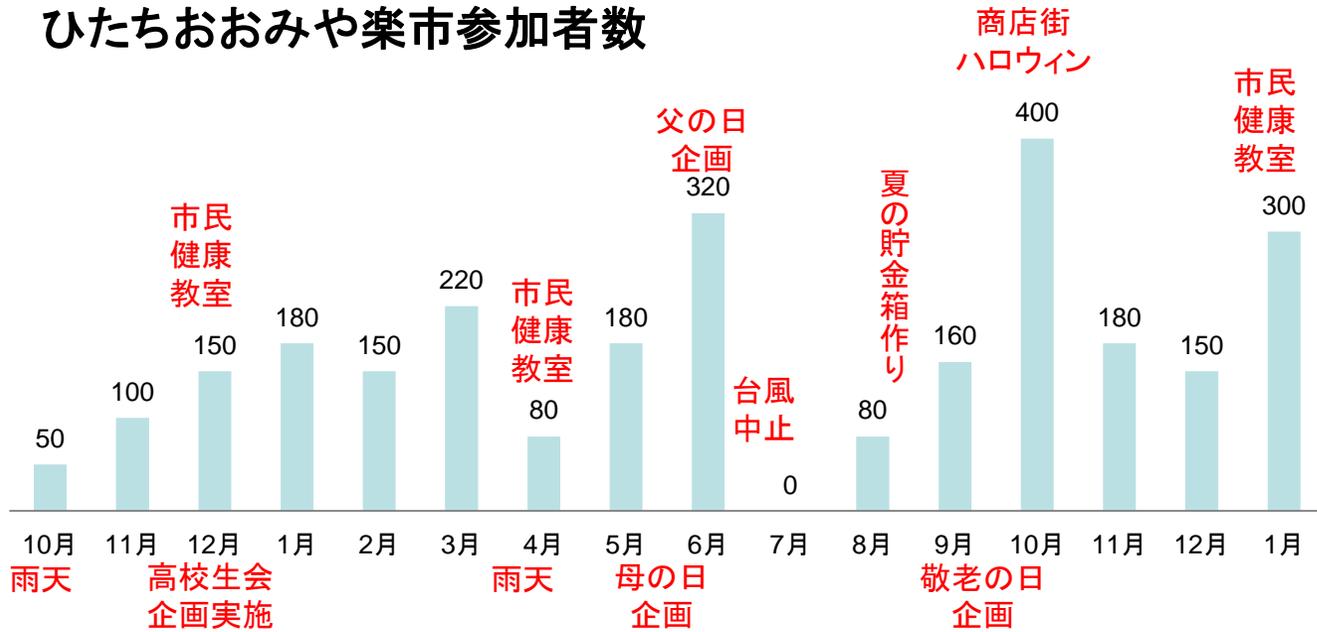
今後の予定

- 第14回 11月18日(日)
- 第15回 12月16日(日)
- 第16回 1月20日(日)
- 第17回 2月17日(日)
- 第18回 3月24日(日)

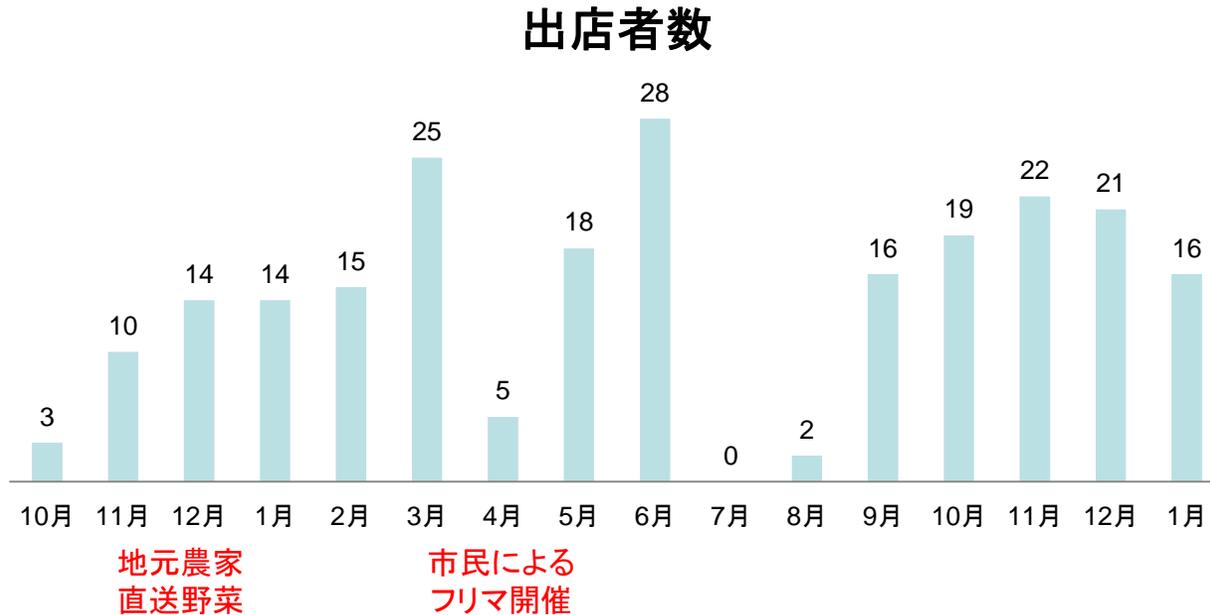
企画・主催●ひたちおおみや楽市実行委員会 後援●常陸大宮市教育委員会

ここに来れば、何かするわけでもないけど、社会につながっている、誰かとつながっている。

ひたちおおみや楽市参加者数



出店者数



主な出店者

地元農家の野菜 就労支援施設
 市民クラフト作家(雑貨、花、ハーブ)
 外国人交流サークル 駄菓子屋
 商店街の和菓子屋、パン屋、カフェ
 移動販売車 焼きおにぎり屋
 若者チャレンジ支援(ラーメン屋)



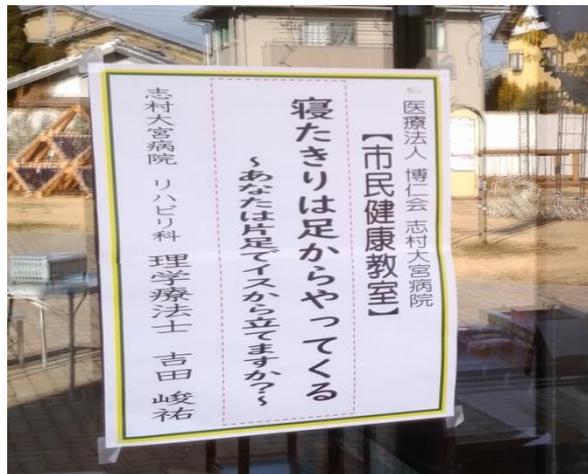
ひたちおおみや楽市のスゴイ所！！



認知症になっても活躍出来る
(駄菓子屋の会計&袋づめ)



本格スイーツのお店



楽しめる場所に来て、健康を意識する教室に参加
健康を意識する教室に参加して楽しめる場所で楽しんでいく



卓上七輪でみんなで干し芋を焼く



2015年脳出血発症
2015年12月～志村大宮病院にて外来リハビリ
作業療法にて組みもを習う。
2018年9月:カフェバンホフでの作品展
2018年11月:ひたちおおみや楽市に出店

交流・関係・定住人口

地域や地域の人々と多様に関わる

強

地域との関わり

弱

交流人口

- ふろしきタウン
ひたちおおみや
- S L に手を振ろう
- 河原の音楽祭
- へたれ侍 P J T
- 大館市物産展

関わりが少ない

観光・イベント
短期滞在・宿泊

関係人口

- ひたちおおみや楽市
- きらきらタウン
ひたちおおみや
- ウダーベ音楽祭
- 北富田 P J T
- ART GALLAERY PJT

関わりがある

過去の勤務・居住
長期滞在・遠居

定住人口

- 移動販売
「Plus 1」
- みんなの塾
- フロイデ健康カフェ
- ハロウィン探検隊
- おおみや元気食堂

住んでいる

定住・移住
同居・近居

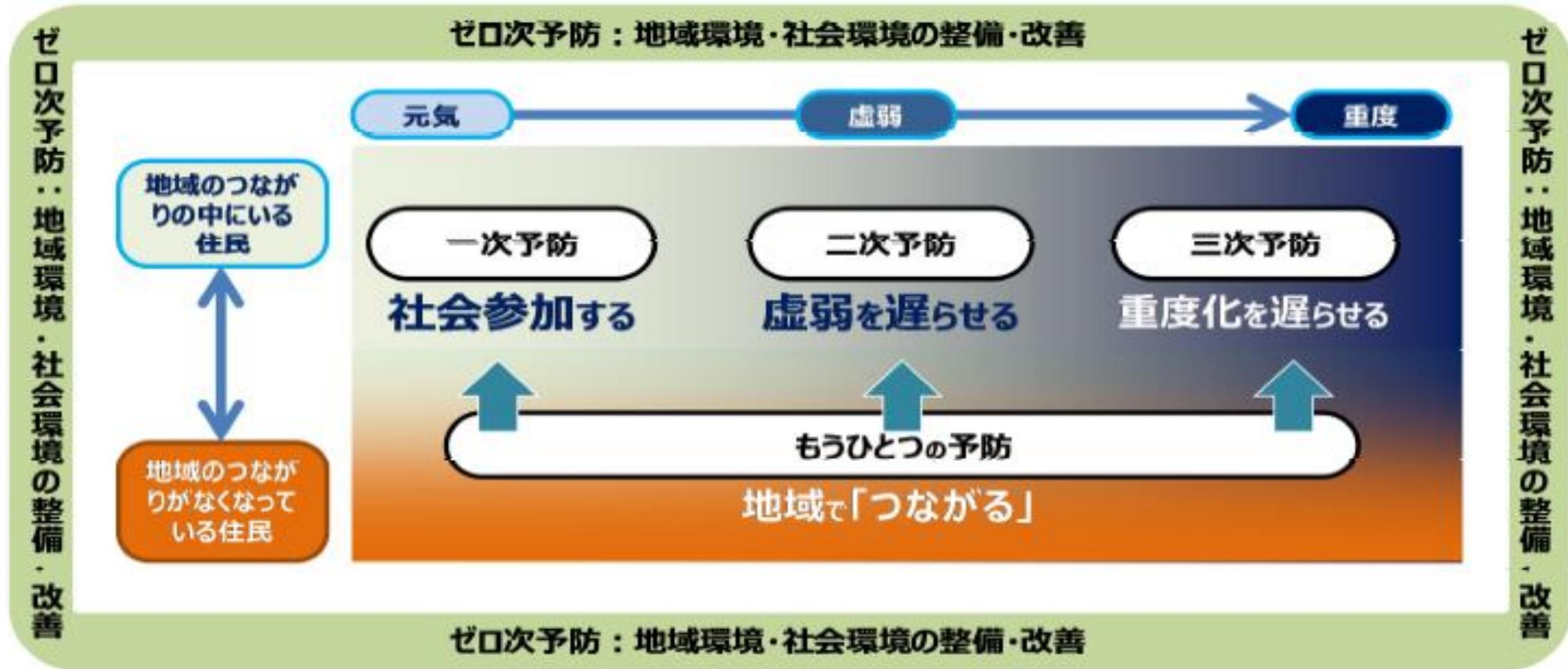
弱

地域との関わりへの想い

強

＜2040年に向けて地域包括ケアシステムで取り組むべき予防の方向＞

地域共生社会の実現・地域包括ケアシステムの構築



(平成29年度地域包括ケア研究会報告書より)

健康にプラスワン、新しくプラスワン。

健康を積んで販売に向います。

移動カフェメニュー

お茶
コーヒー
グリーンスムージー
バナナミルク
チョコレートミルク
手作リラスク
手作リクッキー
体の事を思うケーキ
採りたて野菜サラダ
野菜スープ
カレーライス

移動販売

あめ
せんべい
ようかん
カップラーメン
バナナ
ヤクルト
チョコレート
新鮮野菜
等



日常生活にプラスワン

住み慣れた地域で気軽に集まれる場所があれば、地域住民みんなで楽しい1日を過ごせるのではないのでしょうか？ 移動販売車「プラスワン」はみなさんが集まれる場所にカフェ機能を追加したり、買い物ができる場所を提供いたします。なかなか買い物に行けない方には、ご希望の商品を直接お届けするサービスもございます。管理栄養士がメニューを考案する「移動カフェ」では、野菜をふんだんに使ったバランスのとれたメニューを提供いたします。

「健康」移動販売車 プラスワン号



Plus1

どこへでも行きます！

- 健康体操指導
- 管理栄養士と食事教室
- 健康ミニ講座開催
- 3世代交流祭等の地域イベントのお手伝い



食事と運動で 今の生活を維持しましょう

健康長寿の妨げになる危険性が高いものとして「フレイル」「サルコペニア」が注目されています。*フレイル…虚弱状態 *サルコペニア…筋肉減少症
看護師、管理栄養士、健康運動実践指導者が皆様の地域にお伺いいたします。きちんとした栄養をとる事、適切な運動をする事でフレイル、サルコペニアを予防し、要介護状態になる事を防ぎましょう。元気でいきいき、意欲的に活動しながら理想の毎日をすごし、長生きできる期間(健康寿命)を延ばしましょう！

地域の健康維持の
お手伝いに向います。

常陸大宮駅前に賑わいをつくる

常陸大宮駅前横丁

毎週火曜日
18時～21時



移動販売車
「屋台ラーメン」
&
バンホフで
アルコール販売

無医地区・限界集落への支援

お山の上で
**打ち上げ
花火！？**

7/16 (日) 15:00~19:30
花火打ち上げ 19:00 (雨天順延 17日)

北富田集会所 (旧小学校跡) 茨城県常陸大宮市 北富田 1068

駐車場の数に限りがあります。満車の際は進入をご遠慮頂く場合がございますので予めご了承下さい。会場内は禁酒・禁煙です。

おいしい、楽しい
フードも大集合♪♪

※写真はイメージです

後援 常陸大宮市 協賛 医療法人博仁会・(株)セイブ・丸真(株)・(株)カンエイ
協力 三村勝光氏
主催 常陸大宮市北富田地区(お困り合わせ 0295-67-9437)



無医地区・限界集落への支援



フロイデDAN 北富田プロジェクト

毎月の活動で健康維持を



北富田地区を応援します
まちを元気に
フロイデDAN

☆北富田地区

- ・常陸大宮市内で1番の高齢化が進む地域。
- ・25世帯43人が暮らし、高齢化率は70%
- ・昨年度より北富田行事をフロイデDANが毎月サポート。
- ・今年度より看護学生も老年看護学概論として毎月参加。
- ・SC山方も地域拠点として参加。

企画と運営を全力協力



月1回地域支えin北富田



ベトナム人タンさんとの交流会
日時：4月22日（日曜日）

参加者：諸沢地区10人
フロイデ4名（介護支援専門員、管理部、SC山方職員）
看護学生4名



看護学生

タンさん

コミュニティナース



日時：9月16日（日曜日）

講座“イノシシの被害対策”

講師：市職員 寺門雅俊氏

参加者 北富田住民10名

フロイデ3名（看護師・介護福祉士・介護支援専門員）

看護学生 9名 先生2名

訪問介護・看護について



地域課題をともに考える



“健康食講座”キノコ汁で、手打ちうどん・そばを食べる会

日時：10月21日（日曜日）

参加者：諸沢地区10人

フロイデ4名（訪問看護、管理部、栄養科、SC山方職員）

看護学生4名

講義 栄養食について（塩分について）



常陸大宮市の計画へ意見を伝える立場に

◆医療・介護の視点でまちづくりに参画

- 常陸大宮市観光協会理事（西村）
- 市民協働のまちづくり指針策定委員（寺門）
- 男女共同参画委員（西村）
- 常陸大宮駅周辺整備検討委員（西村）
- 常陸大宮市まちづくりネットワーク事務局（西村）
- 地域介護サービス運営委員（小野）
- 第7期介護保険事業計画委員（小野）

第2回常陸大宮市とのまちづくり勉強会の開催 (茨城北西まちづくり研究会)

板持周治先生（島根県雲南市
地域振興課）

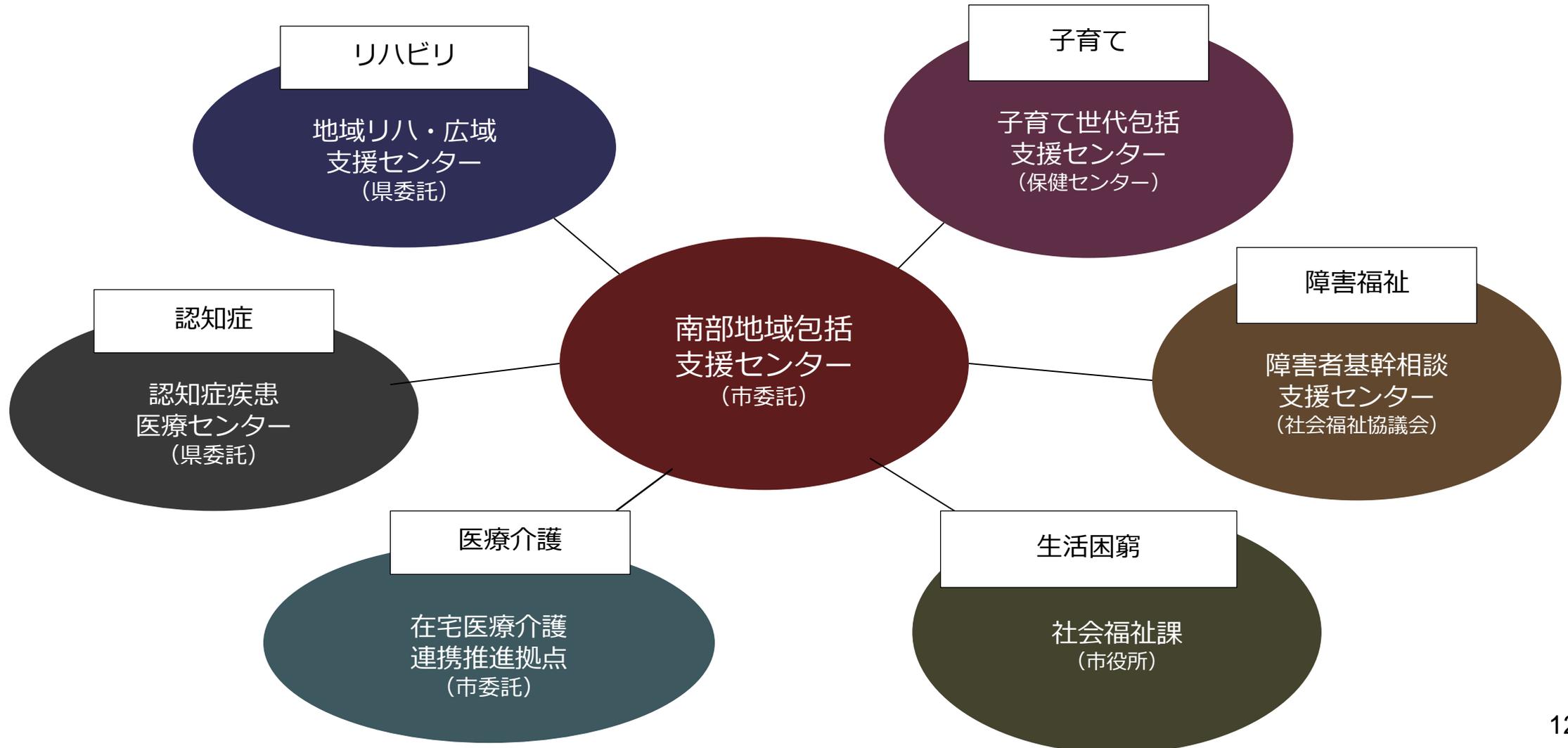
平成31年2月10日 参加者：
85名

地域創生部 地域創生課
保健福祉部 企画政策課

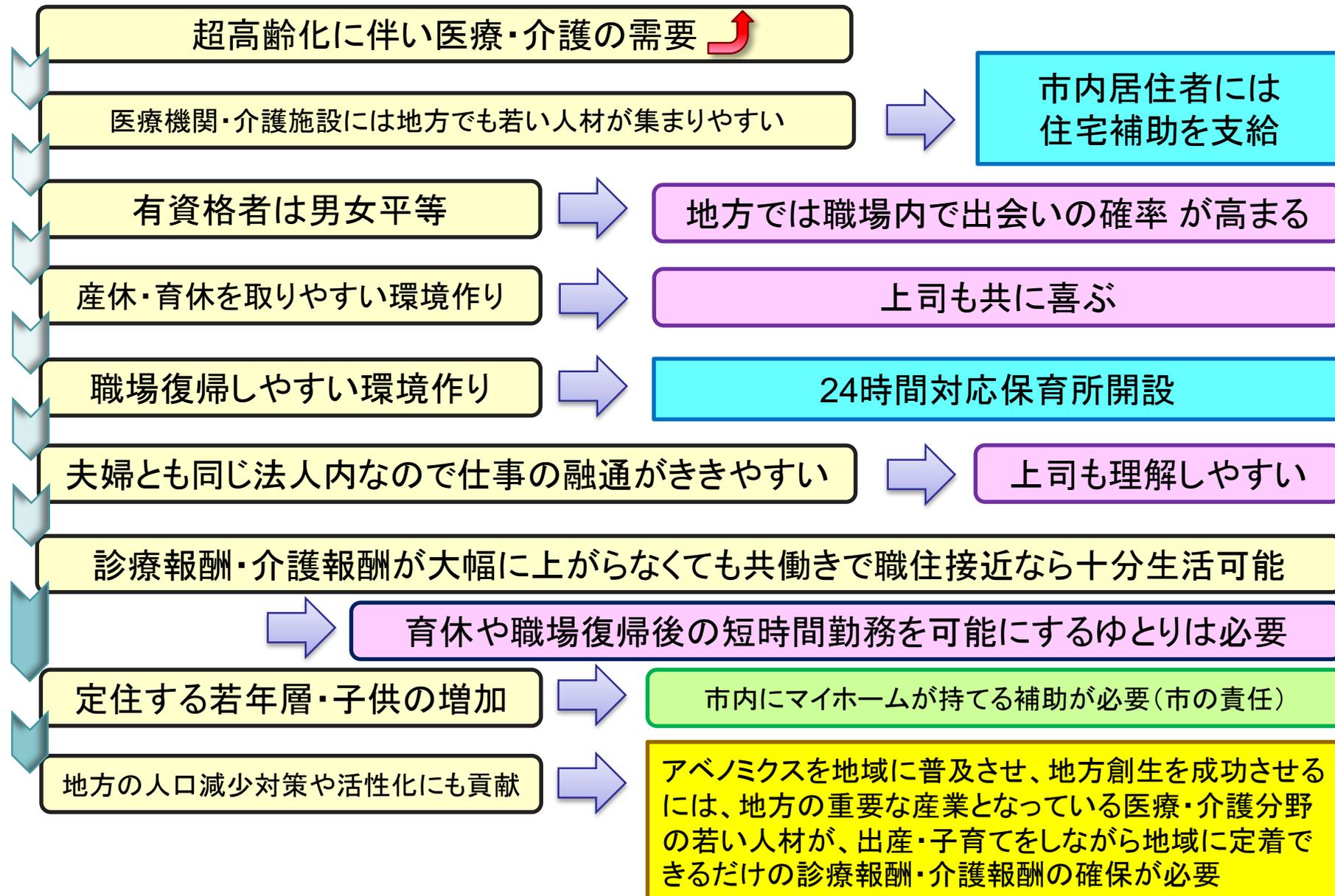
長寿福祉課
社会福祉協議会（5市町村）
民生委員



常陸大宮市南部地域包括支援センターをハブとした 全世代全対象型24時間相談体制構築の提案



医療機関・介護施設における地域活性化モデル



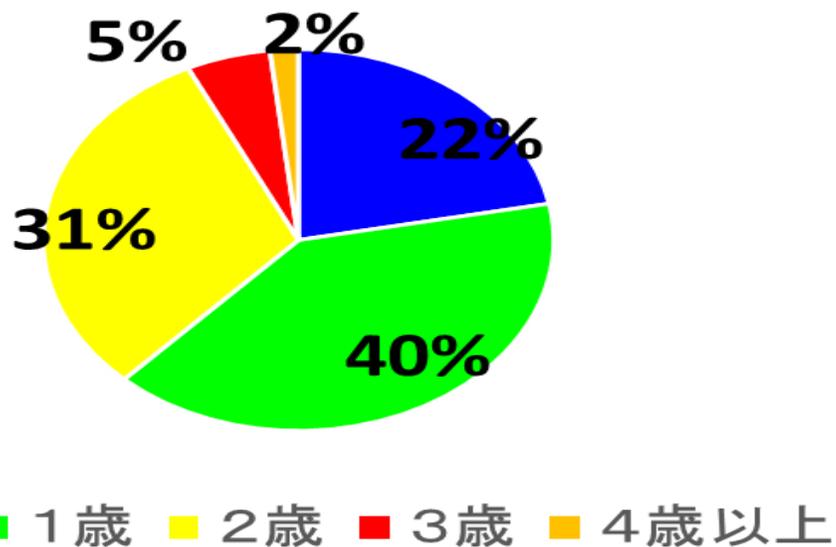
院内保育所の開設

平成28年4月より家庭的保育事業所の認可を受けました。

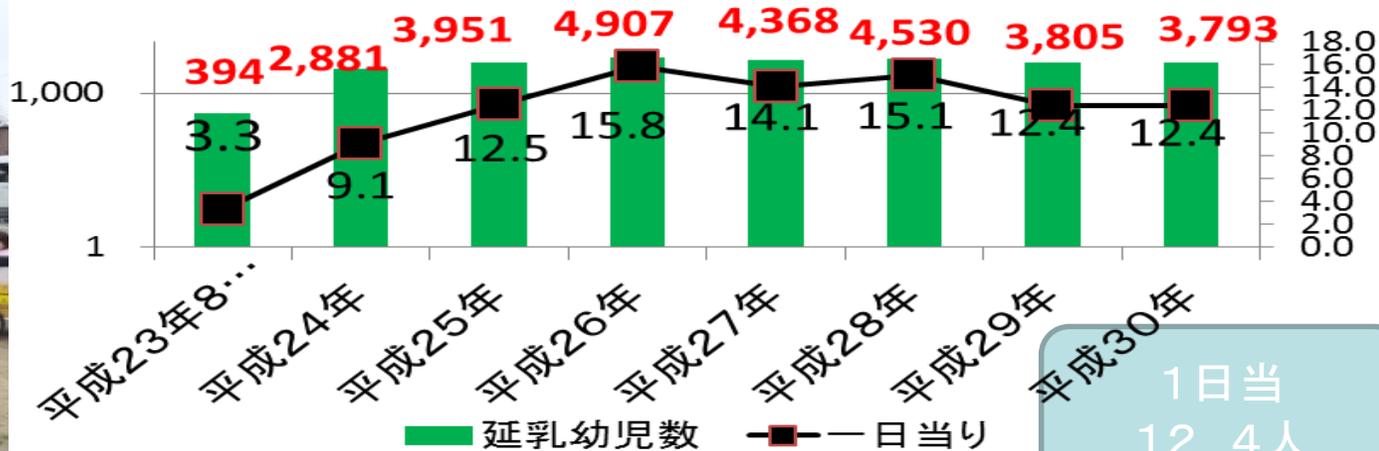
フロイデ
キンダーガル
テン



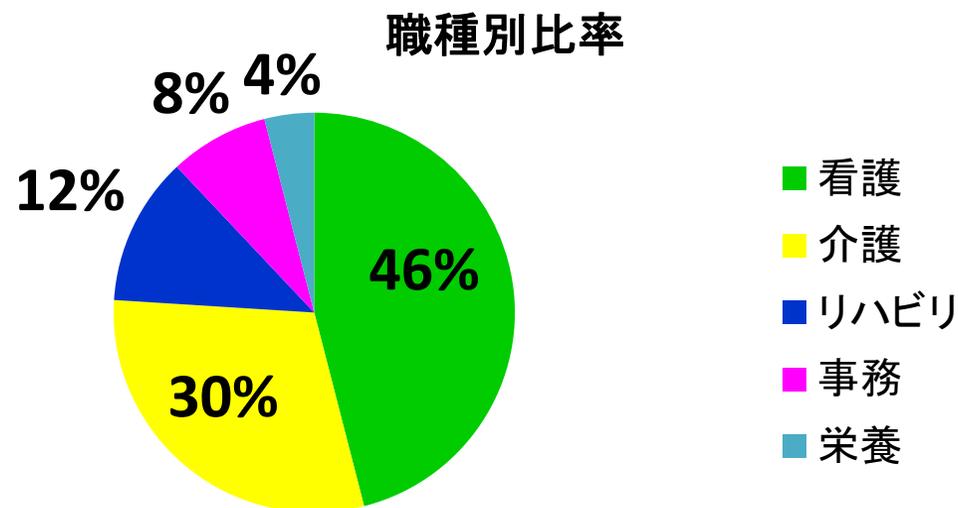
利用状況推移(乳幼児年齢)



利用状況推移(延乳幼児数)単位:人

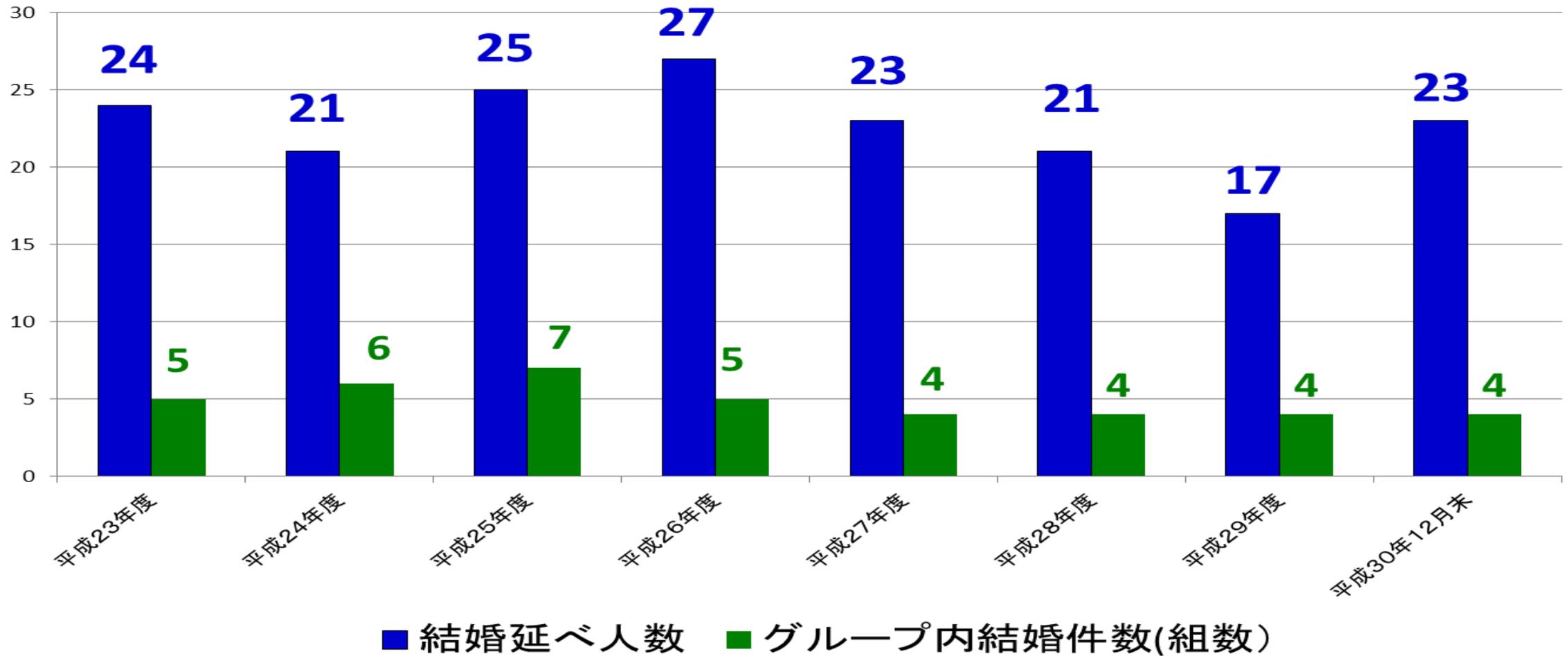


利用状況推移(保護者の職種)



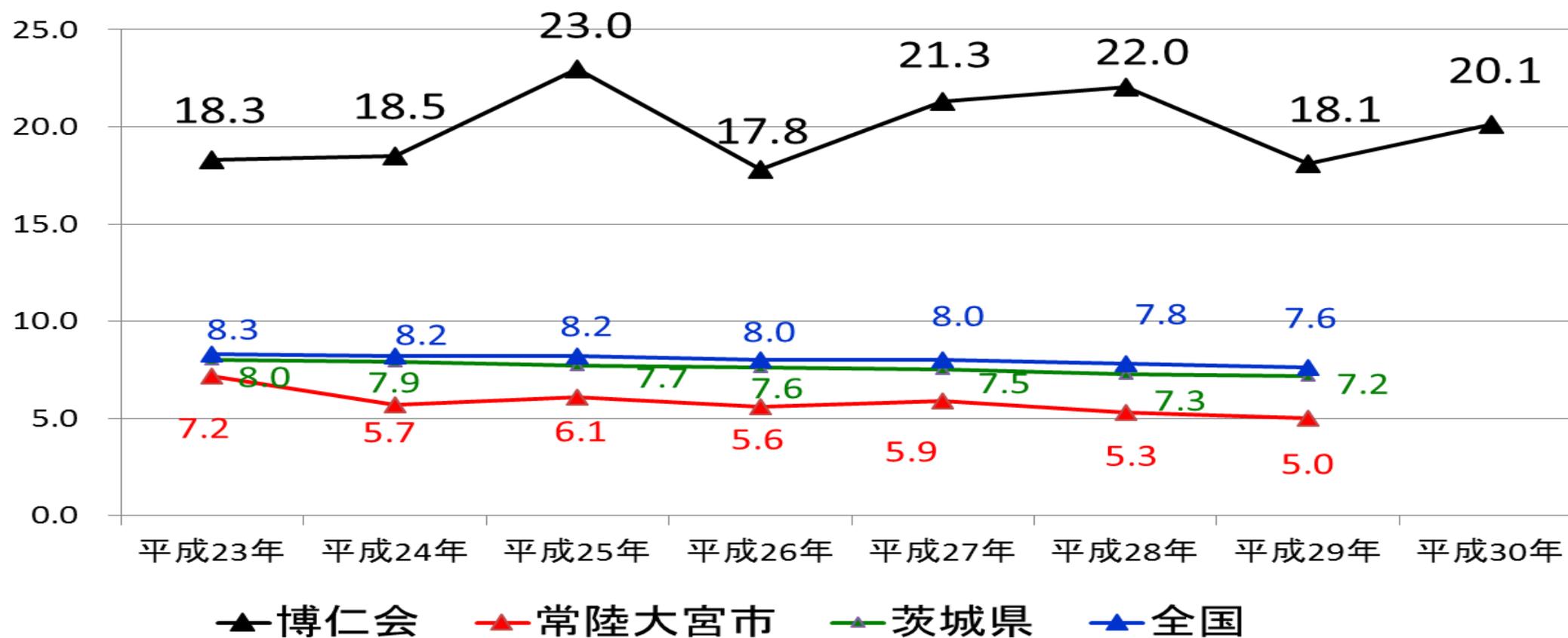


結婚者数の推移





●博仁会普通出生率 (1,000人当たりの出生率)



フロイデケアタウン大宮構想

PPP (Public Private Partnership : 官と民がパートナーを組んで行う事業)

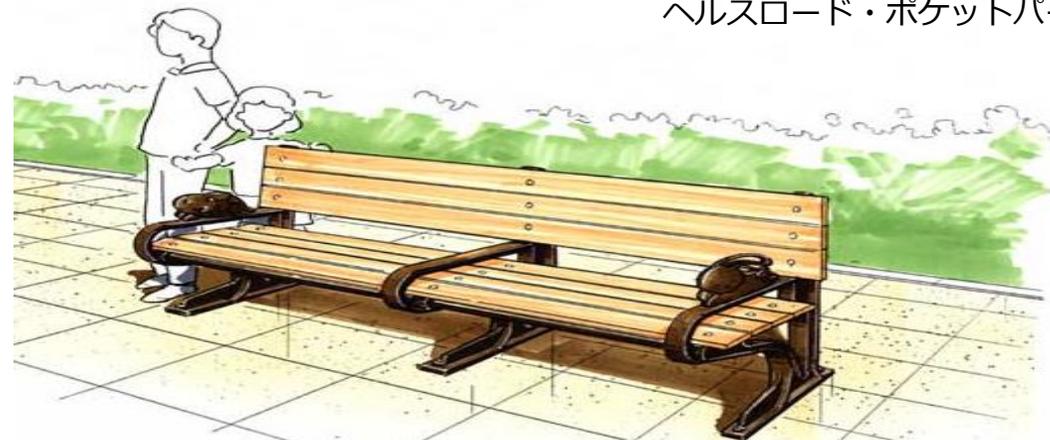
フロイデケアタウン大宮構想



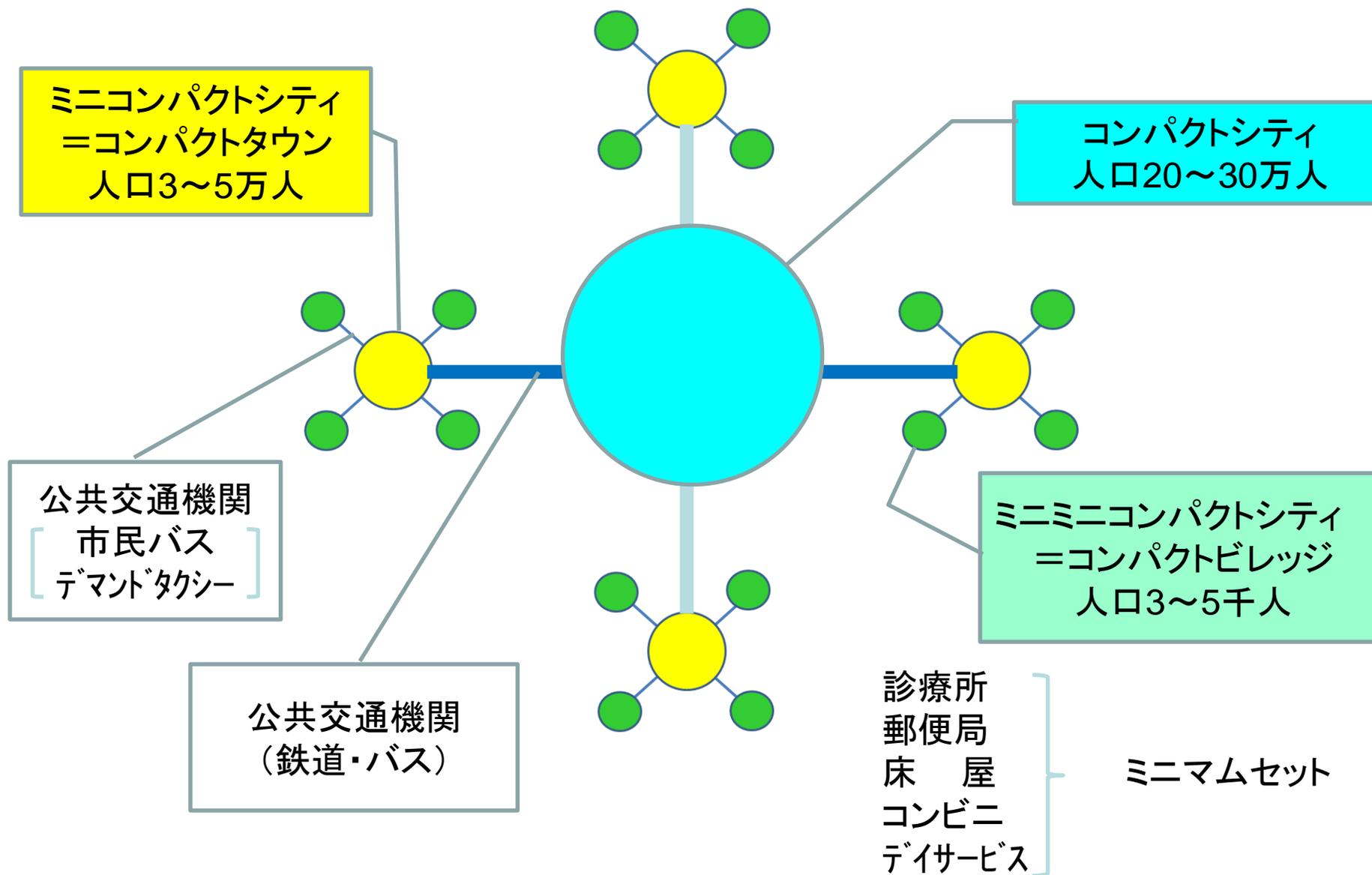
常陸大宮市駅周辺整備基本計画



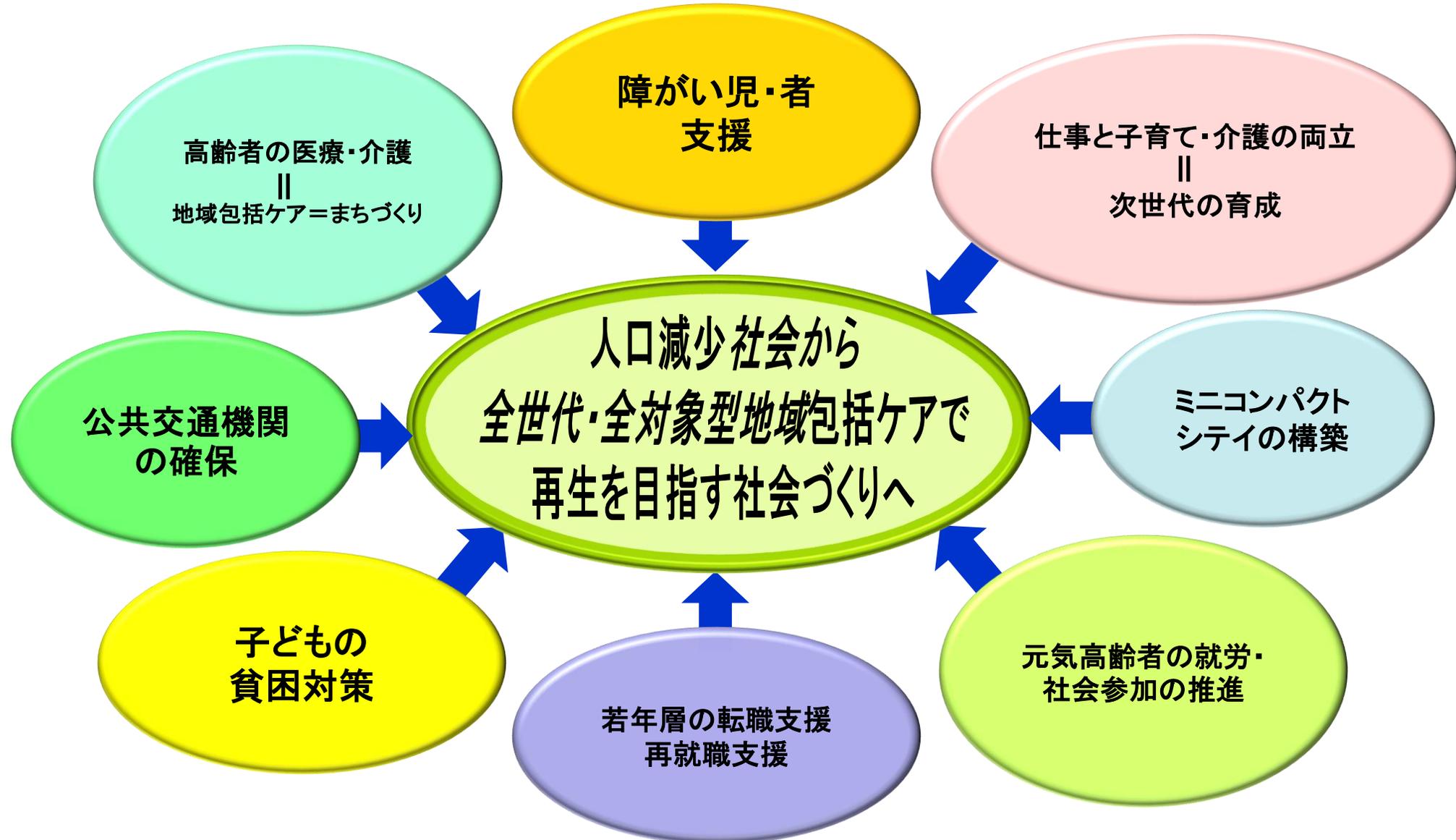
ヘルスロード・ポケットパーク



3重のコンパクトシティによる地域活性化構想

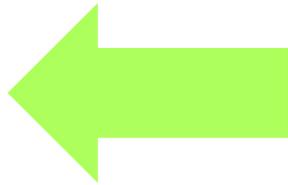
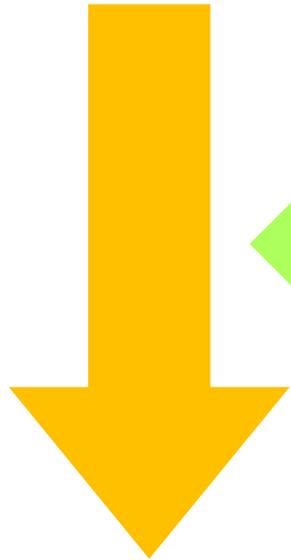


進化する地域包括ケア



2025年から2040年にかけての変化

2025年 = 本格的超高齢社会の入口



2040年 ≒ 高齢者人口 } のピーク
死亡者数 }

2040年に向けて深化する全世代・全対象型 地域包括ケアシステム

2018年 同時改定

改革のピーク

超高齢社会を乗り切る体制の構築

本格的な少子化対策

2025年 本格的な超高齢社会の入口

最も困難な時期を総力戦で乗り切る

人口減少社会から再生を目指す社会づくりへ

2040年 超高齢社会のピーク

学校法人 志村学園
茨城北西看護専門学校の写真



Ibaraki Hokusei Nursing College



ご清聴ありがとうございました。